

戸田市市民意識調査報告書

令和3年度実施（第13回）

令和4年3月

戸 田 市

目 次

．調査の概要	1
1．調査の背景	1
2．調査設計	1
3．回収状況	1
4．調査の内容	1
5．地区区分	2
6．集計・分析に当たって	2
7．標本誤差	3
8．回答者の属性	4
．調査結果の分析	16
1．定住意向について	16
2．子育てについて	22
3．健康づくりについて	25
4．高齢化について	31
5．生活環境について	36
6．地域コミュニティについて	59
7．市政への参加について	70
8．SDGsの取り組みについて	74
9．戸田市の取り組みについて	78
10．新型コロナウイルス感染症について	90
．自由意見	92
参考資料（調査票）	104

．調査の概要

1．調査の背景

この調査は、市民生活及び市政に関する市民の意見や要望を把握し、戸田市のより良いまちづくりを推進していくための基礎資料とすることを目的に、昭和50年より4年ごとに実施しています。

これまで、定点調査として継続的に調査を実施することにより、市民意識の経年変化を捉えその時代に合った市政運営に活かしてきました。

厳しさを増す財政状況や変化の激しい社会情勢の中で、より一層多様化する市民ニーズを適確に把握し、効率的かつ効果的な市政運営を展開するためには、基礎調査としての本調査の位置づけはより重要なものとなります。

2．調査設計

- (1) 調査地域：戸田市全域
- (2) 調査対象：令和3年9月1日現在、市内に在住する満18歳以上の市民
- (3) 標本数：3,000人
- (4) 抽出方法：無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送による配布・回収
- (6) 調査期間：令和3年10月1日～10月31日（返送期日）

3．回収状況

- (1) 有効標本数：3,000人
- (2) 有効回答数：1,497人
- (3) 回収率：49.9%

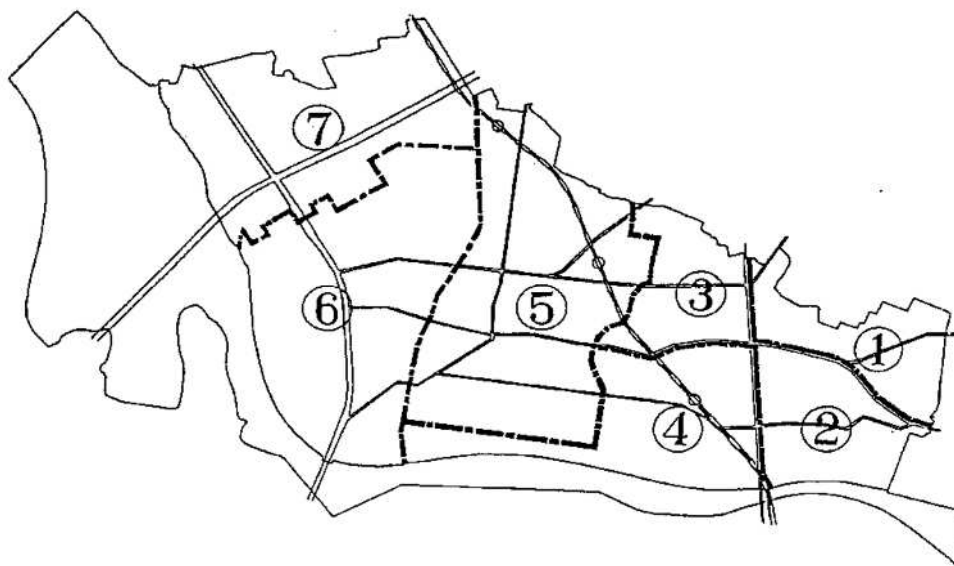
4．調査の内容

フェイスシート（標本属性）	定住意向	子育て
健康づくり	高齢化	生活環境
地域コミュニティ	市政への参加	SDGsの取り組み
戸田市の取り組み	新型コロナウイルス感染症	

5. 地区区分

市内を次の7つの地区に区分して調査、集計、分析を行いました。

1. 下戸田1地区(喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目)
2. 下戸田2地区(喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目)
3. 上戸田1地区(上戸田1~5丁目、大字上戸田)
4. 上戸田2地区(川岸3丁目、本町1~5丁目、南町、戸田公園)
5. 新曽地区(大字新曽、新曽南1~4丁目、氷川町1~3丁目、大字下笹目)
6. 笹目地区(笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1~8丁目)
7. 美女木地区(美女木1~8丁目、美女木東1・2丁目、大字美女木)



6. 集計・分析に当たって

- ・ 図表中の (n= * (* は自然数)) と年度や属性の後の () 内は、集計母数を表しています。
- ・ 原則として、図表の単位は%としています。
- ・ 回答割合 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、属性ごとの回答割合の合計が 100.0% にならない場合があります。
- ・ 回答割合 (%) は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの回答割合を合計すると 100.0% を超えることがあります。
- ・ 過去の調査と選択肢等が異なる設問の経年比較については、類似の選択肢を用いている場合があります。

7. 標本誤差

この調査は無作為抽出法により行ったものであるため、標本抽出にともなう標本誤差を数学的に計算することが可能です。以下に、信頼水準 95% の場合の誤差算出式と早見表を掲載します。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{(N - n) / (N - 1) \times P (1 - P) / n}$$

N = 母集団の数 (戸田市の 18 歳以上人口 117,288 人、令和 3 年 9 月 1 日現在の住民基本台帳人口)

n = 各設問の回答数 P = 各回答の回答比率

回答比率 (%) 回答数 (人)	10 (または 90)	20 (または 80)	30 (または 70)	40 (または 60)	50
1,497	± 1.51	± 2.01	± 2.31	± 2.47	± 2.52
1,000	± 1.85	± 2.47	± 2.83	± 3.02	± 3.09
900	± 1.95	± 2.60	± 2.98	± 3.19	± 3.25
800	± 2.07	± 2.76	± 3.17	± 3.39	± 3.45
700	± 2.22	± 2.95	± 3.38	± 3.62	± 3.69
600	± 2.39	± 3.19	± 3.66	± 3.91	± 3.99
500	± 2.62	± 3.50	± 4.01	± 4.29	± 4.37
400	± 2.93	± 3.91	± 4.48	± 4.79	± 4.89
300	± 3.39	± 4.52	± 5.18	± 5.54	± 5.65
200	± 4.15	± 5.54	± 6.35	± 6.78	± 6.92
100	± 5.88	± 7.84	± 8.98	± 9.60	± 9.80

この表の見方

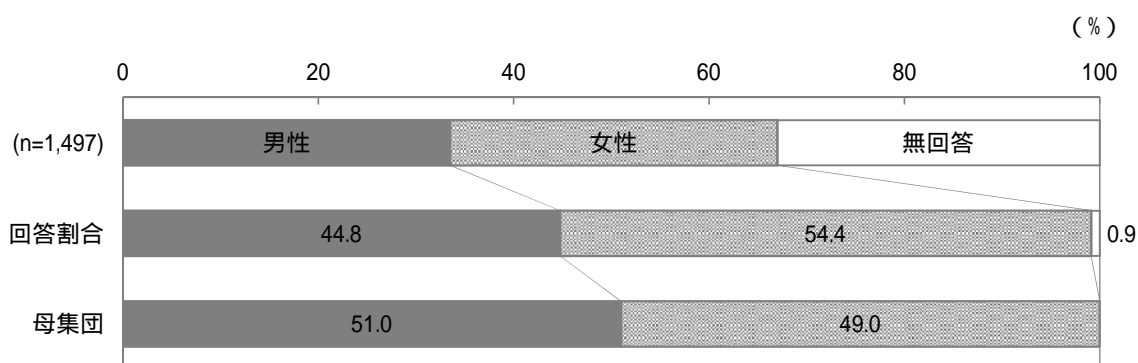
- 例えば、問 8 で通勤・通学地について、「戸田市内」と回答したのが 21.0% (n = 1,497) の場合、上表で値の近い「20 (または 80)」の欄の「1,497」の行をみると、標本誤差は ± 2.01% となります。したがって、本市の 18 歳以上の全市民に同じ質問をした場合、標本誤差を考慮すると、21.0% ± 2.01% (18.99% ~ 23.01%) の人が「戸田市内」と回答する確率 (信頼水準) が 95% である、と見ることができます。

8. 回答者の属性

問1 性別

調査対象母集団(令和3年9月1日現在の18歳以上人口)の性別構成比は、男性51.0%、女性49.0%と、女性の割合が低くなっていますが、本調査回答者1,497人の性別構成比では、男性44.8%、女性54.4%となり、女性の回答割合が高くなっています。

図表1 性別(全体)



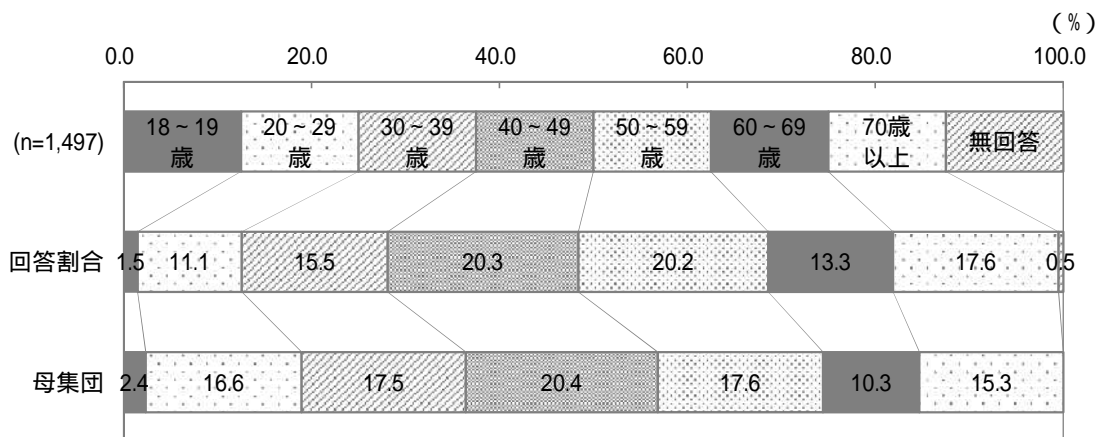
問2 年齢

回答者の年齢構成は、40歳代の割合が20.3%で最も高く、次いで50歳が20.2%、70歳代以上17.6%、30歳代15.5%となっています。

調査対象母集団の年齢別構成比は、18~19歳2.4%、20歳代16.6%、30歳代17.5%、40歳代20.4%、50歳代17.6%、60歳代10.3%、70歳以上15.3%となっています。

よって、40歳以下の回答割合より、50歳以上の回答割合が多くなっています。

図表2 年齢(全体)



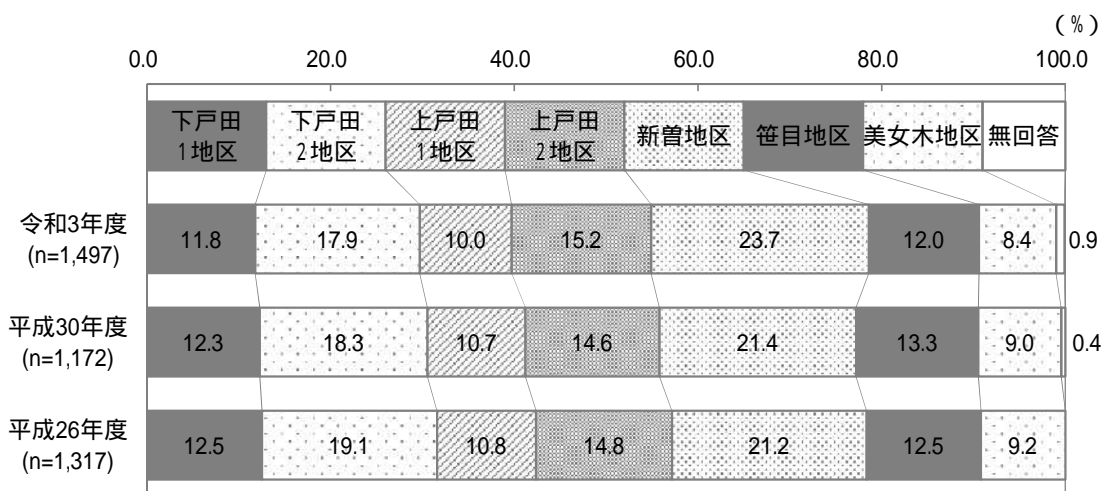
問3 居住地区

居住地区別にみると、新曽地区の割合が23.7%と最も多く、次いで下戸田2地区が17.9%、上戸田2地区が15.2%となっています。最も少ないのは美女木地区の8.4%で、前回調査と比較して、大きな相違はありません。

調査基準となった令和3年9月1日現在の町丁目別人口構成比は、下戸田1地区12.2%、下戸田2地区16.6%、上戸田1地区9.9%、上戸田2地区13.3%、新曽地区24.0%、笹目地区14.3%、美女木地区9.7%となっています。

また、居住地区別でみると、下戸田1地区、笹目地区、下戸田2地区の順に60歳以上の割合が高くなっています。

図表3 居住地区(全体)



図表4 居住地区別年齢構成表

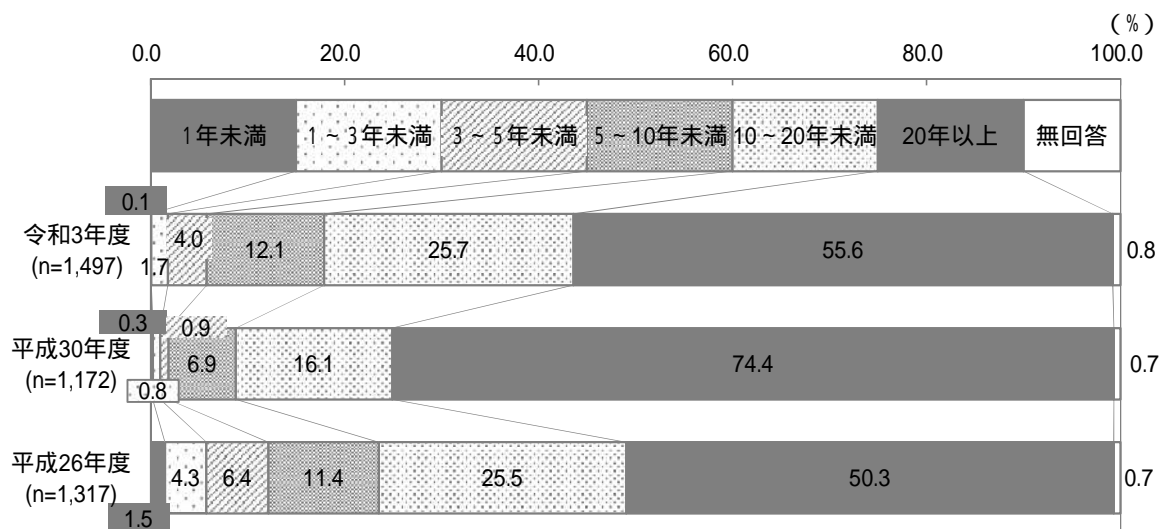
		18	20	30	40	50	60	70	無回答
		5	5	5	5	5	5	歳以上	
		19	29	39	49	59	69		
		歳	歳	歳	歳	歳	歳		
	全体(1,497)	1.5	11.1	15.5	20.3	20.2	13.3	17.6	0.5
居住地区別	下戸田1地区(177)	0.6	9.6	14.7	16.9	16.9	11.3	28.8	1.1
	下戸田2地区(268)	2.2	6.4	12.6	22.7	20.5	14.9	19.4	1.1
	上戸田1地区(150)	2.0	12.7	18.7	26.0	12.6	17.3	10.7	0.0
	上戸田2地区(228)	1.3	14.5	12.7	17.6	25.5	13.6	14.4	0.4
	新曽地区(355)	0.8	14.7	19.7	21.4	20.9	12.4	10.1	0.0
	笹目地区(180)	1.7	9.5	12.8	16.6	21.1	12.8	25.6	0.0
	美女木地区(126)	2.4	8.0	15.9	20.6	19.8	11.9	20.5	0.8

問4 居住期間

居住期間は、「20年以上」が55.6%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が25.7%となっています。

これまでの推移をみると、「20年以上」は平成30年度調査から大幅に減少している傾向にあり、平成30年度調査から18.8ポイント下回っています。一方、「10年以上20年未満」は9.6ポイント上回っています。

図表5 居住期間(全体)



図表6 居住期間(居住地区別)

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
全体(1,497)		0.1	1.7	4.0	12.1	25.7	55.6	0.8
居住地区別	下戸田1地区(177)	0.6	1.1	4.0	10.7	18.6	63.8	1.1
	下戸田2地区(268)	0.0	0.4	2.2	12.3	28.0	56.0	1.1
	上戸田1地区(150)	0.0	3.3	3.3	14.0	32.7	46.0	0.7
	上戸田2地区(228)	0.0	1.3	3.9	11.0	26.3	57.0	0.4
	新曽地区(355)	0.0	2.5	4.5	14.4	27.0	50.7	0.8
	笹目地区(180)	0.0	0.6	4.4	7.2	17.8	68.9	1.1
	美女木地区(126)	0.0	2.4	5.6	13.5	30.2	48.4	0.0

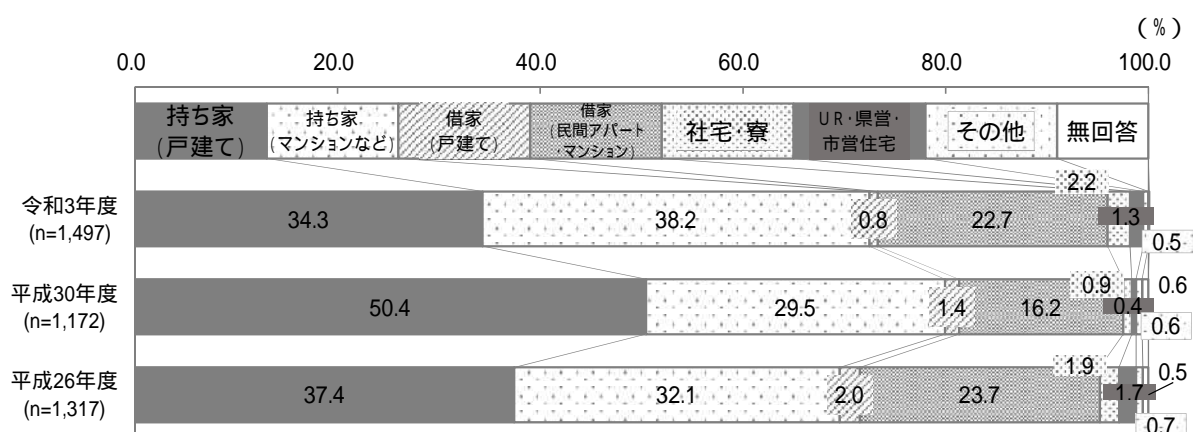
問5 住宅の種類

住宅の種類については、「持ち家（戸建て）」が 34.3%、「持ち家（マンションなど）」が 38.2%となっており、これらを合わせた持ち家比率が 72.5%となっています。

これまでの推移をみると、持ち家比率は減少傾向にあり、平成 30 年度調査から 16.1 ポイント下回っています。

持ち家に着目し、居住地区別にみると、下戸田 1 地区、笹目地区及び美女木地区は「持ち家（戸建て）」が「持ち家（マンションなど）」よりも多く、下戸田 2 地区、上戸田 1 地区、上戸田 2 地区、新曽地区では「持ち家（マンションなど）」が多くなっています。

図表 7 住宅の種類(全体)



図表 8 住宅の種類(居住地区別)

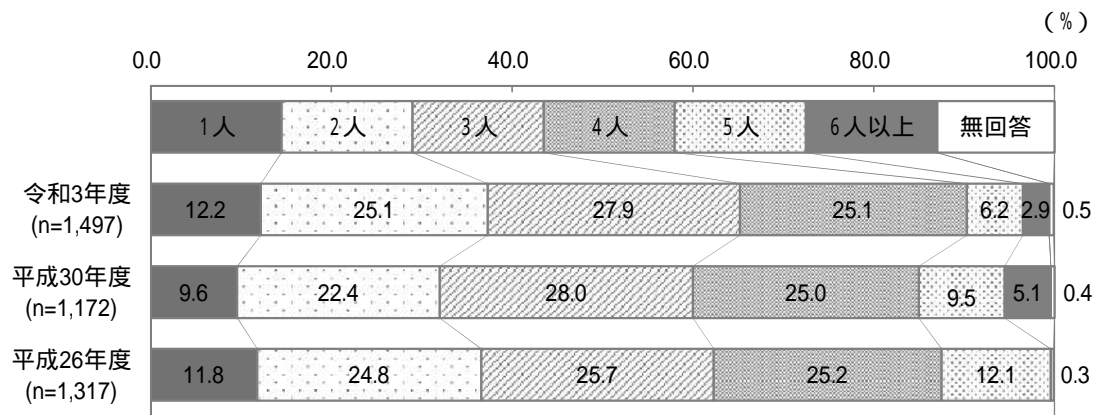
		持ち家(戸建て)	持ち家(マンションなど)	借家(戸建て)	借家(民間アパート・マンション)	社宅・寮	UR・県営・市営住宅	その他	無回答
全体(1,497)		34.3	38.2	0.8	22.7	2.2	1.3	0.5	0.1
居住地区別	下戸田 1 地区(177)	48.6	20.9	1.7	27.1	1.7	0.0	0.0	0.0
	下戸田 2 地区(268)	21.6	61.9	0.7	10.4	0.0	5.2	0.0	0.0
	上戸田 1 地区(150)	27.3	38.7	0.0	32.7	1.3	0.0	0.0	0.0
	上戸田 2 地区(228)	25.0	45.6	0.0	27.2	1.3	0.0	0.9	0.0
	新曽地区(355)	31.8	39.7	0.6	23.4	2.8	0.8	0.6	0.3
	笹目地区(180)	53.3	12.2	1.7	27.8	3.3	1.1	0.6	0.0
	美女木地区(126)	47.6	31.7	0.8	11.1	7.1	0.0	1.6	0.0

問6 家族の人数

回答者自身も含めた同居の家族の人数については、「3人」が27.9%で最も多く、次いで「4人」、「2人」となっています。

これまでの推移をみると、平成30年度調査と比較して「1人」が、2.6ポイント、「2人」が2.7ポイント高くなっています。

図表9 家族の人数(全体)



問7 仕事（雇用形態）

仕事については、「フルタイム正社員」が38.2%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が14.5%、「年金生活」が12.9%、「無就業」が7.1%となっています。「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計である就労中の割合は74.0%でした。

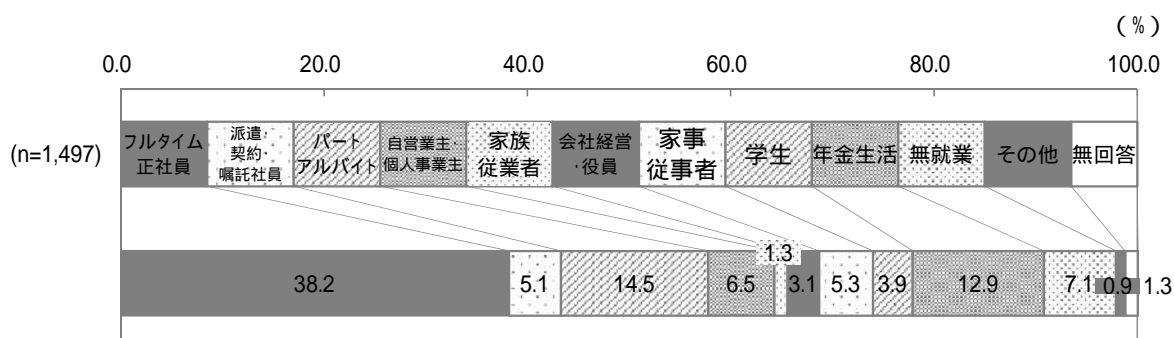
性別にみると、男性は「フルタイム正社員」が51.3%と半数以上を占めるのに対し、女性は27.6%となっています。

年齢別でみると、20歳代、30歳代、40歳代の「フルタイム正社員」が50%以上となり、次いで50歳代が47.9%となっています。

60歳代では、「フルタイム正社員」は15.6%と少ないものの、「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計が71.9%と、約3人に2人が就業しており、70歳以上では26.2%と約4人に1人が就業しています。

地区別にみると、「フルタイム正社員」では、上戸田1地区が44.7%、上戸田2地区が43.4%と他地区と比べて高いことが特徴です。

図表 10 仕事(全体)



図表 11 仕事(全体・性別・年齢別・居住地区別)

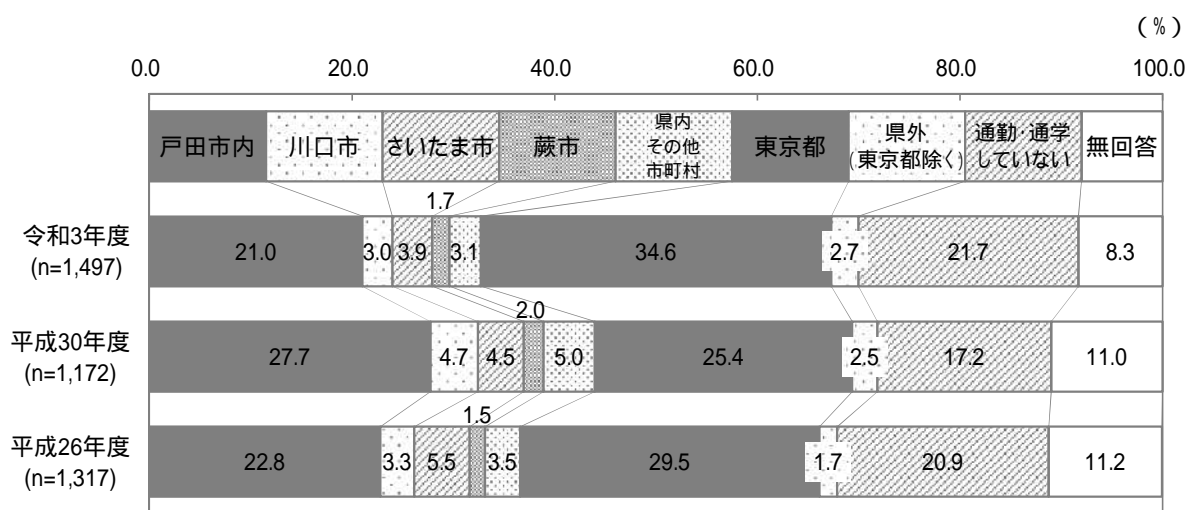
		フルタイム(常勤)の正社員 被雇用者	派遣・契約・嘱託社員	パートまたはアルバイト	自営業主・個人事業主	家族従業者	会社経営・役員	家事従事者	学生	年金生活	無就業	その他	無回答
	全体(1,497)	38.2	5.1	14.5	6.5	1.3	3.1	5.3	3.9	12.9	7.1	0.9	1.3
性別	男性(670)	51.3	4.6	4.2	10.0	0.1	4.8	0.0	4.6	13.3	4.8	1.0	1.2
	女性(814)	27.6	5.5	23.0	3.7	2.2	1.6	9.6	3.4	12.4	8.8	0.7	1.4
年齢別	18～19歳(23)	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0	0.0	4.3	0.0	0.0
	20～29歳(166)	51.2	3.0	8.4	4.2	0.6	1.2	1.2	23.5	0.0	5.4	0.6	0.6
	30～39歳(232)	58.2	6.5	7.8	5.2	1.7	1.3	9.5	0.0	0.0	6.9	1.7	1.3
	40～49歳(304)	52.6	3.6	21.1	6.3	1.0	2.3	6.6	0.0	0.0	4.9	1.0	0.7
	50～59歳(303)	47.9	5.0	22.8	5.6	1.3	5.0	5.0	0.0	0.0	6.3	0.3	1.0
	60～69歳(199)	15.6	10.1	20.6	11.6	1.5	5.0	7.5	0.0	19.6	6.0	1.0	1.5
	70歳以上(263)	4.2	3.8	4.2	7.2	1.5	3.4	1.9	0.0	57.8	12.5	0.8	2.7
居住地区別	下戸田1地区(177)	32.2	5.1	15.8	5.6	1.7	2.8	5.6	1.1	19.8	7.9	0.0	2.3
	下戸田2地区(268)	34.7	7.5	14.6	5.2	1.5	2.2	7.5	4.1	15.3	6.3	0.4	0.7
	上戸田1地区(150)	44.7	5.3	14.0	4.0	2.7	0.7	6.0	4.0	11.3	5.3	0.7	1.3
	上戸田2地区(228)	43.4	7.9	9.6	8.8	1.3	3.1	3.1	5.3	9.6	6.1	1.3	0.4
	新曽地区(355)	40.3	4.8	15.5	7.3	0.6	3.1	6.2	4.8	8.7	5.6	1.1	2.0
	笹目地区(180)	30.6	2.8	19.4	6.1	1.1	5.6	3.9	2.8	15.0	11.1	0.6	1.1
	美女木地区(126)	40.5	0.0	13.5	7.9	0.8	4.8	2.4	4.0	14.3	9.5	1.6	0.8

問 8 通勤・通学地

通勤・通学している人の通勤・通学先としては、「東京都」が 34.6%と最も多く、次いで「戸田市内」が 21.0%となっており、隣接市（川口市、さいたま市、蕨市の計）は 8.6%にとどまっています。

これまでの推移をみると、平成 30 年度調査では「戸田市内」、「東京都」の順でしたが、今回調査で順位が逆転しています。

図表 12 通勤・通学地(全体)



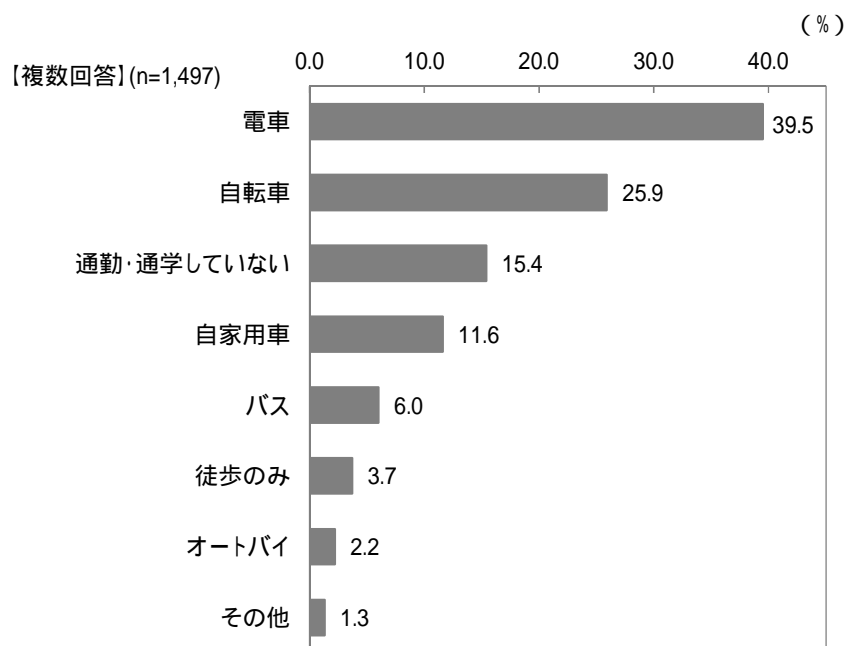
問9 通勤・通学の交通手段

通勤・通学の交通手段では、「電車」が39.5%と最も高く、次いで「自転車」が25.9%でした。

居住地区別にみると、鉄道3駅がある上戸田1地区、上戸田2地区及び新曽地区の3地区は、「電車」の割合が他地区より高くなっています。一方、笹目地区及び美女木地区は、「自家用車」の割合が他地区より高くなっています。

通勤・通学地別でみると、「戸田市内」は「自転車」(58.3%)に次いで「自家用車」(18.2%)が高くなっています。「東京都」や「さいたま市」は「電車」の割合が高くなっています。また、他の通勤・通学地と比べて、「川口市」は「バス」(26.7%)が高く、「蕨市」は「自転車」(56.0%)が高いことが特徴です。

図表 13 通勤・通学の交通手段(全体)



図表 14 通勤・通学の交通手段(全体・居住地区別・通勤通学地別)

		徒歩のみ	電車	自家用車	バス	自転車	オートバイ	通勤・通学していない	その他
	全体(1,497)	3.7	39.5	11.6	6.0	25.9	2.2	15.4	1.3
居住地区別	下戸田1地区(177)	1.7	36.7	10.7	12.4	28.8	1.1	17.5	0.6
	下戸田2地区(268)	2.6	36.9	8.2	6.7	28.0	1.5	16.8	0.7
	上戸田1地区(150)	7.3	44.7	8.7	2.7	26.7	0.7	14.0	2.0
	上戸田2地区(228)	3.5	55.3	10.1	2.6	17.1	0.4	11.0	0.9
	新曽地区(355)	2.5	43.9	9.6	4.5	28.5	2.5	14.9	0.8
	笹目地区(180)	6.1	19.4	21.7	7.2	27.8	3.9	17.8	2.2
	美女木地区(126)	4.8	28.6	17.5	8.7	22.2	7.1	17.5	3.2
通勤・通学地別	戸田市内(314)	15.3	3.8	18.2	4.8	58.3	3.5	2.9	1.0
	川口市(45)	0.0	15.6	31.1	26.7	48.9	8.9	0.0	0.0
	さいたま市(58)	0.0	67.2	32.8	8.6	36.2	5.2	0.0	0.0
	蕨市(25)	12.0	4.0	24.0	0.0	56.0	4.0	0.0	0.0
	県内その他の市町村(47)	0.0	63.8	36.2	12.8	31.9	2.1	0.0	10.6
	東京都(518)	0.4	89.0	9.3	9.1	22.8	2.3	0.0	1.4
	県外(東京都を除く)(41)	0.0	82.9	17.1	7.3	17.1	2.4	0.0	4.9
	通勤・通学していない(325)	0.3	1.2	1.2	0.3	1.5	0.0	66.5	0.3

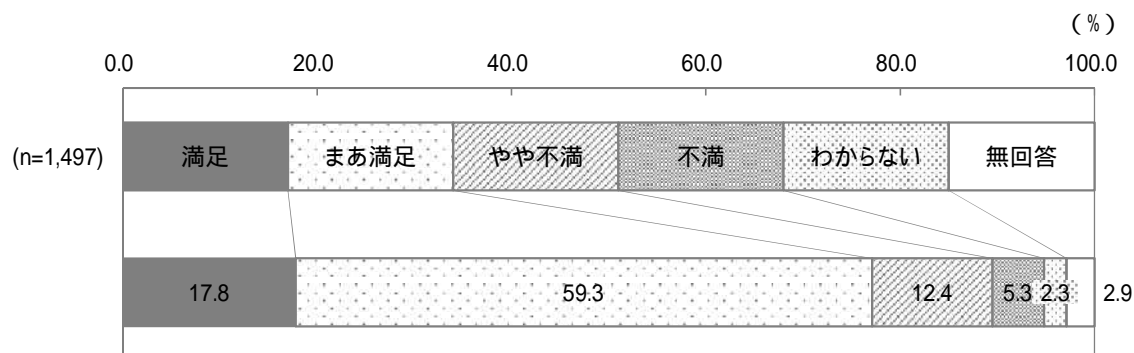
問 10 生活満足度

全般的な生活満足度については、「満足」(17.8%)及び「まあ満足」(59.3%)を合わせると77.1%であり、約4人に3人は満足しているという結果でした。また、「やや不満」は12.4%、「不満」は5.3%でした。

年齢別にみると、年齢が上がるほど満足度は低くなる傾向が見られますが、70歳以上では、「満足」が17.1%と高くなっています。また、10歳代、20歳代、30歳代では「満足」及び「まあ満足」を合わせると80%を超え、40歳代、50歳代、60歳代では70%を超えています。

居住地区別では、上戸田1地区、上戸田2地区及び新曽地区では「満足」及び「まあ満足」を合わせると80%を超えています。一方、「不満」及び「やや不満」を合わせると、最も高いのは下戸田1地区の22.6%であり、次いで笹目地区の22.2%となっています。

図表 15 生活満足度(全体)



図表 16 生活満足度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	全体(1,497)	17.8	59.3	12.4	5.3	2.3	2.9
性別	男性(670)	16.9	58.2	13.1	5.4	3.1	3.3
	女性(814)	18.4	60.6	11.7	5.2	1.6	2.6
年齢別	18～19歳(23)	26.1	60.9	8.7	4.3	0.0	0.0
	20～29歳(166)	28.3	57.2	9.0	3.6	1.8	0.0
	30～39歳(232)	22.0	61.6	8.6	5.2	2.2	0.4
	40～49歳(304)	15.5	63.8	12.2	6.3	1.6	0.7
	50～59歳(303)	11.9	65.3	12.5	6.3	2.0	2.0
	60～69歳(199)	16.6	56.3	18.1	1.5	3.5	4.0
	70歳以上(263)	17.1	49.4	12.9	7.2	3.4	9.9
居住地区別	下戸田1地区(177)	15.8	55.4	14.7	7.9	0.6	5.6
	下戸田2地区(268)	20.9	56.3	13.1	4.9	2.2	2.6
	上戸田1地区(150)	14.7	65.3	15.3	2.0	0.7	2.0
	上戸田2地区(228)	21.9	63.2	7.9	3.9	1.3	1.8
	新曽地区(355)	18.6	62.0	10.1	4.5	2.8	2.0
	笹目地区(180)	13.9	53.3	15.0	7.2	7.2	3.3
	美女木地区(126)	15.1	59.5	13.5	6.3	0.8	4.8

．調査結果の分析

1．定住意向について

(1) 戸田市に移転したきっかけ

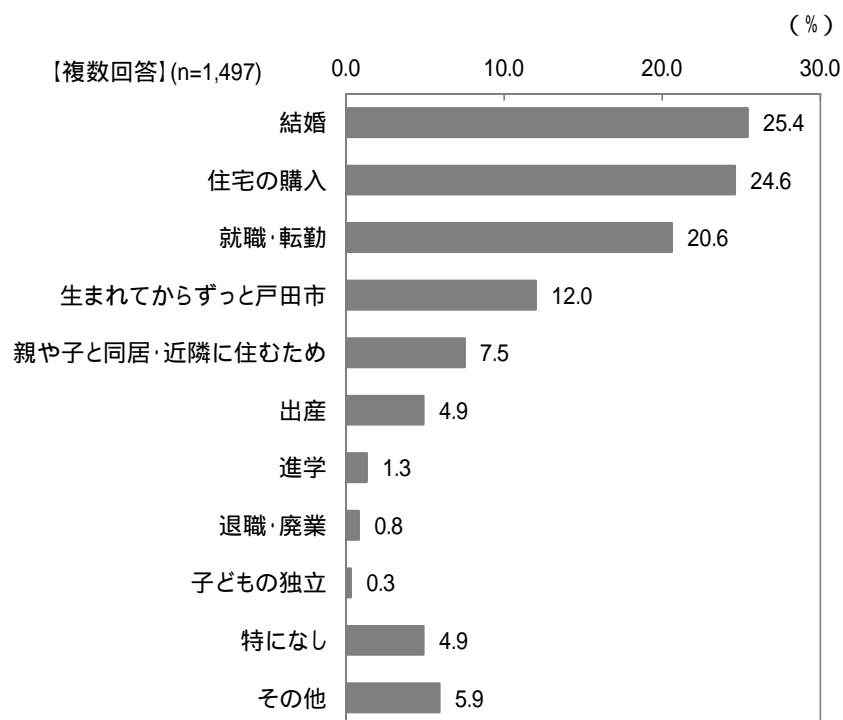
問 11 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。 **あてはまるものをすべて選んでください。(はいいくつでも)**

[全体の回答傾向]

・戸田市に移転したきっかけについては、「結婚」が 25.4%と最も高く、次いで「住宅の購入」(24.6%)、「就職・転勤」(20.6%)となっています。

・また、「生まれてからずっと戸田市」は 12.0%となっています。

図表 17 戸田市に移転したきっかけ(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は「就職・転勤」が女性より6.2ポイント高くなっており、一方、女性は「結婚」が男性と比べて9.3ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、10歳代と20歳代は「生まれてからずっと戸田市」が高く、30歳代と40歳代は「結婚」が高くなっています。また、「住宅の購入」は50歳代以上で高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「結婚」が多いのは下戸田2地区や笹目地区でした。また、「住宅の購入」は下戸田2地区が33.6%と最も高く、次いで美女木地区の27.8%となっています。

図表 18 戸田市に移転したきっかけ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		生 ま れ て か ら ず 戸 田 市	進 学	就 職 ・ 転 勤	結 婚	出 産	子 ど も の 独 立	退 職 ・ 廃 業	親 や 子 と 同 居 ・ 近 隣 に 住 む た め	住 宅 の 購 入	特 に な し	そ の 他
	全体(1,497)	12.0	1.3	20.6	25.4	4.9	0.3	0.8	7.5	24.6	4.9	5.9
性別	男性(670)	14.2	1.5	24.0	20.4	4.3	0.1	0.6	6.7	26.1	4.3	4.9
	女性(814)	10.3	1.2	17.8	29.7	5.5	0.4	0.9	8.2	23.2	5.3	6.8
年齢別	18～19歳(23)	82.6	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0
	20～29歳(166)	32.5	5.4	22.9	9.6	3.6	0.0	1.8	9.0	9.6	7.2	6.6
	30～39歳(232)	6.5	1.7	26.3	32.3	11.6	0.4	0.0	6.5	19.8	4.3	5.2
	40～49歳(304)	5.9	1.3	21.7	38.2	5.9	0.0	0.3	7.9	22.4	2.6	6.3
	50～59歳(303)	5.3	0.7	19.5	28.1	4.0	0.3	0.3	8.3	30.4	4.6	6.3
	60～69歳(199)	11.6	0.5	23.1	19.1	2.5	0.5	1.5	9.0	27.1	2.5	6.0
	70歳以上(263)	13.3	0.0	13.7	18.6	2.3	0.4	1.5	5.7	34.2	8.4	6.1
居住地区別	下戸田1地区(177)	10.7	0.6	20.9	24.3	4.0	0.0	0.6	8.5	25.4	7.9	5.1
	下戸田2地区(268)	8.2	1.1	15.3	26.1	4.9	1.1	1.1	9.0	33.6	5.6	5.6
	上戸田1地区(150)	8.0	1.3	22.7	26.0	4.0	0.0	1.3	8.0	26.0	4.0	6.0
	上戸田2地区(228)	14.5	1.3	24.6	25.0	5.7	0.4	0.4	8.3	19.7	3.5	7.5
	新首地区(355)	12.4	1.7	25.4	25.9	4.5	0.0	0.8	6.5	21.7	2.8	5.9
	笹目地区(180)	16.7	1.7	15.6	26.1	5.0	0.0	1.1	7.2	21.1	5.0	6.7
	美女木地区(126)	15.1	0.8	15.9	23.8	7.1	0.0	0.0	4.0	27.8	6.3	4.8

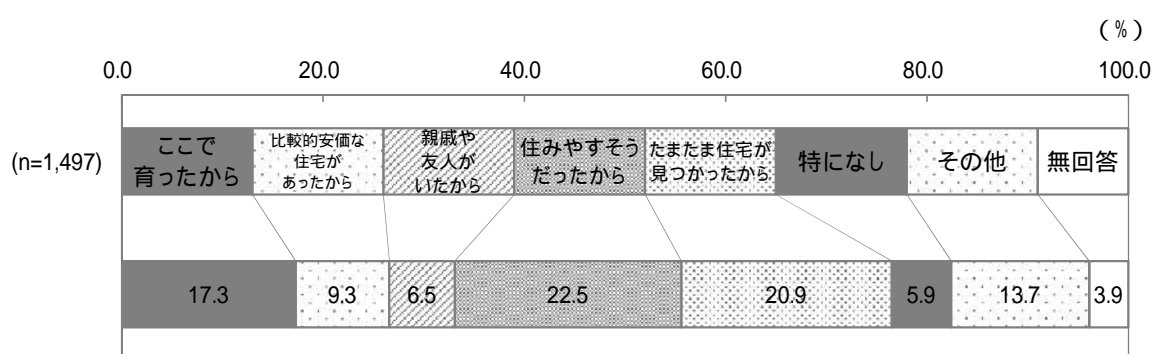
(2) 戸田市に住んでいる理由

問 12 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。(は1つ)

【全体の回答傾向】

・戸田市に住んでいる理由については、「住みやすそうだったから」が 22.5%と最も高く、次いで「たまたま住宅が見つかったから」(20.9%)、「ここで育ったから」(17.3%)となっています。

図表 19 戸田市に住んでいる理由(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、10歳代と20歳代で「ここで育ったから」が高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がありますが、60歳代、70歳以上では、「ここで育ったから」の割合が高くなっています。
- ・30歳代、40歳代、50歳代は「住みやすそうだったから」が他の年代より高くなっています。
- ・居住地区別でみると、下戸田2地区や美女木地区では「たまたま住宅が見つかったから」が高くなっています。笹目地区では「ここで育ったから」が高くなっています。また、「住みやすそうだったから」は下戸田2地区が27.6%と最も高く、次いで上戸田2地区が25.9%、上戸田1地区が24.7%となっています。

図表 20 戸田市に住んでいる理由(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ここで育ったから	比較的安価な住宅があつたから	から親戚や友人がいた	住みやすそうだったから	たまたま住宅が見つかったから	特になし	その他	無回答
	全体(1,497)	17.3	9.3	6.5	22.5	20.9	5.9	13.7	3.9
性別	男性(670)	19.7	9.4	6.9	23.7	20.4	6.3	10.3	3.3
	女性(814)	15.5	9.2	6.3	21.7	21.3	5.7	16.1	4.3
年齢別	18～19歳(23)	87.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	0.0
	20～29歳(166)	45.2	7.8	5.4	16.9	9.6	4.2	7.2	3.6
	30～39歳(232)	11.2	13.8	6.5	28.9	16.8	2.6	16.8	3.4
	40～49歳(304)	8.9	10.2	5.6	31.3	19.7	5.3	14.8	4.3
	50～59歳(303)	9.6	9.9	7.3	24.8	28.1	4.3	14.9	1.3
	60～69歳(199)	17.1	5.0	9.0	18.6	21.1	9.5	15.6	4.0
	70歳以上(263)	18.3	8.7	6.5	12.9	26.6	9.1	11.0	6.8
居住地区別	下戸田1地区(177)	19.2	10.2	5.1	16.4	21.5	9.0	15.8	2.8
	下戸田2地区(268)	12.7	8.6	7.5	27.6	24.6	4.9	9.7	4.5
	上戸田1地区(150)	13.3	9.3	9.3	24.7	20.0	2.7	16.0	4.7
	上戸田2地区(228)	18.0	8.3	5.3	25.9	21.5	3.9	14.5	2.6
	新曽地区(355)	17.5	10.4	6.8	22.8	19.4	4.5	15.2	3.4
	笹目地区(180)	24.4	6.1	6.1	18.3	15.6	11.7	12.8	5.0
	美女木地区(126)	17.5	12.7	5.6	15.1	25.4	6.3	11.9	5.6

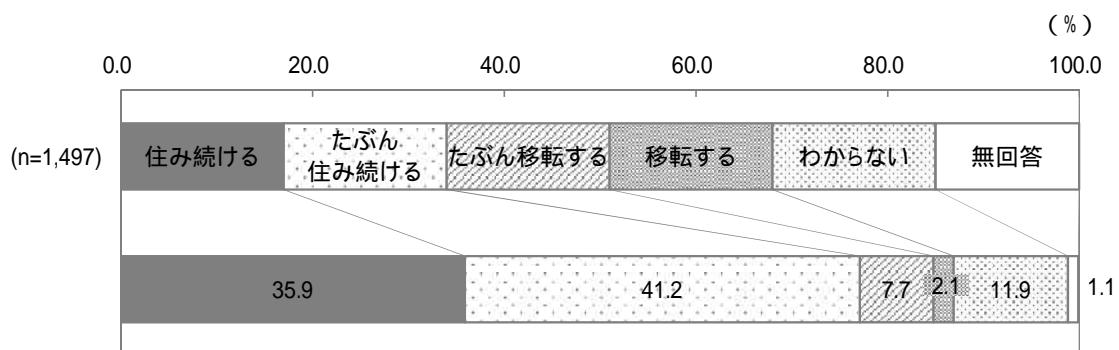
(3) 戸田市に住み続けたいか

問 13 あなたは、戸田市にこれからも住みたいと思いますか。(は1つ)

【全体の回答傾向】

・戸田市にこれからも住み続けたいかについては、「住み続ける」(35.9%)、「たぶん住み続ける」(41.2%)を合わせて77.1%となっています。一方、「たぶん移転する」(7.7%)と「移転する」(2.1%)を合わせると9.8%となっています。

図表 21 戸田市に住み続けたいか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、「住み続ける」については、年齢が上がるほど高くなる傾向が見られます。一方、「たぶん移転する」では10歳代や20歳代で、「移転する」では30歳代で他の年代と比べ高くなっています。
- ・居住地区別にみると、上戸田1地区や笹目地区、美女木地区で「住み続ける」が高くなっています。

図表 22 戸田市に住み続けたいか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		住み続ける	たぶん住み続ける	たぶん移転する	移転する	わからない	無回答
	全体(1,497)	35.9	41.2	7.7	2.1	11.9	1.1
性別	男性(670)	38.4	40.3	7.2	2.2	10.4	1.5
	女性(814)	33.7	42.0	8.4	2.0	13.1	0.9
年齢別	18～19歳(23)	17.4	43.5	30.4	4.3	4.3	0.0
	20～29歳(166)	16.3	44.0	18.7	4.2	16.3	0.6
	30～39歳(232)	28.4	38.4	14.2	6.0	12.9	0.0
	40～49歳(304)	29.9	51.6	5.3	0.7	12.2	0.3
	50～59歳(303)	32.7	44.6	6.3	1.7	14.9	0.0
	60～69歳(199)	43.2	39.2	2.5	1.0	11.6	2.5
	70歳以上(263)	61.2	28.1	1.5	0.0	5.7	3.4
居住地区別	下戸田1地区(177)	37.9	39.0	6.2	2.3	12.4	2.3
	下戸田2地区(268)	31.0	50.7	5.6	1.1	10.4	1.1
	上戸田1地区(150)	40.0	32.7	10.0	2.0	14.0	1.3
	上戸田2地区(228)	35.5	38.2	8.3	3.1	14.0	0.9
	新曽地区(355)	33.0	43.7	9.0	2.8	11.3	0.3
	笹目地区(180)	38.9	40.0	6.1	1.1	12.8	1.1
	美女木地区(126)	43.7	36.5	8.7	1.6	7.1	2.4

2. 子育てについて

(1) 子育てのしやすさ

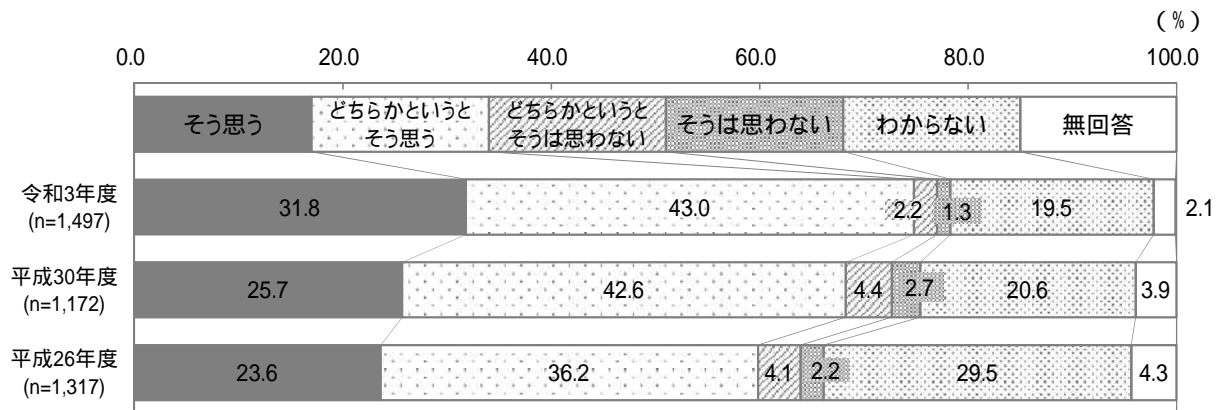
問 14 あなたは、戸田市は子育てしやすいまちだと思いますか。(は1つ)

【全体の回答傾向】

・戸田市の子育てのしやすさについては、「そう思う」(31.8%)と「どちらかというと思う」(43.0%)を合わせた肯定的な意見が74.8%となっています。

・これまでの推移を見ると、肯定的な意見は増加傾向で、平成14年度調査以降、初めて70%を超え、約4人に3人が肯定的な意見となっています。

図表 23 子育てのしやすさ(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見について、男性が73.7%であるのに対し、女性は76.1%と女性の方が高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代の子育て世代の「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見が72.3%、30歳代～40歳代は、80%前後となっています。
- ・居住地区別にみると、美女木地区以外のすべての地区で、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見が70%を超えています。また、最も高いのが上戸田1地区の79.3%、最も低いのが美女木地区の65.9%となっています。

図表 24 子育てのしやすさ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体(1,497)		31.8	43.0	2.2	1.3	19.5	2.1
性別	男性(670)	32.1	41.6	1.9	1.0	21.0	2.2
	女性(814)	31.6	44.5	2.3	1.6	18.1	2.0
年齢別	18～19歳(23)	13.0	47.8	0.0	0.0	34.8	4.3
	20～29歳(166)	30.1	42.2	1.2	1.8	23.5	1.2
	30～39歳(232)	37.9	39.7	2.6	1.7	17.7	0.4
	40～49歳(304)	34.9	46.7	3.3	1.3	13.8	0.0
	50～59歳(303)	30.4	45.9	1.7	1.0	19.8	1.3
	60～69歳(199)	27.6	48.2	2.0	0.5	19.1	2.5
	70歳以上(263)	30.4	35.4	2.3	1.9	23.2	6.8
居住地区別	下戸田1地区(177)	32.2	41.2	1.7	0.0	23.7	1.1
	下戸田2地区(268)	35.1	42.2	1.5	0.4	17.9	3.0
	上戸田1地区(150)	39.3	40.0	2.0	0.7	17.3	0.7
	上戸田2地区(228)	34.2	43.4	2.2	1.3	18.0	0.9
	新曽地区(355)	26.5	49.6	2.8	2.3	16.6	2.3
	笹目地区(180)	30.6	40.0	1.1	3.3	20.0	5.0
	美女木地区(126)	29.4	36.5	4.8	0.0	27.8	1.6

(2) 子育てに関する満足度

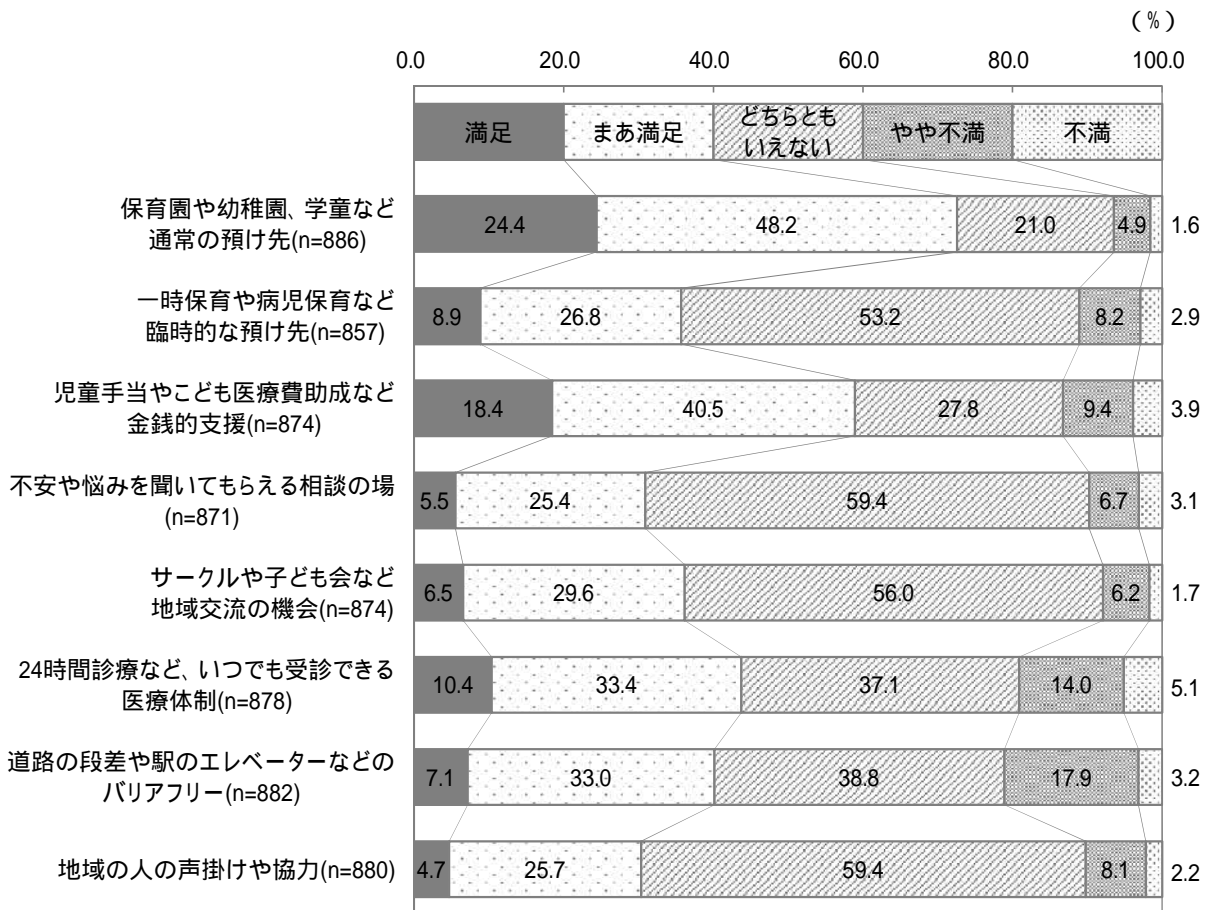
問 15 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに 1つ)
 お子さんがいない方は、問 16 へお進みください。
 お子さんが大きい方は、過去の経験からお答えください。

【回答傾向】

・この設問は、子どもがいる方のみ回答する設問であり、全体から、無回答を除いた数が集計母数となります。

・「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」については、「満足」(24.4%)と「まあ満足」(48.2%)を合わせた肯定的な意見が72.6%と、平成14年度調査以降、初めて70%を超え、「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」についても、肯定的な意見が50%を超えています。一方で、「道路の段差や駅のエレベーターなどのバリアフリー」については、「不満」と「やや不満」を合わせた否定的な意見が20%を超えています。

図表 25 子育てに関する満足度(全体)



3. 健康づくりについて

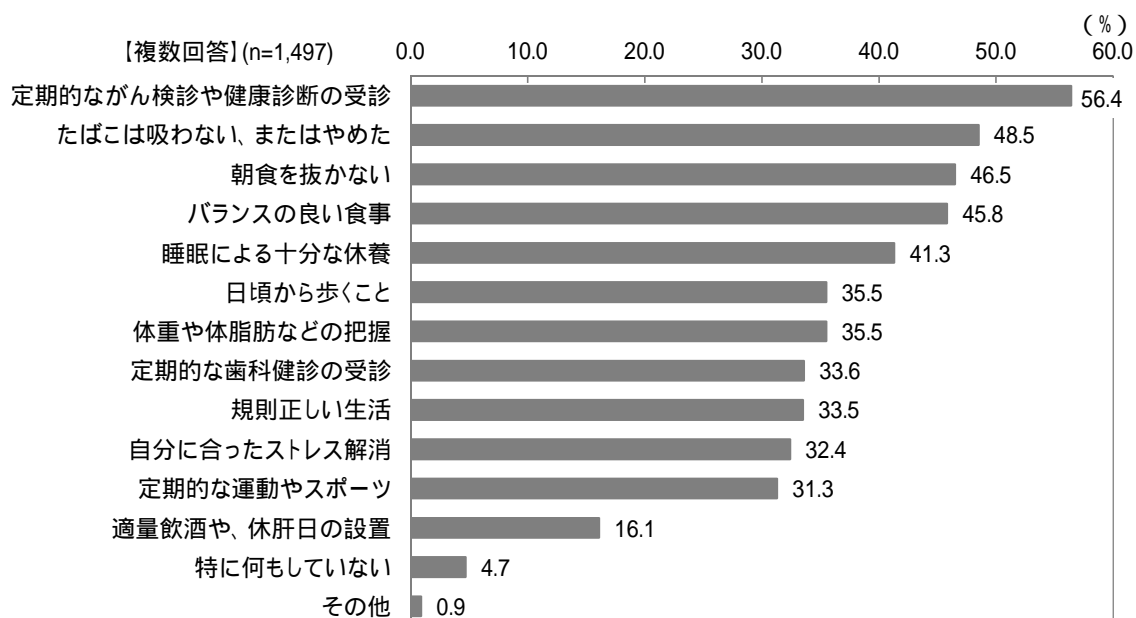
(1) 健康のために留意していること

問 16 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。 あてはまるものすべてを選んでください。 (はいいくつでも)

【全体の回答傾向】

・健康のために留意していることについて、「定期的ながん検診や健康診断の受診」が 56.4% と最も高く、次いで「たばこは吸わない、またはやめた」(48.5%)、「朝食を抜かない」(46.5%) となっています。一方、「特に何もしていない」は、「その他」を除けば 4.7% と最も低くなっています。

図表 26 健康のために留意していること(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「定期的な運動やスポーツ」、「適量飲酒や、休肝日の設置」などが高く、女性は男性に比べ、「バランスの良い食事」、「規則正しい生活」などが高くなっています。
- ・年齢別にみると、「特に何もしていない」を除き、年齢が上がるにつれて多くの項目で高くなる傾向があります。「特に何もしていない」については、10歳代が最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向があります。
- ・居住地区別にみると、上戸田2地区で「定期的ながん検診や健康診断の受診」が高くなっています。下戸田2地区や上戸田1地区、上戸田2地区では「定期的な歯科健診の受診」が高くなっています。また、美女木地区では「特に何もしていない」が高くなっています。

図表 27 健康のために留意していること(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		定期的ながん検診や健康診断の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	日頃から歩くこと	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	適量飲酒や、休肝日の設置	たばこは吸わない、またはやめた	特に何もしていない	その他
	全体(1,497)	56.4	33.6	45.8	46.5	31.3	35.5	35.5	41.3	32.4	33.5	16.1	48.5	4.7	0.9
性別	男性(670)	53.6	25.2	38.7	42.8	33.7	35.8	33.0	36.7	28.8	27.2	19.9	50.7	6.6	1.2
	女性(814)	59.2	40.7	51.6	49.4	29.1	35.1	37.5	45.0	35.5	38.6	13.0	46.3	3.1	0.7
年齢別	18～19歳(23)	8.7	34.8	47.8	52.2	34.8	21.7	26.1	34.8	26.1	30.4	4.3	13.0	8.7	0.0
	20～29歳(166)	34.9	24.7	41.6	36.7	33.7	29.5	33.1	51.8	41.6	33.1	21.7	54.2	4.8	0.6
	30～39歳(232)	47.4	34.9	39.2	39.2	27.6	24.1	36.2	41.8	36.6	25.0	15.5	47.0	4.7	0.0
	40～49歳(304)	64.8	37.2	45.1	41.1	29.9	32.6	33.2	40.1	28.9	32.9	17.4	46.7	4.3	1.0
	50～59歳(303)	66.3	32.7	47.9	42.6	30.7	37.3	36.6	36.6	33.0	30.0	13.2	42.6	4.0	1.0
	60～69歳(199)	61.3	34.7	45.2	54.8	34.7	40.2	40.2	37.2	28.1	32.2	20.1	51.3	5.0	2.0
	70歳以上(263)	57.4	34.6	54.0	63.5	32.3	48.3	35.0	45.6	30.0	46.8	13.3	56.7	4.9	1.1
居住地区別	下戸田1地区(177)	54.2	28.2	48.0	47.5	35.6	41.2	31.6	41.8	31.6	36.7	9.6	44.1	4.0	0.6
	下戸田2地区(268)	57.8	37.3	45.1	53.0	34.7	37.3	34.7	42.9	35.1	33.2	17.2	47.8	3.7	1.1
	上戸田1地区(150)	56.0	36.7	44.7	44.7	32.0	34.0	35.3	40.0	32.7	30.7	18.7	49.3	4.7	0.7
	上戸田2地区(228)	64.5	36.0	45.6	43.9	37.7	42.5	43.0	39.0	34.6	30.3	19.3	55.7	4.4	0.0
	新曽地区(355)	56.3	34.9	47.0	45.9	27.6	32.4	35.8	43.9	31.3	37.5	18.3	47.0	4.8	2.0
	笹目地区(180)	51.7	30.6	47.2	45.6	24.4	30.6	34.4	41.1	31.1	32.2	12.8	47.2	4.4	1.1
	美女木地区(126)	51.6	28.6	40.5	44.4	27.8	28.6	29.4	38.9	29.4	30.2	14.3	50.8	7.9	0.0

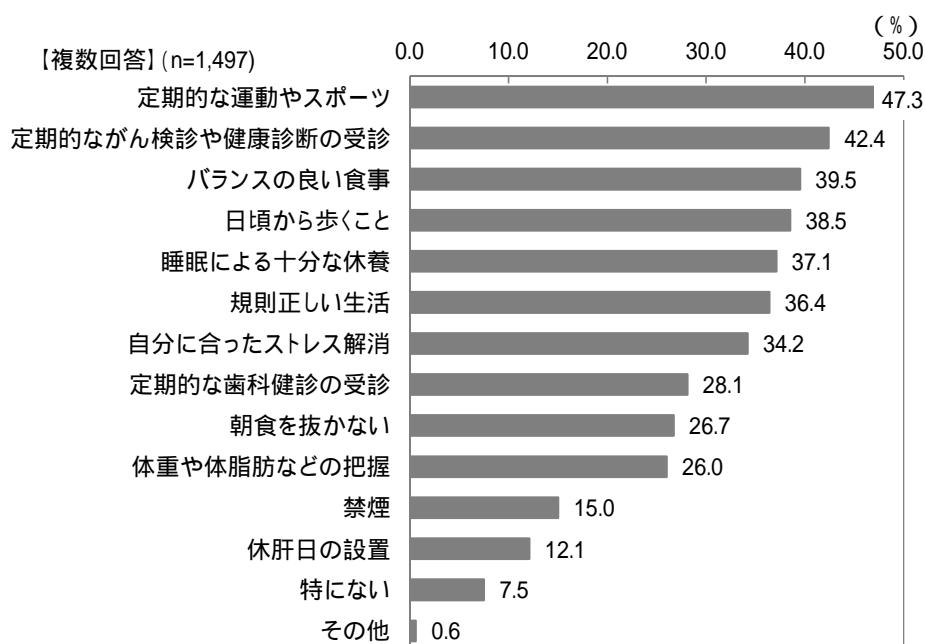
(2) 健康のために今後取り組みたいこと

問 17 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(はいいくつでも)

【全体の回答傾向】

・健康のために今後取り組みたいことについて、「定期的な運動やスポーツ」が47.3%と最も高く、次いで「定期的ながん検診や健康診断の受診」(42.4%)、「バランスの良い食事」(39.5%)となっています。

図表 28 健康のために今後取り組みたいこと(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「休肝日の設置」、「禁煙」及び「特にない」が高くなっています。女性は男性に比べ、それ以外の全ての項目で高くなっており、特に、「自分に合ったストレス解消」は9.2ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、「定期的ながん検診や健康診断の受診」や「日頃から歩くこと」で年齢が上がるにつれ、各項目の割合が高くなる傾向が見られます。また、他の年齢と比べて10歳代は、「バランスの良い食事」や「朝食を抜かない」、「睡眠による十分な休養」が高く、20歳代から50歳代は、「定期的な運動やスポーツ」が高く、70歳以上は、「定期的ながん検診や健康診断の受診」や「日頃から歩くこと」などが高くなっています。
- ・居住地区別にみると、他の地区に比べ、上戸田1地区は、「禁煙」が低く、「定期的な歯科健診の受診」や「日頃から歩くこと」が高くなっています。また、笹目地区では、「バランスの良い食事」や「規則正しい生活」が高くなっています。

図表 29 健康のために今後取り組みたいこと(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		定期的ながん検診や健康診断の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	日頃から歩くこと	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	休肝日の設置	禁煙	特になし	その他
	全体(1,497)	42.4	28.1	39.5	26.7	47.3	38.5	26.0	37.1	34.2	36.4	12.1	15.0	7.5	0.6
性別	男性(670)	39.6	21.6	37.3	26.1	45.8	36.7	23.3	33.6	29.3	32.5	16.4	20.1	9.4	0.4
	女性(814)	44.7	33.3	41.0	26.9	48.6	40.3	28.1	39.7	38.5	39.7	8.6	10.9	5.9	0.7
年齢別	18～19歳(23)	39.1	34.8	60.9	47.8	39.1	30.4	21.7	47.8	43.5	47.8	13.0	21.7	8.7	0.0
	20～29歳(166)	34.3	22.3	33.7	19.9	51.2	25.3	19.9	36.7	25.3	42.2	8.4	10.2	9.0	0.6
	30～39歳(232)	38.4	26.7	35.8	14.2	56.9	27.6	19.8	34.1	30.2	31.5	7.3	11.6	6.9	0.0
	40～49歳(304)	42.4	29.3	36.8	18.8	54.3	35.9	24.3	38.5	36.2	31.9	14.8	11.5	6.9	0.7
	50～59歳(303)	43.2	28.7	39.9	25.1	49.8	44.9	31.7	36.6	40.6	36.6	13.5	15.8	7.3	1.0
	60～69歳(199)	45.7	28.1	40.7	34.7	43.2	48.2	31.2	37.2	37.2	35.2	18.1	20.1	8.0	0.0
	70歳以上(263)	47.5	30.4	46.0	45.2	29.7	46.0	27.0	38.4	30.8	42.2	9.1	19.8	7.2	1.1
居住地区別	下戸田1地区(177)	37.3	23.2	37.3	28.2	44.1	41.2	21.5	32.2	27.7	35.6	7.3	14.7	7.3	0.6
	下戸田2地区(268)	44.4	29.5	37.7	30.2	44.4	38.1	22.8	40.3	34.3	34.7	11.6	14.9	5.6	0.4
	上戸田1地区(150)	44.0	34.0	38.7	26.0	48.0	42.0	27.3	32.7	36.0	33.3	9.3	10.7	10.0	1.3
	上戸田2地区(228)	45.6	27.6	40.8	25.4	48.7	39.5	30.3	43.0	36.8	37.3	16.7	17.5	9.2	1.3
	新曽地区(355)	45.6	31.0	40.6	25.6	53.5	38.9	27.3	39.2	35.8	39.2	12.7	14.4	7.0	0.3
	笹目地区(180)	41.1	26.7	42.8	28.3	43.3	39.4	28.3	35.0	36.1	42.8	10.6	17.8	7.2	0.6
	美女木地区(126)	32.5	20.6	38.1	21.4	42.1	28.6	24.6	30.2	28.6	28.6	16.7	13.5	7.1	0.0

【定期的ながん検診や健康診断の受診について】

「健康のために留意していること」(問 16) 及び「健康のために今後取り組みたいこと」(問 17) のいずれにおいても高い値を示した「定期的ながん検診や健康診断の受診」について、問 16 及び問 17 に対する回答(選択していれば、選択していなければ×)に基づき、回答者を 4 つに分類し、集計しました(図表 30)。

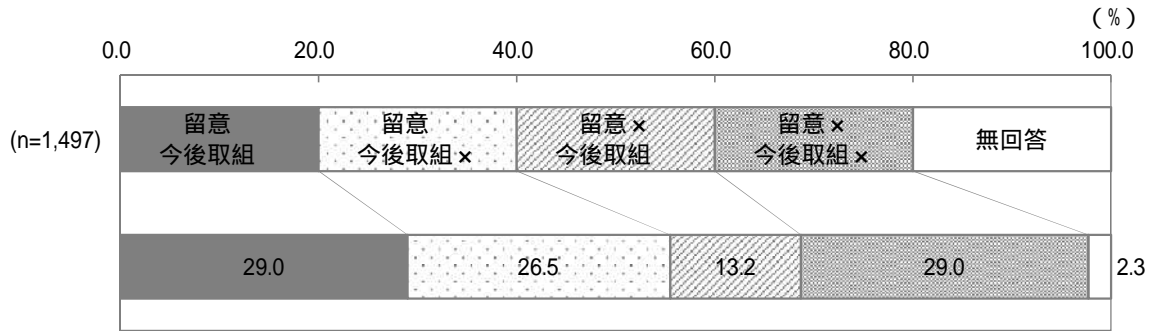
今後、がん検診や健康診断の受診者の増加を目指す場合、「現在留意していないが、今後取り組みたいと思っている(留意×今後取組)」層に対する対策が効果的であると考えられます。

「留意×今後取組」は、全体では 13.2%でした。さらに内訳を見ると、性別では、女性が 55.8%と半数以上を占め、年齢別では、30 歳代(24.9%)と 40 歳代(16.8%)の子育て世代の合計が 41.7%と約半数であり、全体の年齢構成(37.9%、図表 2 参照)よりも多くなっています。また、雇用形態別でみると、「フルタイム正社員」(32.5%)と「パート・アルバイト」(14.2%)が多くなっています。

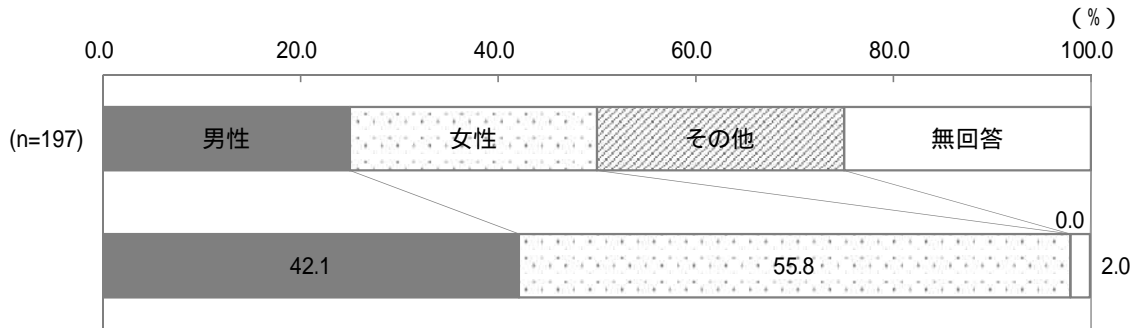
まとめると、定期的ながん検診や健康診断の受診について、「留意×今後取組」の集団は、女性の割合が高く、年齢では 30 歳代・40 歳代の子育て世代、雇用形態では、フルタイム正社員が多い、という結果でした。

なお、この「留意×今後取組」は、全体(n=1,497)の 13.2%であり、n=197 と集計母数が十分とは言えないため、そこから得た結果については、あくまで傾向を見る程度である点に留意してください。

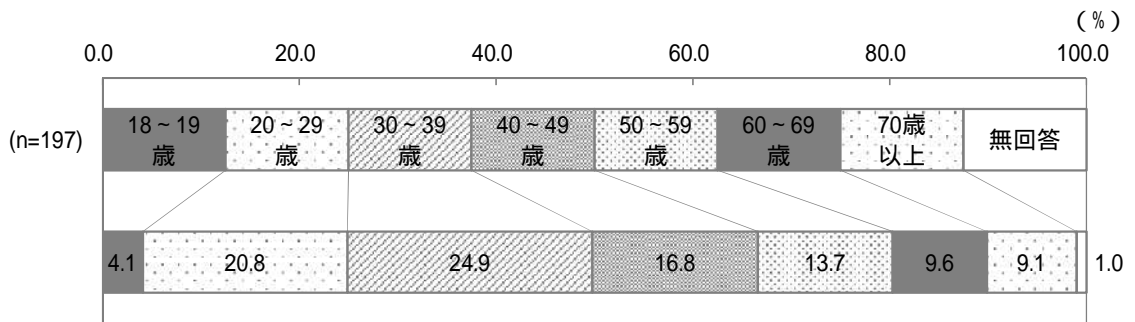
図表 30 定期的ながん検診や健康診断の受診(全体)



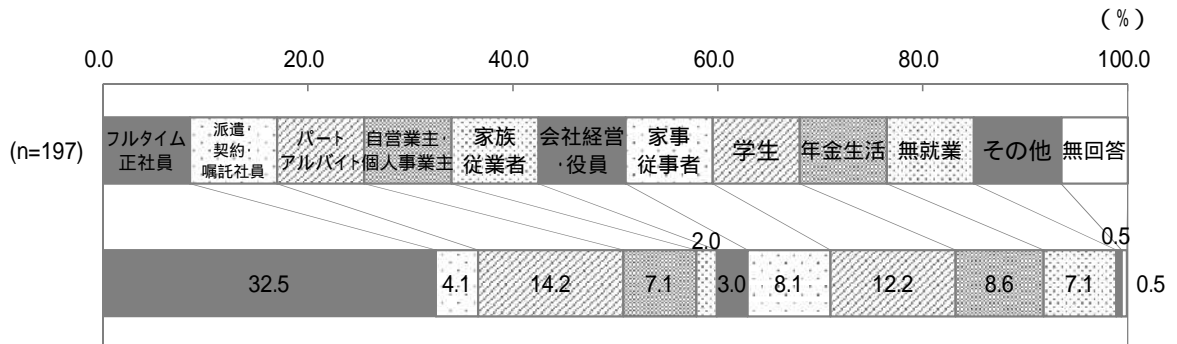
図表 31 留意 × 今後取組 (性別)



図表 32 留意 × 今後取組 (年齢別)



図表 33 留意 × 今後取組 (雇用形態別)



4. 高齢化について

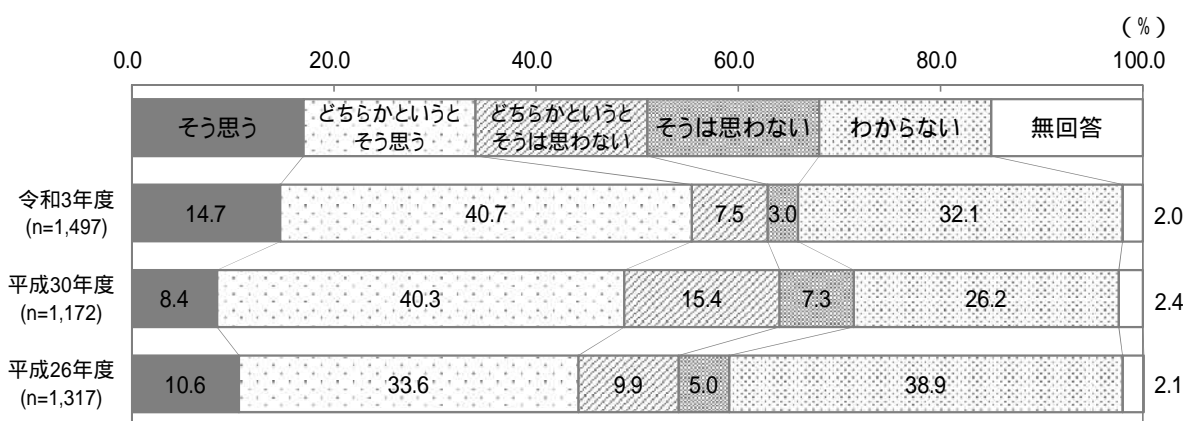
(1) 高齢者にとって、過ごしやすいまちだと思うか

問 18 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいまちだと思いますか。(は1つ)

【全体の回答傾向】

・「そう思う」(14.7%)と「どちらかというと思う」(40.7%)を合わせた肯定的な意見が55.4%と、平成30年度調査から6.7ポイント増え、平成18年度調査以降、初めて50%を超えています。また、「どちらかというと思わない」(7.5%)と「そうは思わない」(3.0%)を合わせた否定的な意見は10.5%となっており、12.2ポイント減少しています。

図表 34 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、20歳代、60歳代及び70歳以上で肯定的な意見が多く、「そう思う」は20歳代で15.1%、60歳代で15.1%、70歳以上では26.2%と高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田1地区、上戸田1地区で「そう思う」が他の地区と比べ高い割合となっています。

図表 35 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか

(全体・性別・年齢別・居住地区別・介護経験)

		そう思う	そう思う どちらかという	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体(1,497)		14.7	40.7	7.5	3.0	32.1	2.0
性別	男性(670)	16.4	40.0	7.6	2.4	31.5	2.1
	女性(814)	13.3	40.9	7.5	3.6	32.8	2.0
年齢別	18～19歳(23)	4.3	43.5	4.3	0.0	47.8	0.0
	20～29歳(166)	15.1	44.0	3.6	2.4	33.7	1.2
	30～39歳(232)	10.3	41.4	7.3	2.6	36.2	2.2
	40～49歳(304)	10.9	41.8	4.9	3.0	38.5	1.0
	50～59歳(303)	11.9	39.6	10.2	2.6	33.3	2.3
	60～69歳(199)	15.1	35.2	10.1	3.0	34.2	2.5
	70歳以上(263)	26.2	42.6	8.4	4.6	15.2	3.0
居住地区別	下戸田1地区(177)	18.6	44.6	6.8	1.7	26.6	1.7
	下戸田2地区(268)	13.8	40.3	7.1	3.7	32.1	3.0
	上戸田1地区(150)	17.3	37.3	7.3	2.7	33.3	2.0
	上戸田2地区(228)	15.8	41.7	6.1	2.6	32.9	0.9
	新曽地区(355)	13.2	42.3	5.4	3.1	33.8	2.3
	笹目地区(180)	11.7	38.3	11.7	4.4	33.3	0.6
	美女木地区(126)	15.1	36.5	13.5	2.4	28.6	4.0

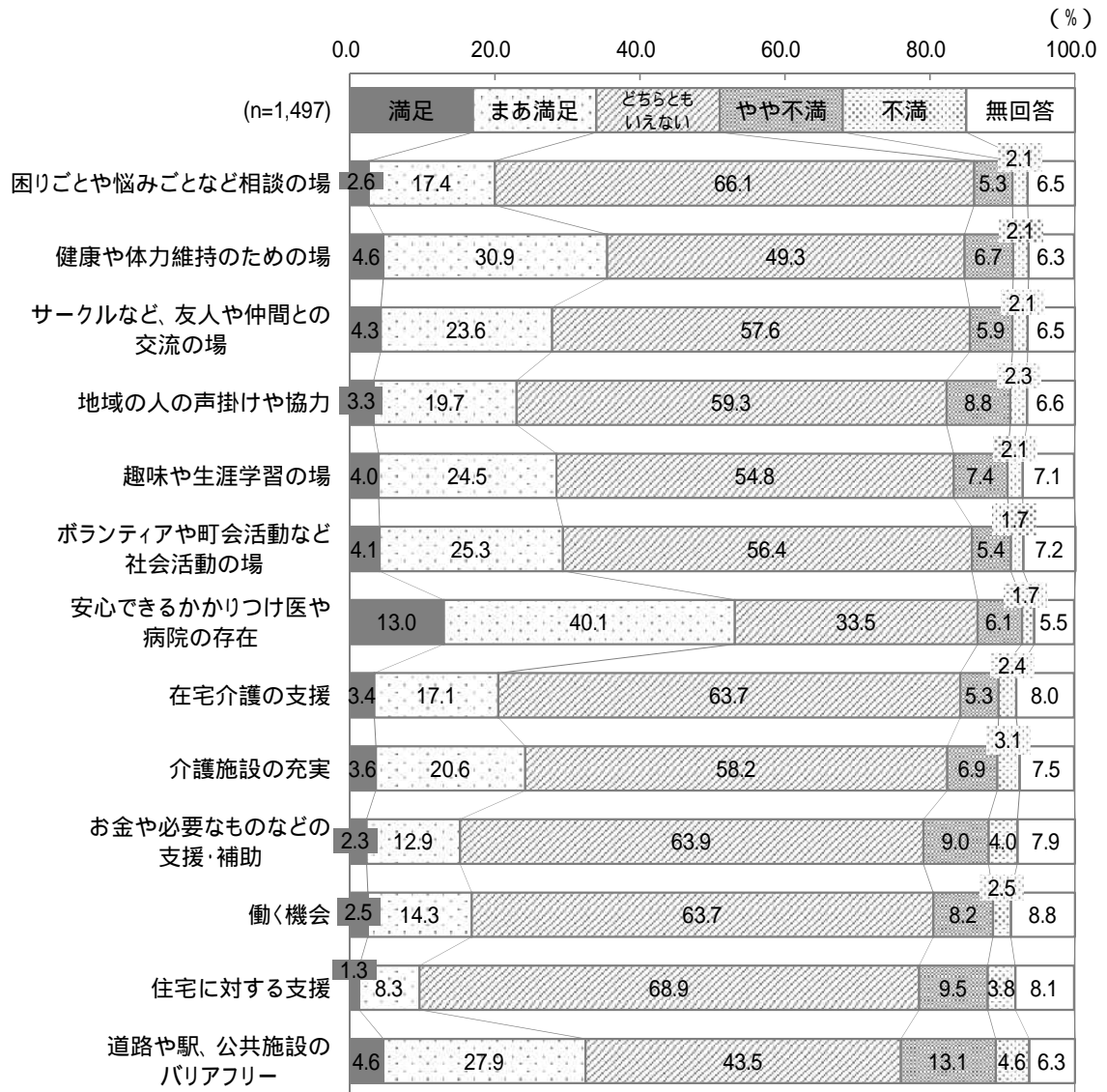
(2) 高齢者に関することにどの程度満足しているか

問 19 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに 1つ)
 あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

【全体の回答傾向】

- ・「安心できるかかりつけ医や病院の存在」以外の項目では「どちらともいえない」が最も多い結果でした。
- ・「満足」及び「まあ満足」を見ると、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」が合計で53.1%と他の項目に比べて最も高く、次いで「健康や体力維持のための場」が35.5%と高くなっています。一方、「やや不満」及び「不満」の合計で「道路や駅、公共施設のバリアフリー」が17.7%と最も低くなりました。

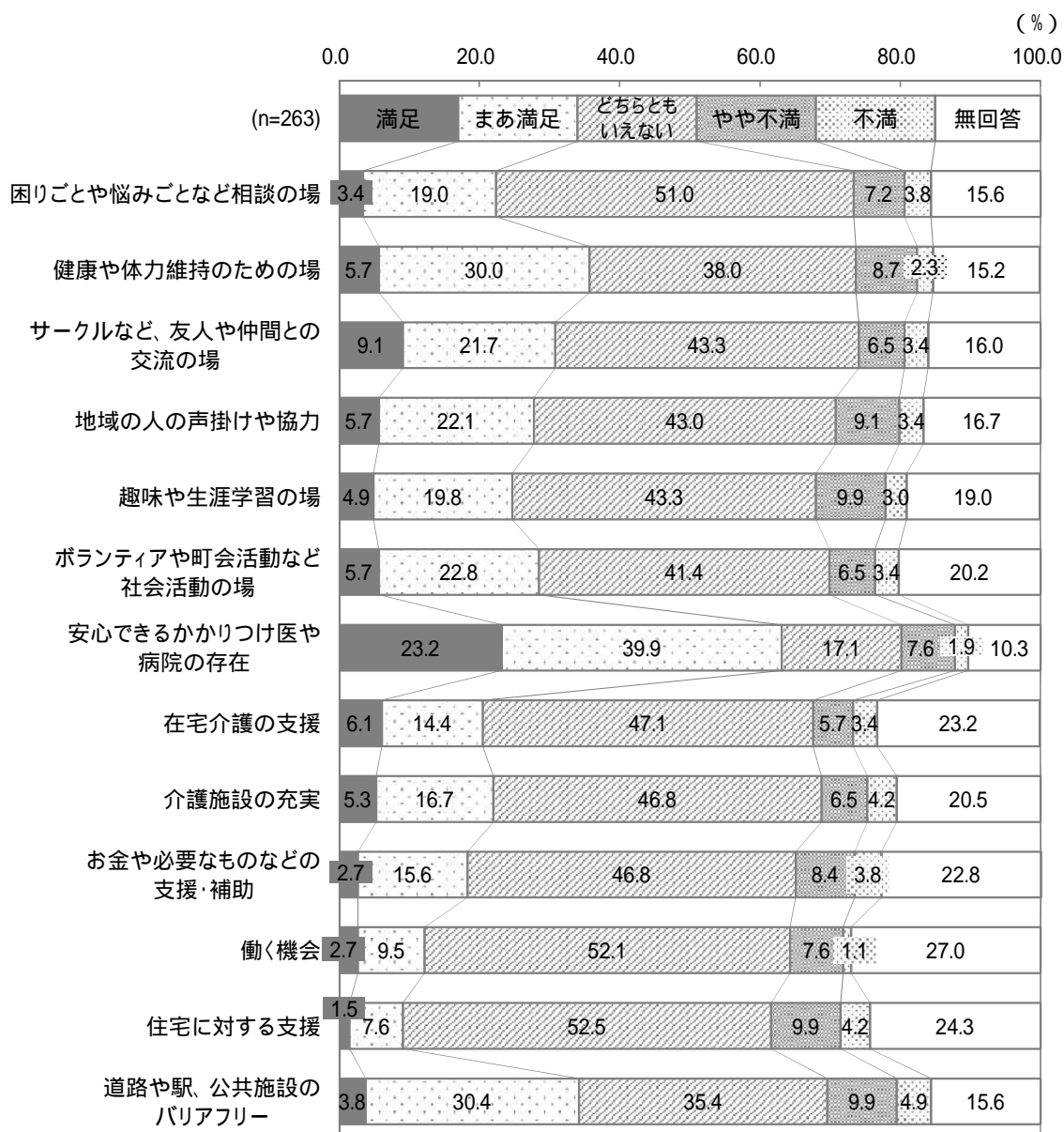
図表 36 高齢者に関することの満足度(全体)



【70歳以上の満足度】

・「満足」及び「まあ満足」でみると、最も顕著なのは、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」であり、合計が63.1%と突出して高くなっています。また、「健康や体力維持のための場」や「道路や駅、公共施設のバリアフリー」が全体（図表36）と比べて高くなっています。一方で、「住宅に対する支援」は、全体よりも低い値となっていました。

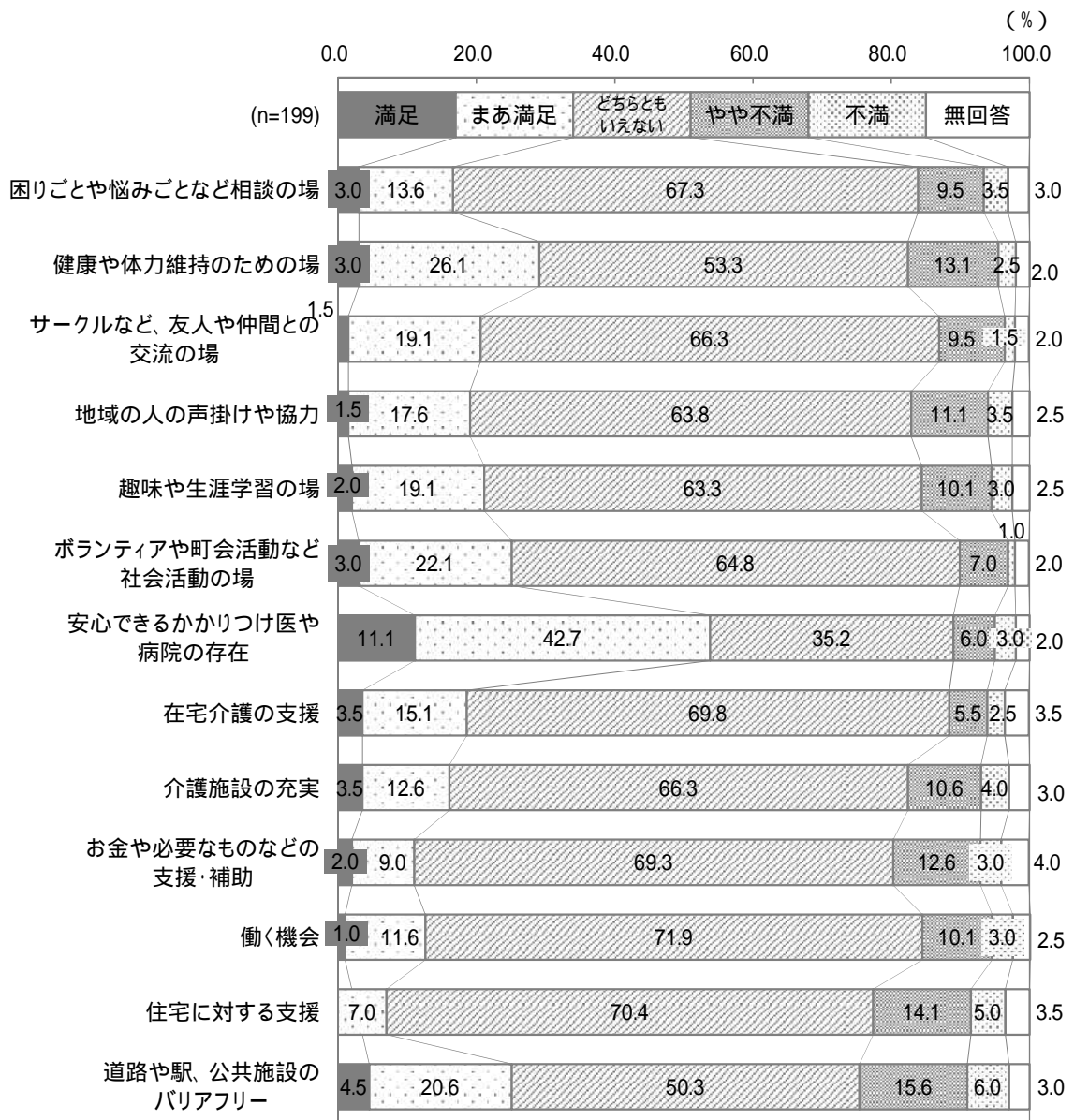
図表 37 高齢者に関することの満足度(70歳以上の満足度)



【60～69歳の満足度】

・60歳代（図表38）を見ると、全体（図表36）や70歳代（図表37）と比べて、「やや不満」及び「不満」の割合が高く、無回答が少なくなっています。一方で、「満足」及び「まあ満足」の合計については、多くの項目で全体（図表36）と比べて低くなっています。

図表 38 高齢者に関することの満足度(60～69歳)



5 . 生活環境について

(1) 地域の生活環境

問 20 あなたは、住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。(項目ごとに は1つ)

《本設問の集計方法とグラフの見方》

- ・地域の生活環境について、保健・衛生、安全、利便、快適の4分野23項目とそれらの総合評価からなる計24項目にわたって、「非常に良い」から「非常に悪い」までの5段階で評価を求めました。
- ・評価の結果をわかりやすく示すために、「非常に良い・やや良い・普通・やや悪い・非常に悪い」の回答数に、それぞれ「+2・+1・0・-1・-2」点を与え、その合計を全回答数(「わからない」「無回答」を除く)で除して評価点としました。
- ・したがって本設問の場合、+2に近いほど肯定的な評価、-2に近いほど否定的な評価とみることができます。

【全体の回答傾向】

- ・23項目のうちプラスの評価点となったものは13項目あり、評価点の高い順に「日用品・食料品等の買い物の便利さ」、「ごみの回収」、「通勤・通学の便利さ」、「日当たりや風通しの良さ」となっています。
- ・一方、マイナスの評価点となったものは10項目で、評価点の低い順に「川の水のきれいさ」、「騒音・振動(工場・車等)」、「周りの道路の安全性」、「災害(火災・地震・台風)からの安全性」となっています。

保健・衛生

- ・7項目中、プラス評価・マイナス評価が混在しています。「ごみの回収」は評価点が+0.82と全体でも2番目に高い評価となっています。一方、「ハチ、蚊(か)等の害虫対策」、「ばい煙・排気ガス」や「騒音・振動(工場・車等)」など、害虫対策や環境衛生に関する項目の評価が低くなっています。

安全

- ・7項目中5項目がマイナス評価となっています。特に、「周りの道路の安全性」が-0.17、「災害(火災・地震・台風等)からの安全性」が-0.15と、低い評価でした。

利便

- ・すべてプラス評価になっています。特に「日用品・食料品等の買い物の便利さ」が+0.85と23項目の中で最も高く、「通勤・通学の便利さ」も+0.69と高くなっています。

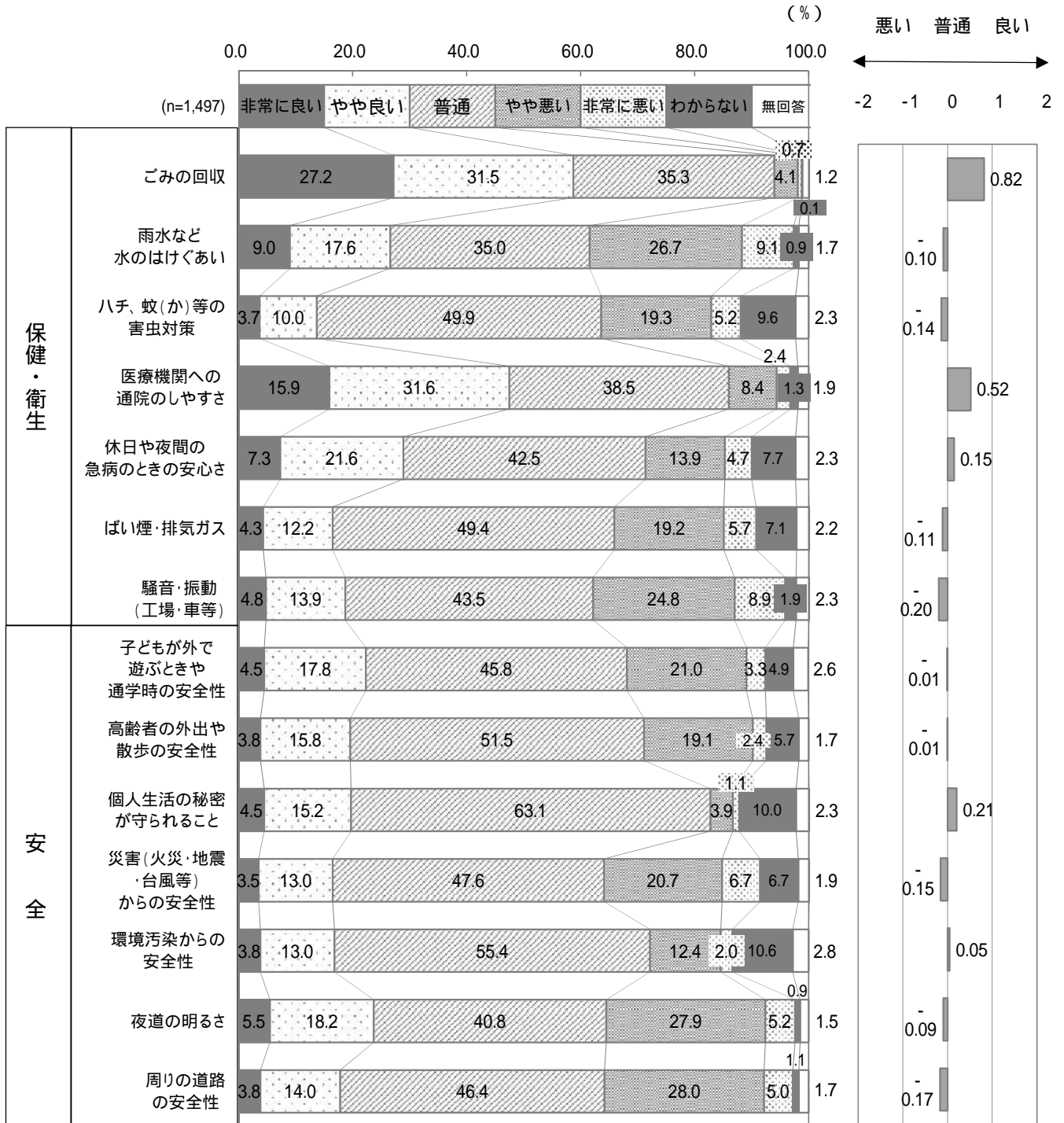
快適

- ・「川の水のきれいさ」の-0.48を除き、プラス評価となっています。「日当たりや風通しの良さ」は、+0.69と全体でも3番目に高い評価となっています。

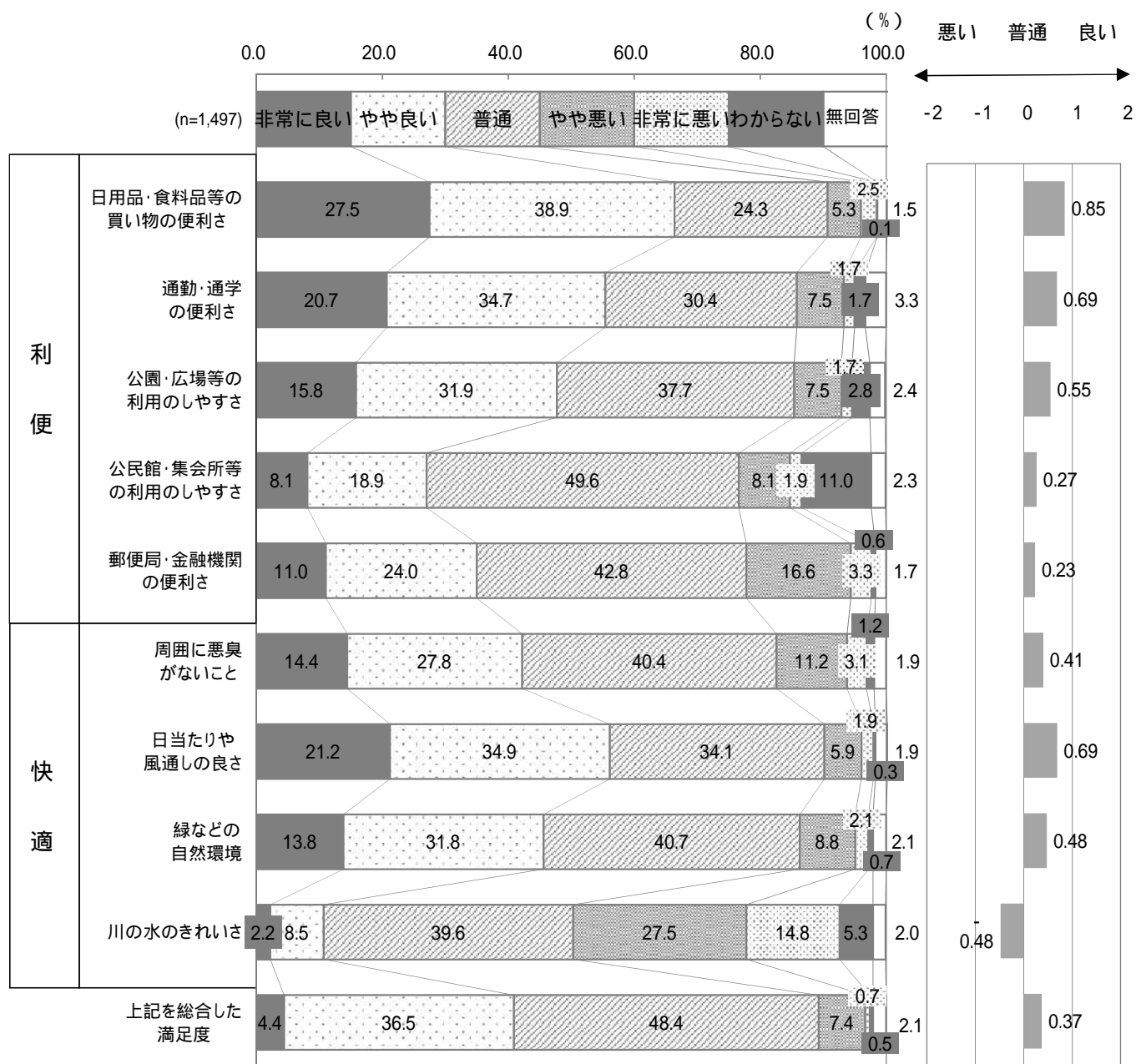
総合

- ・ ~ を総合した場合の評価点は+0.37で、地域の生活環境については、総じてプラス評価となっています。

図表 39-1 地域の生活環境(全体・評価点)



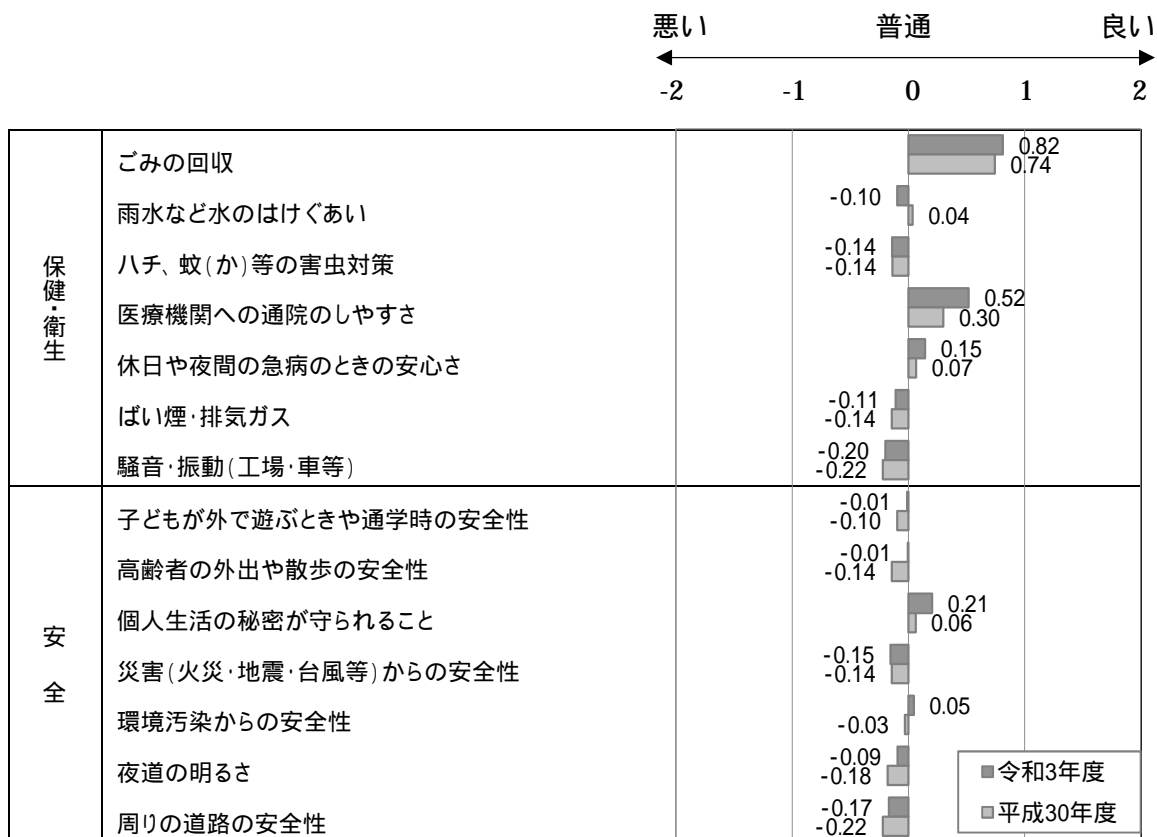
図表 39-2 地域の生活環境(全体・評価点)(つづき)



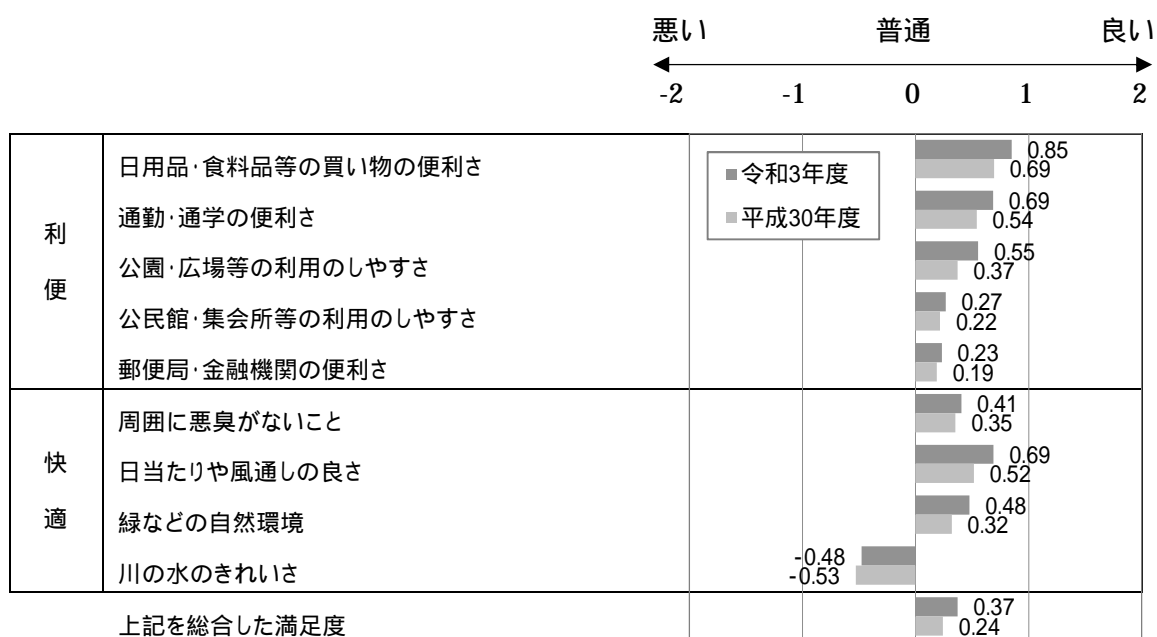
【平成 30 年度調査との比較】

- ・ 前回調査である平成 30 年度調査と比較すると、「総合評価」では、0.13 ポイントのプラスでした。
- ・ 4 つの大きな項目で見ると、「利便」と「快適」の分野では、9 項目全ての項目で前回比プラスとなりました。
- ・ 一方、「保健・衛生」と「安全」の分野では、特に大きく前回比プラスとなった項目では、「医療機関への通院のしやすさ」(前回比+0.22)が最も高く、次いで「個人生活の秘密が守られること」(前回比+0.15)でした。また、最も前回比マイナスとなった項目は、「雨水など水のはけぐあい」(前回比 - 0.14)でした。
- ・ 令和 3 年度調査においてマイナス評価で、かつ前回比がマイナスとなった項目は、「災害(火災・地震・台風等)からの安全性」(評価点 - 0.15、前回比 - 0.01)の 1 項目のみでした。

図表 40-1 地域の生活環境(平成 30 年度調査との比較)



図表 40-2 地域の生活環境(平成 30 年度調査との比較)(つづき)



【属性別の回答傾向】

令和 3 年度の評価点及び前回比がマイナスとなった 2 項目の傾向

- ・「雨水など水のはけぐあい」(評価点 - 0.10、前回比 - 0.14)

令和 3 年度の評価点を属性別に見ると、年齢別では、40 歳代が最も低く、20 歳代及び 70 歳以上では高い評価となっています。また、地区別では、新曽地区 (- 0.46) が突出して低く、下戸田 1 地区が高い評価となっています。

前回比で見ると、年齢別では、20 歳代のみプラスとなっています。また、地区別では、上戸田 1 地区で最もマイナスが大きく、次いで上戸田 2 地区及び新曽地区で大きくマイナスとなっています。

- ・「災害(火災・地震・台風等)からの安全性」(評価点 - 0.15、前回比 - 0.01)

令和 3 年度の評価点を属性別に見ると、年齢別では、30 歳代及び 50 歳代が最も低くなっています。また、地区別では、上戸田 2 地区(- 0.26)が突出して低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、30 歳代及び 60 歳代で低い傾向があります。また、地区別では、上戸田 2 地区が最もマイナスが大きく、次いで笹目地区、下戸田 2 地区でマイナスとなっています。

前回はプラスとなったものの、評価点はマイナスとなった 7 項目の傾向

- ・「ばい煙・排気ガス」(評価点 - 0.11、前回比 + 0.03)

令和 3 年度の評価点で見ると、年齢別では 40 歳代が最も低くなっています。居住地区別では、美女木地区 (- 0.46) が突出して低く、次いで笹目地区 (- 0.26) が低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では 20 歳代(+ 0.27)で大きくプラスとなっています。一方、

10 歳代では - 0.33 と大きくマイナスとなっています。居住地区別では、新曽地区で + 0.10 と高くなっています。一方、上戸田 2 地区 (- 0.04)、次いで笹目地区 (- 0.01)、上戸田 1 地区 (- 0.01) とマイナスとなっています。居住期間別では、5 年未満で前回比 + 0.30 と大きくプラスとなっています。一方、10~20 年未満はマイナスとなっています。

・「騒音・振動(工場・車等)」(評価点 - 0.20、前回比 + 0.02)

令和 3 年度の評価点で見ると、全ての年齢でマイナスとなっています。居住地区別では、美女木地区 (- 0.54) で最も低く、次いで笹目地区 (- 0.38)、下戸田 2 地区 (- 0.26) で低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、10 歳代で前回比 - 0.52 と大きくマイナスとなっています。居住地区別では、下戸田 1 地区で前回比 + 0.15 と最も高く、次いで美女木地区 (+ 0.09) でした。居住期間別では、5 年未満で前回比 + 0.38 と大きくプラスとなっています。一方、5~10 年未満及び 10~20 年未満はマイナスとなっています。

・「子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性」(評価点 - 0.01、前回比 + 0.09)

令和 3 年度の評価点で見ると、年齢別では、20 歳代で最も高く (+ 0.23)、30 歳代から 50 歳代ではマイナスとなっています。また、居住地区別は、笹目地区 (- 0.17) が最も低く、次いで美女木地区 (- 0.14) となっています。

前回比で見ると、年齢別では、10 歳代 (- 0.08) が最も低く、次いで 70 歳代以上 (- 0.07) となっています。居住地区別では、新曽地区 (+ 0.18) が最も高くなっています。次いで上戸田 2 地区 (+ 0.15) となっています。居住期間別では、5 年未満で前回比 + 0.66 と大きくプラスとなっています。

・「高齢者の外出や散歩の安全性」(評価点 - 0.01、前回比 + 0.13)

令和 3 年度の評価点で見ると、年齢別では、20 歳代 (+ 0.24) で最も高く、一方、40 歳代から 60 歳代では低くなっています。また、居住地区別では、下戸田 1 地区及び上戸田 1 地区 (+ 0.10) が最も高く、一方、笹目地区 (- 0.11) が最も低くなっています。

前回比で見ると、10 歳代 (- 0.28) のみマイナスで、20 歳代以上は、プラスとなっています。居住地区別では、全ての地区でプラスとなっています。

・「夜道の明るさ」(評価点 - 0.09、前回比 + 0.09)

令和 3 年度の評価点で見ると、年齢別では、30 歳代から 60 歳代でマイナスとなっています。居住地区別では、美女木区 (- 0.26) が最も低く、次いで笹目地区 (- 0.19) となっています。

前回比で見ると、20 歳代から 60 歳代でプラスとなっています。居住地区別及び居住年数別では、全ての居住地区及び居住年数でプラスとなっています。

・「周りの道路の安全性」(評価点 - 0.17、前回比 + 0.05)

令和 3 年度の評価点で見ると、年齢別では、30 歳代から 60 歳代で大きくマイナスとなっています。居住地区別では、美女木地区 (- 0.26) と最も低く、次いで新曽地区及び笹目地区 (- 0.25) となっています。

前回比で見ると、20歳代(+0.18)が最も高く、一方で、10歳代(-0.44)と最も低くなっています。また、居住地区別で見ると、下戸田1地区及び上戸田2地区(+0.18)が、大きくプラスとなっています。一方、下戸田2地区(-0.09)ではマイナスとなり、地区によって差が目立っています。

・「川の水のきれいさ」(評価点 - 0.48、前回比 + 0.05)

令和3年度の評価点で見ると、年齢別では、全ての年齢で大きくマイナスとなっています。居住地区別も全ての地区で大きくマイナスとなり、新曽地区(-0.57)が最も低く、次いで上戸田2地区(-0.52)、笹目地区(-0.50)となっています。居住年数別でも、全ての年数で大きくマイナスとなっています。

前回比で見ると、40歳代(+0.22)が大きくプラスになっています。また、居住地区別で見ると、笹目地区(+0.17)が最も高く、次いで下戸田1地区(+0.13)となっています。一方、美女木地区(-0.10)となり、地区によって差が目立っています。

図表 41-1 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別)

		保健・衛生							安全						
		ごみの回収	雨水など水のはげぐあい	ハチ、蚊(か)等の害虫対策	医療機関への通院のしやすさ	休日や夜間の急病のときの安心さ	ばい煙・排気ガス	騒音・振動(工場・車等)	子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	高齢者の外出や散歩の安全性	個人生活の秘密が守られること	災害(火災・地震・台風等)からの安全性	環境汚染からの安全性	夜道の明るさ	周りの道路の安全性
	全体(1,497)	0.82	-0.10	-0.14	0.52	0.15	-0.11	-0.20	-0.01	-0.01	0.21	-0.15	0.05	-0.09	-0.17
性別	男性(670)	0.85	-0.09	-0.11	0.51	0.16	-0.07	-0.13	-0.01	-0.01	0.21	-0.13	0.04	-0.07	-0.18
	女性(814)	0.79	-0.10	-0.17	0.54	0.13	-0.15	-0.26	-0.01	0.00	0.21	-0.18	0.05	-0.11	-0.16
年齢別	18～19歳(23)	0.39	-0.17	-0.05	0.77	0.14	-0.13	-0.52	0.17	0.09	0.17	-0.18	-0.18	-0.26	-0.22
	20～29歳(166)	0.96	0.19	0.00	0.86	0.35	0.10	-0.10	0.23	0.24	0.59	0.14	0.33	0.18	0.16
	30～39歳(232)	0.77	-0.24	-0.39	0.51	0.20	-0.18	-0.35	-0.15	0.03	0.19	-0.26	0.03	-0.12	-0.29
	40～49歳(304)	0.74	-0.30	-0.19	0.52	0.19	-0.24	-0.27	-0.06	-0.07	0.18	-0.20	0.03	-0.20	-0.29
	50～59歳(303)	0.74	-0.19	-0.14	0.39	-0.03	-0.16	-0.25	-0.09	-0.15	0.09	-0.26	-0.04	-0.20	-0.26
	60～69歳(199)	0.83	-0.23	-0.09	0.46	0.05	-0.05	-0.11	0.03	-0.04	0.12	-0.25	0.01	-0.19	-0.18
	70歳以上(263)	0.98	0.34	0.05	0.52	0.24	0.01	-0.01	0.10	0.09	0.21	0.02	0.09	0.13	0.02
居住地区別	下戸田1地区(177)	0.90	0.36	-0.02	0.56	0.19	0.06	0.13	0.10	0.10	0.22	0.01	0.19	0.17	0.00
	下戸田2地区(268)	0.94	-0.02	-0.03	0.55	0.17	-0.13	-0.26	-0.08	-0.06	0.17	-0.20	0.03	-0.07	-0.22
	上戸田1地区(150)	0.85	-0.21	-0.15	0.73	0.37	-0.03	-0.10	0.18	0.10	0.29	-0.07	0.13	-0.15	-0.01
	上戸田2地区(228)	0.83	-0.17	-0.16	0.75	0.24	-0.06	-0.11	0.04	-0.03	0.18	-0.26	0.01	-0.07	-0.10
	新曽地区(355)	0.70	-0.46	-0.29	0.51	0.12	-0.05	-0.19	0.00	0.02	0.27	-0.18	0.09	-0.13	-0.25
	笹目地区(180)	0.73	0.08	-0.16	0.26	-0.03	-0.26	-0.38	-0.17	-0.11	0.10	-0.24	-0.07	-0.19	-0.25
	美女木地区(126)	0.85	0.14	-0.02	0.08	-0.09	-0.46	-0.54	-0.14	-0.07	0.17	0.01	-0.10	-0.26	-0.26
居住期間別	5年未満(86)	0.83	0.15	-0.06	0.63	0.20	0.15	-0.08	0.23	0.27	0.46	-0.02	0.32	0.05	-0.05
	5～10年未満(181)	0.85	-0.19	-0.20	0.60	0.26	-0.17	-0.32	-0.13	0.07	0.29	-0.13	0.08	-0.09	-0.20
	10～20年未満(385)	0.75	-0.28	-0.20	0.53	0.19	-0.20	-0.32	-0.11	-0.10	0.17	-0.23	-0.03	-0.21	-0.25
	20年以上(883)	0.84	-0.01	-0.10	0.48	0.11	-0.08	-0.13	0.04	-0.01	0.18	-0.13	0.05	-0.06	-0.14

図表 41-2 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別)(つづき)

		利便					快適				総合
		日用品・食料品等の買い物の便利さ	通勤・通学の便利さ	公園・広場等の利用のしやすさ	公民館・集会所等の利用のしやすさ	郵便局・金融機関の便利さ	周囲に悪臭がないこと	日当たりや風通しの良さ	緑などの自然環境	川の水のきれいさ	上記を総合した満足度
	全体(1,497)	0.85	0.69	0.55	0.27	0.23	0.41	0.69	0.48	-0.48	0.37
性別	男性(670)	0.83	0.68	0.54	0.25	0.18	0.42	0.66	0.46	-0.47	0.38
	女性(814)	0.87	0.69	0.57	0.28	0.27	0.40	0.71	0.49	-0.49	0.37
年齢別	18～19歳(23)	1.17	0.78	0.57	0.13	0.30	0.35	0.48	0.39	-0.83	0.50
	20～29歳(166)	1.14	1.05	0.77	0.43	0.60	0.60	0.87	0.61	-0.45	0.66
	30～39歳(232)	0.93	0.66	0.68	0.31	0.17	0.38	0.76	0.63	-0.66	0.42
	40～49歳(304)	0.92	0.78	0.64	0.36	0.19	0.35	0.68	0.45	-0.35	0.40
	50～59歳(303)	0.89	0.67	0.54	0.21	0.06	0.41	0.69	0.45	-0.54	0.30
	60～69歳(199)	0.69	0.50	0.32	0.10	0.10	0.22	0.54	0.33	-0.45	0.24
	70歳以上(263)	0.56	0.50	0.40	0.25	0.41	0.54	0.67	0.45	-0.39	0.31
居住地区別	下戸田1地区(177)	1.06	0.73	0.55	0.31	0.44	0.57	0.67	0.42	-0.40	0.36
	下戸田2地区(268)	0.90	0.71	0.58	0.28	0.28	0.43	0.72	0.50	-0.49	0.42
	上戸田1地区(150)	1.06	0.79	0.63	0.40	0.36	0.57	0.68	0.50	-0.29	0.46
	上戸田2地区(228)	1.01	1.02	0.64	0.38	0.38	0.49	0.73	0.53	-0.52	0.51
	新曽地区(355)	0.89	0.75	0.55	0.25	0.17	0.35	0.73	0.41	-0.57	0.36
	笹目地区(180)	0.27	0.19	0.42	0.05	-0.06	0.31	0.49	0.55	-0.50	0.16
	美女木地区(126)	0.67	0.32	0.49	0.19	0.06	0.09	0.80	0.52	-0.40	0.29
居住期間別	5年未満(86)	1.07	0.78	0.84	0.38	0.37	0.56	0.64	0.76	-0.32	0.64
	5～10年未満(181)	0.96	0.77	0.69	0.36	0.16	0.39	0.82	0.63	-0.50	0.49
	10～20年未満(385)	0.91	0.71	0.60	0.29	0.12	0.34	0.71	0.45	-0.56	0.39
	20年以上(883)	0.78	0.64	0.47	0.23	0.30	0.43	0.65	0.43	-0.45	0.31

図表 42-1 地域の生活環境[前回比](令和3年度調査の値と平成30年度調査の値の差)

		保健・衛生							安全						
		ごみの回収	雨水など水のはけぐあい	ハチ、蚊(か)等の害虫対策	医療機関への通院のしやすさ	休日や夜間の急病のときの安心さ	ばい煙・排気ガス	騒音・振動(工場・車等)	子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	高齢者の外出や散歩の安全性	個人生活の秘密が守られること	災害(火災・地震・台風等)からの安全性	環境汚染からの安全性	夜道の明るさ	周りの道路の安全性
	全体(1,497)	0.08	-0.14	0.00	0.22	0.08	0.03	0.02	0.09	0.13	0.15	-0.01	0.08	0.09	0.05
性別	男性(670)	0.10	-0.16	-0.02	0.23	0.09	-0.01	0.00	0.10	0.12	0.16	0.00	0.03	0.01	-0.01
	女性(814)	0.05	-0.11	0.00	0.22	0.06	0.06	0.03	0.08	0.15	0.13	-0.03	0.11	0.14	0.10
年齢別	18～19歳(23)	-0.61	-0.75	-0.12	-0.01	-0.39	-0.33	-0.52	-0.08	-0.28	-0.30	-0.28	-0.57	-0.16	-0.44
	20～29歳(166)	0.20	0.10	0.25	0.46	0.17	0.27	0.04	0.18	0.10	0.46	0.11	0.14	0.28	0.18
	30～39歳(232)	0.08	-0.10	0.01	0.19	0.25	0.12	0.02	0.10	0.26	0.12	-0.08	0.15	0.13	0.07
	40～49歳(304)	0.14	-0.26	-0.07	0.24	0.14	-0.02	-0.05	0.20	0.16	0.10	0.00	0.08	0.08	-0.02
	50～59歳(303)	0.13	-0.01	-0.03	0.23	0.04	0.06	0.03	0.03	0.10	0.14	0.00	0.08	0.13	0.14
	60～69歳(199)	0.21	-0.30	-0.02	0.19	0.03	0.05	0.15	0.15	0.26	0.08	-0.06	0.13	0.01	0.14
	70歳以上(263)	-0.14	-0.02	-0.01	0.16	-0.04	-0.09	0.05	-0.07	0.02	0.14	0.03	0.04	-0.01	-0.04
居住地区別	下戸田1地区(177)	0.14	0.11	0.03	0.15	0.11	0.11	0.15	0.10	0.27	0.19	0.16	0.18	0.13	0.18
	下戸田2地区(268)	0.11	-0.10	-0.05	0.11	-0.09	0.01	-0.03	-0.07	0.06	0.04	-0.04	0.06	0.03	-0.09
	上戸田1地区(150)	0.07	-0.24	-0.21	0.11	0.14	-0.01	0.04	0.14	0.14	0.23	0.09	0.07	0.02	0.11
	上戸田2地区(228)	0.11	-0.23	0.05	0.07	-0.08	-0.04	-0.05	0.15	0.09	0.05	-0.14	-0.03	0.10	0.18
	新曽地区(355)	0.01	-0.16	0.11	0.33	0.20	0.10	0.02	0.18	0.20	0.22	0.04	0.20	0.17	0.06
	笹目地区(180)	0.06	-0.07	-0.05	0.21	0.05	-0.01	0.01	-0.02	0.04	0.08	-0.11	-0.05	0.05	-0.03
	美女木地区(126)	0.05	-0.14	0.05	0.50	0.24	0.02	0.09	0.13	0.15	0.18	0.00	0.01	0.01	0.01
居住期間別	5年未満(86)	0.26	0.10	0.18	0.45	0.34	0.30	0.38	0.66	0.32	0.66	0.24	0.48	0.34	0.24
	5～10年未満(181)	0.12	0.11	0.08	0.19	0.18	0.02	-0.10	-0.04	0.22	0.17	0.01	0.09	0.05	0.15
	10～20年未満(385)	0.07	-0.24	0.01	0.10	-0.07	-0.06	-0.16	-0.01	-0.05	-0.02	-0.05	-0.02	0.01	-0.10
	20年以上(883)	0.08	-0.09	0.00	0.21	0.08	0.06	0.10	0.13	0.15	0.14	0.00	0.08	0.11	0.08

図表 42-2 地域の生活環境[前回比](令和3年度調査の値と平成30年度調査の値の差)
(つづき)

		利便					快適				総合
		日用品・食料品等の買い物の利便さ	通勤・通学の利便さ	公園・広場等の利用のしやすさ	公民館・集会所等の利用のしやすさ	郵便局・金融機関の利便さ	周囲に悪臭がないこと	日当たりや風通しの良さ	緑などの自然環境	川の水のきれいさ	上記を総合した満足度
	全体(1,497)	0.16	0.15	0.18	0.05	0.04	0.06	0.17	0.16	0.05	0.13
性別	男性(670)	0.23	0.18	0.21	0.04	0.01	0.06	0.17	0.17	0.05	0.14
	女性(814)	0.10	0.11	0.16	0.05	0.07	0.05	0.17	0.14	0.05	0.12
年齢別	18～19歳(23)	0.01	-0.31	-0.18	-0.56	-0.39	-0.23	-0.18	-0.11	-0.09	-0.05
	20～29歳(166)	0.23	0.39	0.27	0.20	0.29	0.07	0.18	0.18	0.10	0.26
	30～39歳(232)	0.06	0.12	0.18	0.15	0.06	0.16	0.25	0.26	-0.01	0.16
	40～49歳(304)	0.16	0.25	0.28	0.06	0.14	-0.05	0.14	0.05	0.22	0.09
	50～59歳(303)	0.32	0.14	0.20	0.12	0.04	0.20	0.21	0.16	-0.05	0.10
	60～69歳(199)	0.20	0.05	0.13	0.03	-0.15	-0.12	0.09	0.16	0.10	0.12
	70歳以上(263)	-0.03	0.01	0.08	-0.09	0.00	0.08	0.17	0.19	-0.05	0.14
居住地区別	下戸田1地区(177)	0.14	0.16	0.18	0.02	0.00	0.15	0.17	0.21	0.13	0.11
	下戸田2地区(268)	0.06	0.04	0.08	0.00	-0.02	-0.06	0.18	0.15	-0.04	0.05
	上戸田1地区(150)	0.28	0.08	0.15	0.18	0.01	0.12	0.29	0.16	0.06	0.14
	上戸田2地区(228)	0.09	0.14	0.21	0.06	0.06	0.08	0.25	0.15	0.11	0.18
	新曽地区(355)	0.10	0.18	0.30	0.15	0.15	0.12	0.09	0.14	0.05	0.19
	笹目地区(180)	0.20	0.01	0.16	-0.11	0.04	0.07	0.08	0.18	0.17	0.06
	美女木地区(126)	0.33	0.37	0.12	0.00	0.01	-0.17	0.24	0.17	-0.10	0.16
居住期間別	5年未満(86)	0.80	0.59	0.55	0.33	0.66	0.20	0.05	0.30	0.08	0.59
	5～10年未満(181)	0.00	0.12	0.06	0.18	-0.03	0.05	0.15	0.16	-0.17	-0.02
	10～20年未満(385)	-0.02	-0.01	0.08	-0.11	-0.15	-0.10	0.08	0.03	0.06	0.03
	20年以上(883)	0.15	0.14	0.15	0.04	0.12	0.10	0.17	0.15	0.08	0.11

(2) 公共施設の利用状況

問 21 あなたは、以下の施設を利用していますか。利用していない場合は、理由を教えてください。(施設ごとに は1つ)

市内の公共施設について、令和3年度調査では「白田保養所」及び「少年自然の家」を除き、「芦原小学校生涯学習施設」及び「荒川水循環センター上部公園」を加えた計30施設について、それぞれの利用状況を尋ねました。

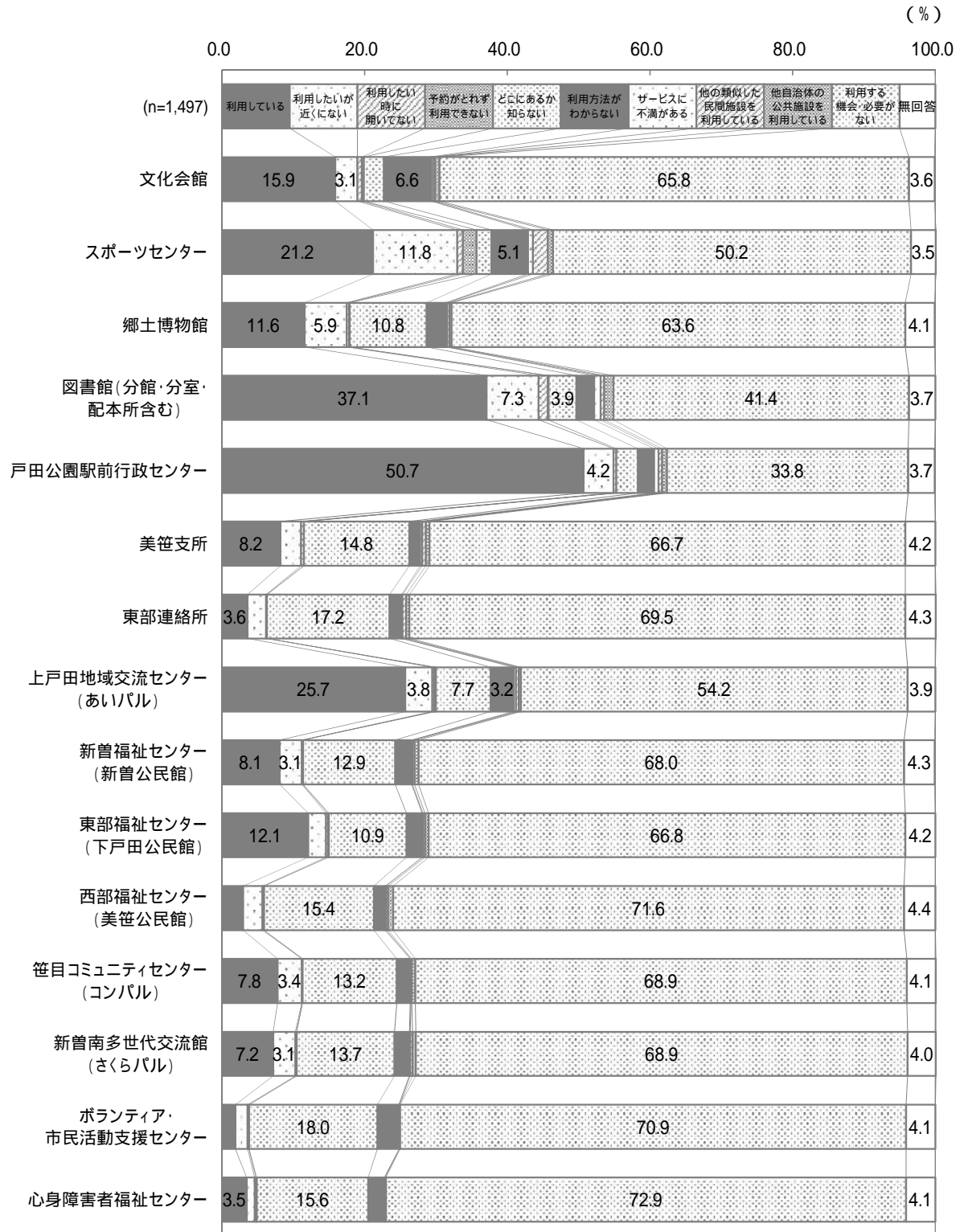
【全体の回答傾向】

- ・「利用している」の割合が高い施設は、順に「戸田公園駅前行政センター」(50.7%)、「彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)」(40.5%)、「図書館(分室・配本所含む)」(37.1%)となっています。
- ・一方、「利用している」の割合が低い施設は、順に「芦原小学校生涯学習施設」(1.7%)、「戸田市ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)」(1.9%)、「野球場(ソフトボール場含む)」(2.5%)、「サッカー場」(3.0%)、「西部福祉センター(美笹公民館)」(3.0%)となっています。

【平成30年度調査との比較】

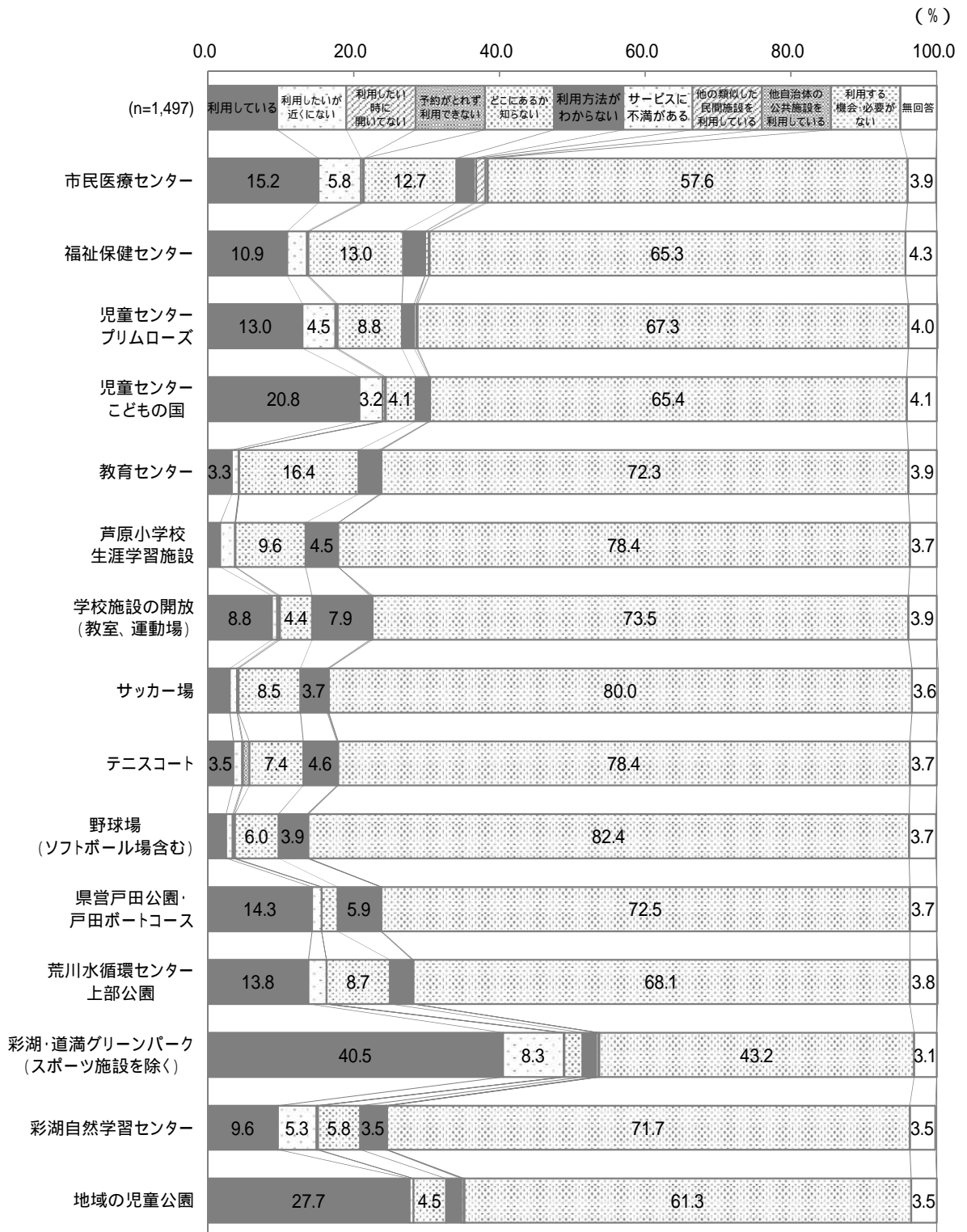
- ・平成30年度調査(前回調査)と比較すると、ほとんどの施設は「利用している」に大きな変化はありませんが、「戸田公園駅前行政センター」(前回比+5.0)、「上戸田地域交流センター(あいパル)」(前回比+2.3)や「市民医療センター」(前回比+2.1)では増加しています。
- ・一方、「利用している」が前回より最も減少したのは、「文化会館」(前回比-10.0)で、次いで「美笹支所」(前回比-6.1)、「郷土博物館」(前回比-3.5)、「図書館(分室・配本所含む)」(前回比-2.8)、「新曽福祉センター(新曽公民館)」(前回比-2.5)、「東部連絡所」(前回比-2.1)となっています。

図表 43-1 公共施設の利用状況(全体)



(注) 3%未満は非表示

図表 43-2 公共施設の利用状況(全体)(つづき)



(注) 3%未満は非表示

図表 44-1 公共施設の利用状況(平成 30 年度調査との比較)

施設名	利用している			利用していない			利用する機会・必要がない			無回答		
	R3	H30	差	R3	H30	差	R3	H30	差	R3	H30	差
文化会館	15.9	25.9	-10.0	14.6	11.2	3.4	65.8	57.8	8.0	3.6	5.2	-1.6
スポーツセンター	21.2	22.8	-1.6	25.2	25.3	-0.1	50.2	46.7	3.5	3.5	5.3	-1.8
郷土博物館	11.6	15.1	-3.5	20.6	17.8	2.8	63.6	61.1	2.5	4.1	6.0	-1.9
図書館(分館・分室・配本所含む)	37.1	39.9	-2.8	17.8	15.5	2.3	41.4	39.8	1.6	3.7	4.7	-1.0
戸田公園駅前行政センター	50.7	45.7	5.0	11.7	11.3	0.4	33.8	37.8	-4.0	3.7	5.1	-1.4
美笹支所	8.2	14.3	-6.1	20.9	19.4	1.5	66.7	61.0	5.7	4.2	5.3	-1.1
東部連絡所	3.6	5.7	-2.1	22.7	22.3	0.4	69.5	66.5	3.0	4.3	5.5	-1.2
上戸田地域交流センター(あいパル)	25.7	23.4	2.3	16.2	17.9	-1.7	54.2	53.4	0.8	3.9	5.3	-1.4
新曽福祉センター(新曽公民館)	8.1	10.6	-2.5	19.5	18.3	1.2	68.0	66.0	2.0	4.3	5.1	-0.8
東部福祉センター(下戸田公民館)	12.1	13.6	-1.5	16.9	18.2	-1.3	66.8	63.0	3.8	4.2	5.3	-1.1
西部福祉センター(美笹公民館)	3.0	4.8	-1.8	21.0	21.4	-0.4	71.6	68.5	3.1	4.4	5.3	-0.9
笹目コミュニティセンター(コンパル)	7.8	9.6	-1.8	19.3	18.7	0.6	68.9	66.0	2.9	4.1	5.8	-1.7
新曽南多世代交流館(さくらパル)	7.2	7.3	-0.1	20.0	20.8	-0.8	68.9	66.0	2.9	4.0	5.8	-1.8
ボランティア・市民活動支援センター	1.9	2.3	-0.4	23.1	24.1	-1.0	70.9	67.8	3.1	4.1	5.8	-1.7
心身障害者福祉センター	3.5	4.7	-1.2	19.5	20.7	-1.2	72.9	68.3	4.6	4.1	6.2	-2.1
市民医療センター	15.2	13.1	2.1	23.2	23.7	-0.5	57.6	57.3	0.3	3.9	5.9	-2.0
福祉保健センター	10.9	10.8	0.1	19.5	19.6	-0.1	65.3	63.1	2.2	4.3	6.5	-2.2
児童センタープリムローズ	13.0	12.8	0.2	15.8	13.6	2.2	67.3	67.8	-0.5	4.0	5.8	-1.8

(注) 表中の「利用していない」は「利用したいが近くにない」、「利用したい時に開いていない」、「予約がとれず利用できない」、「どこにあるか知らない」、「利用方法がわからない」、「サービスに不満がある」、「他の類似した民間施設を利用している」及び「他自治体の公共施設を利用している」の合計

図表 44-2 公共施設の利用状況(平成 30 年度調査との比較)(つづき)

施設名	利用している			利用していない			利用する機会・必要がない			無回答		
	R3	H30	差	R3	H30	差	R3	H30	差	R3	H30	差
児童センターこどもの国	20.8	19.5	1.3	9.7	8.7	1.0	65.4	65.7	-0.3	4.1	6.1	-2.0
教育センター	3.3	2.8	0.5	20.5	17.7	2.8	72.3	73.3	-1.0	3.9	6.2	-2.3
芦原小学校生涯学習施設	1.7	-	-	16.2	-	-	78.4	-	-	3.7	-	-
学校施設の開放 (教室、運動場)	8.8	10.4	-1.6	13.8	10.8	3.0	73.5	72.9	0.6	3.9	6.0	-2.1
サッカー場	3.0	3.7	-0.7	13.6	13.2	0.4	80.0	77.2	2.8	3.6	5.9	-2.3
テニスコート	3.5	3.7	-0.2	14.4	14.0	0.4	78.4	76.8	1.6	3.7	5.5	-1.8
野球場 (ソフトボール場含む)	2.5	4.4	-1.9	11.3	11.2	0.1	82.4	78.8	3.6	3.7	5.6	-1.9
県営戸田公園・ 戸田ボートコース	14.3	13.8	0.5	9.5	8.0	1.5	72.5	72.1	0.4	3.7	6.1	-2.4
荒川水循環センター上部公園	13.8	-	-	14.4	-	-	68.1	-	-	3.8	-	-
彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	40.5	38.9	1.6	13.2	11.7	1.5	43.2	44.1	-0.9	3.1	5.3	-2.2
彩湖自然学習センター	9.6	10.2	-0.6	15.0	13.5	1.5	71.7	70.4	1.3	3.5	5.9	-2.4
地域の児童公園	27.7	25.2	2.5	7.5	7.6	-0.1	61.3	61.7	-0.4	3.5	5.5	-2.0

【属性別の回答傾向】

・性別にみると、男性は女性と比べて「スポーツセンター」や「彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」など屋外・スポーツ施設の利用頻度が高く、一方、女性は「上戸田地域交流センター」や「児童センタープリムローズ」、「教育センター」など文化施設や福祉関連施設、子育て関連施設の利用頻度が高くなっています。

図表 45-1 公共施設の利用状況「利用している」の割合(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		文化会館	スポーツセンター	郷土博物館	図書館(分館・分室・配本所含む)	戸田公園駅前行政センター	美笹支所	東部連絡所	上戸田地域交流センター(あいパル)	新曽福祉センター(新曽公民館)	東部福祉センター(下戸田公民館)	西部福祉センター(美笹公民館)	笹目コミュニティセンター(コンパル)	新曽南多世代交流館(さくらパル)	ボランティア・市民活動支援センター	心身障害者福祉センター
	全体(1,497)	25.9	22.8	15.1	39.9	45.7	14.3	5.7	23.4	10.6	13.6	4.8	9.6	7.3	2.3	4.7
性別	男性(670)	25.2	26.2	17.4	37.9	42.8	16.6	6.3	20.9	9.1	11.8	5.1	10.5	5.5	1.8	4.3
	女性(814)	26.6	20.3	13.5	41.9	48.4	12.6	5.3	25.3	11.8	14.9	4.6	9.0	8.8	2.7	5.0
年齢別	18～19歳(23)	31.3	65.6	28.1	59.4	31.3	9.4	0.0	31.3	9.4	3.1	6.3	12.5	3.1	0.0	6.3
	20～29歳(166)	20.2	27.5	14.7	45.9	45.0	10.1	1.8	11.9	6.4	5.5	0.9	4.6	2.8	2.8	0.9
	30～39歳(232)	18.7	22.0	13.2	44.5	48.4	9.9	2.2	36.8	8.8	7.7	2.7	5.5	8.8	2.2	4.4
	40～49歳(304)	30.9	28.8	19.3	51.1	57.5	13.3	4.3	29.2	11.6	14.2	3.9	9.4	12.4	0.9	6.9
	50～59歳(303)	28.4	24.7	15.3	40.9	58.6	11.6	5.1	21.4	11.6	12.6	4.7	9.3	4.7	2.3	4.2
	60～69歳(199)	26.6	21.3	15.4	36.1	40.2	20.7	11.8	18.9	10.1	20.7	7.1	14.8	7.7	3.6	5.3
	70歳以上(263)	26.1	8.8	10.6	21.7	26.1	19.5	8.8	15.9	12.8	18.6	7.5	11.5	6.2	3.1	4.4
居住地区別	下戸田1地区(177)	22.9	14.6	11.8	34.0	29.9	0.7	14.6	27.1	5.6	29.2	1.4	4.2	3.5	2.1	4.9
	下戸田2地区(268)	22.4	18.7	7.0	36.9	59.8	0.5	15.0	28.5	4.7	34.6	0.0	2.8	2.8	3.3	10.7
	上戸田1地区(150)	41.6	29.6	20.8	49.6	40.8	0.0	0.8	45.6	8.8	4.8	0.0	0.8	4.8	2.4	0.0
	上戸田2地区(228)	19.3	17.5	10.5	36.8	79.5	2.3	2.3	32.2	7.0	6.4	1.2	2.9	14.0	1.8	7.0
	新曽地区(355)	29.1	32.3	25.1	51.0	44.6	4.8	2.4	15.9	23.5	6.4	2.8	8.4	12.7	2.0	4.4
	笹目地区(180)	26.3	24.4	19.2	41.7	32.1	51.9	0.6	10.3	10.3	3.2	16.0	35.3	6.4	1.3	1.3
	美女木地区(126)	20.8	18.9	6.6	19.8	15.1	65.1	1.9	4.7	7.5	3.8	18.9	17.0	2.8	3.8	0.0

・年齢別にみると、30歳代から70歳以上での利用頻度1位は「戸田公園駅前行政センター」
 となっています。

図表 45-2 公共施設の利用状況(全体・性別・年齢別・居住地区別)(つづき)

		市民医療センター	福祉保健センター	児童センター プリムローズ	児童センター こどもの国	教育センター	蘆原小学校生涯学習施設	学校施設の開放 (教室、運動場)	サッカー場	テニスコート	野球場 (ソフトボール場含む)	戸田ポルトコース 県営戸田公園	荒川水循環センター 上部公園	彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	彩湖自然学習センター	地域の児童公園
全体(1,497)		14.2	13.1	10.8	12.8	19.5	3.8	2.8	10.4	3.7	3.7	4.4	13.8	38.9	10.2	25.2
性別	男性(670)	12.8	13.6	8.9	13.0	18.1	3.7	3.0	11.0	4.5	2.8	8.3	17.8	43.6	11.4	22.3
	女性(814)	15.3	12.9	12.4	12.7	20.8	3.8	2.7	10.0	3.0	4.4	1.5	10.9	35.5	9.4	27.6
年齢別	18～19歳(23)	6.3	6.3	3.1	18.8	25.0	12.5	6.3	18.8	12.5	9.4	6.3	18.8	53.1	21.9	31.3
	20～29歳(166)	5.5	11.0	9.2	11.0	14.7	1.8	0.0	7.3	3.7	4.6	3.7	8.3	33.0	8.3	13.8
	30～39歳(232)	6.0	11.5	20.3	24.7	43.4	3.3	2.2	14.8	6.6	1.1	3.8	15.9	48.4	8.8	39.0
	40～49歳(304)	11.2	17.6	10.3	18.0	28.3	8.2	3.9	19.7	6.4	5.6	4.7	17.6	57.1	16.7	41.2
	50～59歳(303)	14.0	9.3	9.8	11.2	11.2	2.8	4.7	7.9	1.9	6.0	6.5	17.2	36.3	8.4	17.2
	60～69歳(199)	20.7	17.8	7.7	8.9	14.8	2.4	2.4	5.3	1.8	3.6	3.0	14.8	35.5	11.2	26.6
	70歳以上(263)	24.8	11.9	9.3	2.7	4.9	1.3	1.8	4.0	0.4	0.4	4.0	6.2	18.6	4.9	8.8
居住地区別	下戸田1地区(177)	12.5	3.5	5.6	8.3	16.7	2.1	4.2	9.7	0.7	1.4	3.5	6.9	22.9	4.9	19.4
	下戸田2地区(268)	12.6	4.2	10.3	4.2	28.5	2.8	1.4	7.5	4.7	4.2	2.8	21.0	36.4	7.0	23.8
	上戸田1地区(150)	15.2	4.8	15.2	10.4	23.2	2.4	3.2	12.8	2.4	2.4	6.4	10.4	36.0	8.0	25.6
	上戸田2地区(228)	15.2	5.8	9.4	10.5	26.3	4.1	2.9	5.8	2.9	3.5	3.5	25.1	33.3	8.8	25.7
	新曽地区(355)	15.5	10.4	10.4	17.1	17.5	4.8	3.6	13.9	4.8	5.2	2.8	11.2	39.0	11.2	23.1
	笹目地区(180)	16.0	34.0	12.2	23.7	7.7	5.1	2.6	7.7	3.8	2.6	5.8	8.3	50.6	15.4	29.5
	美女木地区(126)	11.3	42.5	16.0	17.0	13.2	4.7	1.9	17.9	5.7	5.7	10.4	9.4	61.3	19.8	33.0

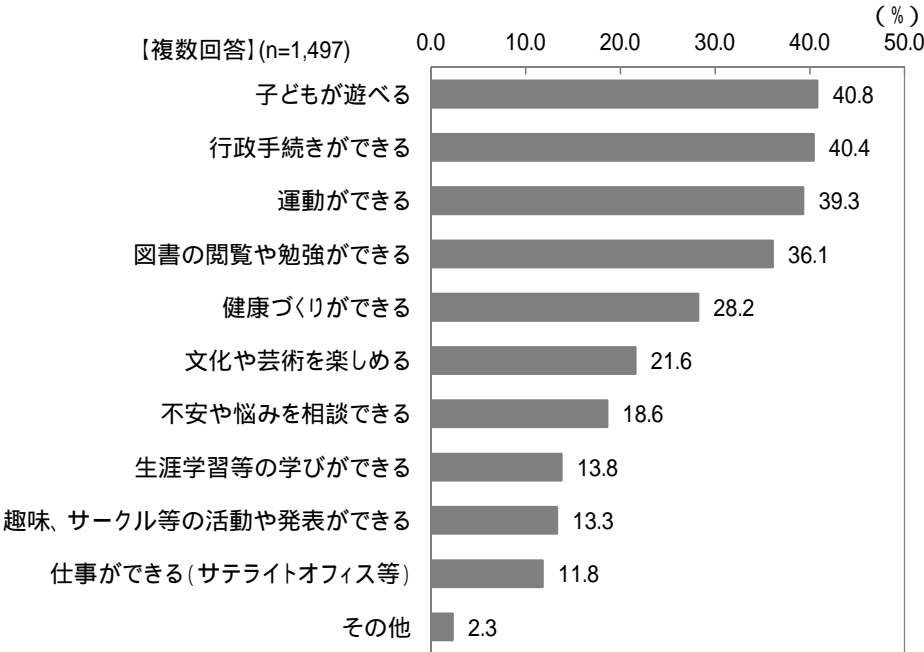
(3) 公共施設に求めるサービス(機能)

問 22 以下の項目のうち、あなたが公共施設のサービス(機能)に求めるものは何ですか。3つ選んで番号を記入してください。
 また、そのサービスは戸田市にある施設で足りていると思いますか。足りている場合は「○」、足りていない場合は「×」でお答えください。

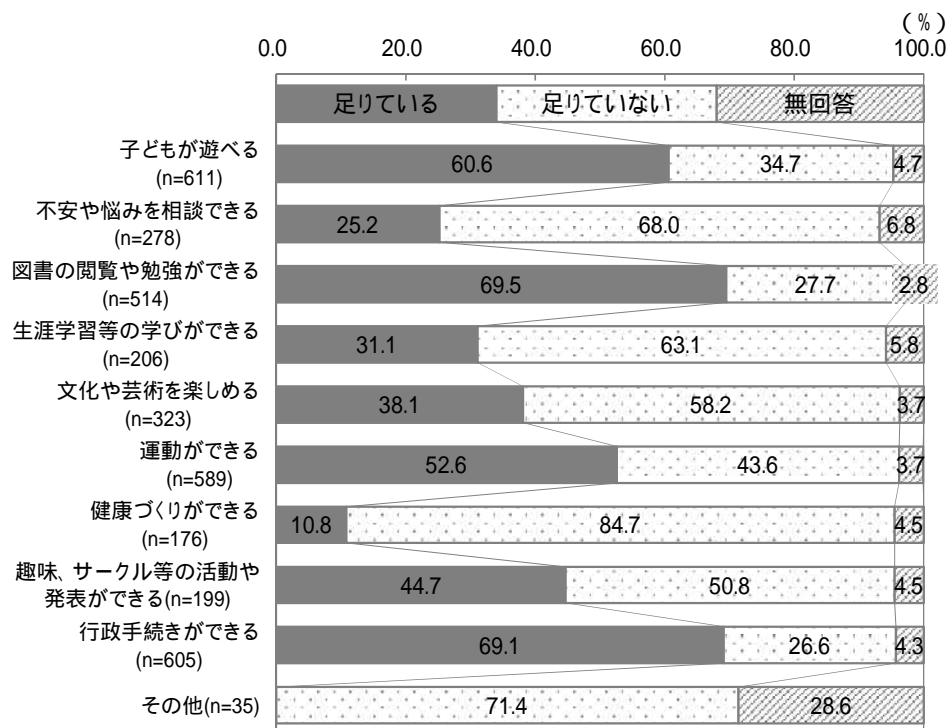
[全体の回答傾向]

- ・公共施設に求めるサービス(機能)について、「子どもが遊べる」が40.8%と最も高く、次いで「行政手続きができる」(40.4%)、「運動ができる」(39.3%)、「図書の閲覧や勉強ができる」(36.1%)となっています。
- ・サービス(機能)が足りているかについて、公共施設に求めるサービス(機能)の上位4つは、「足りている」が50%を超えています。一方、「健康づくりができる」は、足りていないと感じる割合(84.7%)が最も高くなっています。

図表 46 公共施設に求めるサービス(全体)



図表 47 サービス(機能)が足りているか



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性と比べて「運動ができる」や「健康づくりができる」、「仕事ができる（サテライトオフィス等）」が高く、一方、女性は「子どもが遊べる」や「図書の閲覧や勉強ができる」、「行政手続きができる」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、「運動ができる」は、10歳代（65.2%）が最も高く、年齢が上がるにつれて、低くなる傾向にあります。20歳代では、「図書の閲覧や勉強ができる」や「趣味、サークル等の活動や発表ができる」が他の年代と比べて、高くなっています。また、60歳代では、「文化や芸術を楽しめる」や「健康づくりができる」が他の年代と比べて高くなっています。
- ・居住地区別にみると、上戸田1地区は「子どもが遊べる」や「図書の閲覧や勉強ができる」が他の地区と比べて、最も高くなっています。新曽地区では、「運動ができる」や「仕事ができる（サテライトオフィス等）」が他の地区と比べて、最も高くなっています。

図表 48 公共施設に求めるサービス(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		子どもが遊べる	不安や悩みを相談できる	図書の閲覧や勉強ができる	生涯学習等の学びができる	文化や芸術を楽しめる	運動ができる	健康づくりができる	仕事ができる(サテライトオフィス等)	趣味、サークル等の活動や発表ができ	行政手続きができる	その他
	全体(1,497)	40.8	18.6	36.1	13.8	21.6	39.3	28.2	11.8	13.3	40.4	2.3
性別	男性(670)	40.3	17.0	33.4	13.3	22.7	43.1	31.5	13.4	12.5	37.5	2.7
	女性(814)	41.2	19.9	38.8	14.1	20.5	36.4	25.3	10.3	14.0	43.0	2.1
年齢別	18～19歳(23)	56.5	17.4	43.5	4.3	21.7	65.2	17.4	4.3	8.7	39.1	8.7
	20～29歳(166)	45.2	15.7	51.2	9.6	20.5	48.2	21.7	19.3	15.7	41.6	1.8
	30～39歳(232)	69.8	19.8	37.5	9.9	12.9	57.3	21.1	15.1	8.2	40.1	1.3
	40～49歳(304)	53.6	17.4	43.1	12.5	20.7	41.8	21.4	11.5	11.8	43.8	2.3
	50～59歳(303)	27.7	17.2	36.3	18.8	21.5	37.3	34.3	15.8	13.9	53.5	3.0
	60～69歳(199)	29.1	19.1	32.2	18.1	33.7	31.7	42.2	9.0	17.6	36.2	2.5
	70歳以上(263)	19.8	22.4	20.2	13.3	22.4	20.2	28.9	2.3	14.8	25.1	2.3
居住地区別	下戸田1地区(177)	41.2	15.3	35.0	10.2	16.4	32.2	26.0	11.9	13.0	37.3	2.8
	下戸田2地区(268)	36.2	21.3	37.7	19.0	24.3	35.8	26.9	13.1	13.8	34.7	2.2
	上戸田1地区(150)	46.0	16.7	41.3	12.7	26.0	40.0	27.3	8.7	16.7	32.7	4.7
	上戸田2地区(228)	39.5	16.7	39.5	14.9	25.0	39.5	28.1	11.0	12.3	48.7	1.8
	新曽地区(355)	42.5	15.5	36.6	12.7	19.2	46.2	27.6	16.3	11.0	43.7	1.4
	笹目地区(180)	40.6	25.6	30.6	12.2	14.4	33.9	31.1	8.9	17.2	44.4	3.3
	美女木地区(126)	44.4	22.2	29.4	13.5	27.8	42.1	33.3	4.8	11.1	38.1	1.6

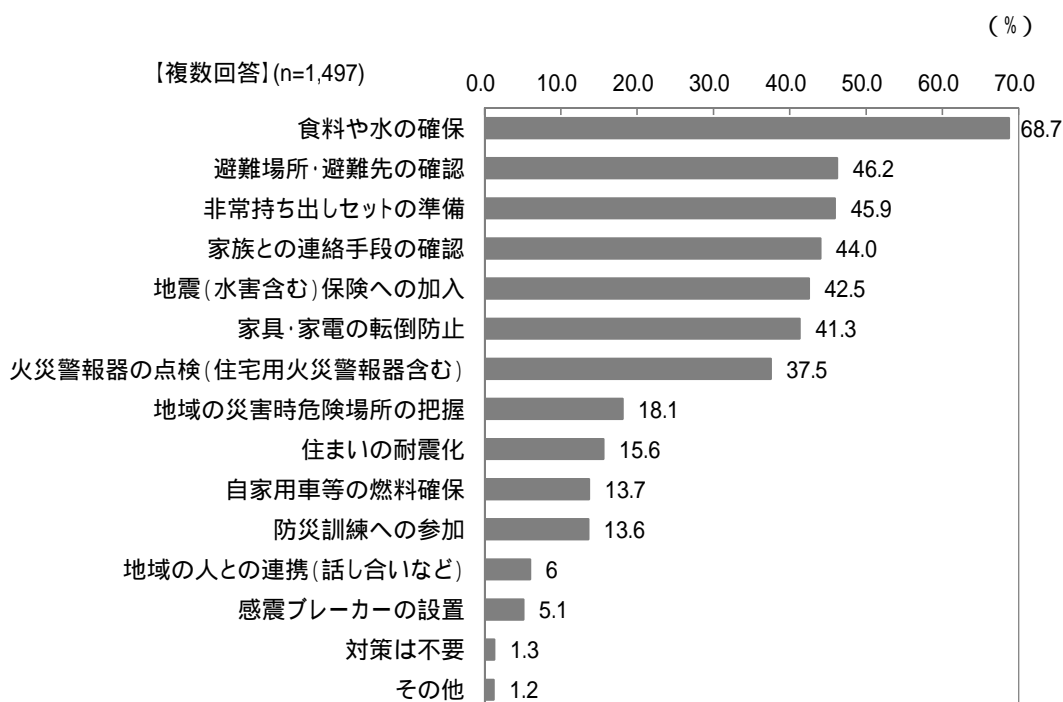
(4) 家庭での災害対策

問 23 あなたは、家庭でどのような災害対策をとっていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(はいいくつでも)

【全体の回答傾向】

・家庭での災害対策については、「食料や水の確保」(68.7%)が突出して多く、次いで「避難場所・避難先の確認」(46.2%)、「非常持ち出しセットの準備」(45.9%)となっています。

図表 49 家庭での災害対策(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は、女性と比べて「家具・家電の転倒防止」や「自家用車等の燃料確保」、「火災警報器の点検(住宅用火災警報器含む)」が高く、一方、女性は男性に比べて「食料や水の確保」や「非常持ち出しセットの準備」、「家族との連絡手段の確認」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、「家族との連絡手段の確認」は10歳代(65.2%)が最も高く、年齢が上がるにつれて、低くなる傾向があります。また、「防災訓練への参加」や「地域の人との連携(話し合いなど)」、「地域の災害時危険場所の把握」は、70歳以上が最も高く、年齢が上がるにつれて高くなる傾向があります。
- ・地区別にみると、下戸田2地区では「非常持ち出しセットの準備」が他地区と比べて高くなっています。また、上戸田1地区では「避難場所・避難先の確認」が高くなっています。

図表 50 家庭での災害対策（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		食料や水の確保	非常持ち出しセットの準備	家具・家電の転倒防止	家族との連絡手段の確認	地震（水害含む）保険への加入	避難場所・避難先の確認	防災訓練への参加	地域の人との連携（話し合いなど）	自家用車等の燃料確保	感震ブレイカーの設置	火災警報器の点検（住宅用火災警報器含む）	地域の災害時危険場所の把握	住まいの耐震化	対策は不要	その他
	全体(1,497)	68.7	45.9	41.3	44.0	42.5	46.2	13.6	6.0	13.7	5.1	37.5	18.1	15.6	1.3	1.2
性別	男性(670)	67.9	45.1	42.4	42.4	42.2	44.8	14.0	6.6	14.9	5.7	38.1	17.6	16.7	1.9	1.5
	女性(814)	69.7	46.9	40.7	45.6	42.5	47.9	13.1	5.7	12.8	4.7	36.9	18.6	14.5	0.7	0.9
年齢別	18～19歳(23)	56.5	43.5	21.7	65.2	17.4	47.8	8.7	0.0	4.3	4.3	39.1	17.4	21.7	4.3	4.3
	20～29歳(166)	70.5	39.8	39.2	50.0	22.3	48.8	6.0	4.8	9.0	2.4	27.7	13.9	13.9	0.6	0.6
	30～39歳(232)	69.0	47.0	30.6	46.1	35.3	45.3	7.8	3.0	9.1	2.2	33.6	13.8	10.8	2.6	1.7
	40～49歳(304)	74.3	49.7	47.0	42.8	46.1	49.3	12.8	4.6	17.1	3.3	39.1	17.4	11.8	1.0	0.7
	50～59歳(303)	72.6	48.2	48.2	42.9	48.5	45.2	10.9	4.0	17.2	4.0	44.2	15.5	14.9	1.3	1.7
	60～69歳(199)	67.8	45.7	44.7	46.2	54.8	48.7	19.6	7.5	16.6	9.5	40.2	22.1	18.6	0.0	1.5
	70歳以上(263)	58.9	42.2	38.0	38.0	43.0	41.8	23.6	12.9	11.8	9.5	35.4	25.1	22.8	1.5	0.8
居住地区別	下戸田1地区(177)	70.1	42.9	41.8	42.9	31.1	44.1	10.7	5.1	10.7	5.1	34.5	21.5	14.1	1.1	1.1
	下戸田2地区(268)	70.5	53.4	42.9	38.4	44.8	42.5	16.8	4.5	11.6	4.5	42.2	14.9	14.2	0.4	1.1
	上戸田1地区(150)	69.3	48.7	46.7	50.0	46.0	60.0	15.3	6.7	10.7	3.3	33.3	22.0	14.7	0.0	1.3
	上戸田2地区(228)	71.5	46.5	46.1	49.1	46.1	46.9	14.0	6.6	15.4	7.0	46.5	19.7	15.8	1.8	0.9
	新曽地区(355)	69.9	44.8	41.1	39.2	44.2	45.4	9.9	4.2	14.1	5.1	42.8	15.2	18.0	1.1	1.4
	笹目地区(180)	60.0	42.2	32.8	45.6	39.4	41.1	11.7	8.3	16.7	4.4	20.6	17.8	11.1	3.9	1.1
	美女木地区(126)	68.3	39.7	37.3	51.6	44.4	50.8	20.6	10.3	17.5	5.6	31.7	22.2	20.6	0.8	1.6

6. 地域コミュニティについて

(1) 団体等の活動への参加

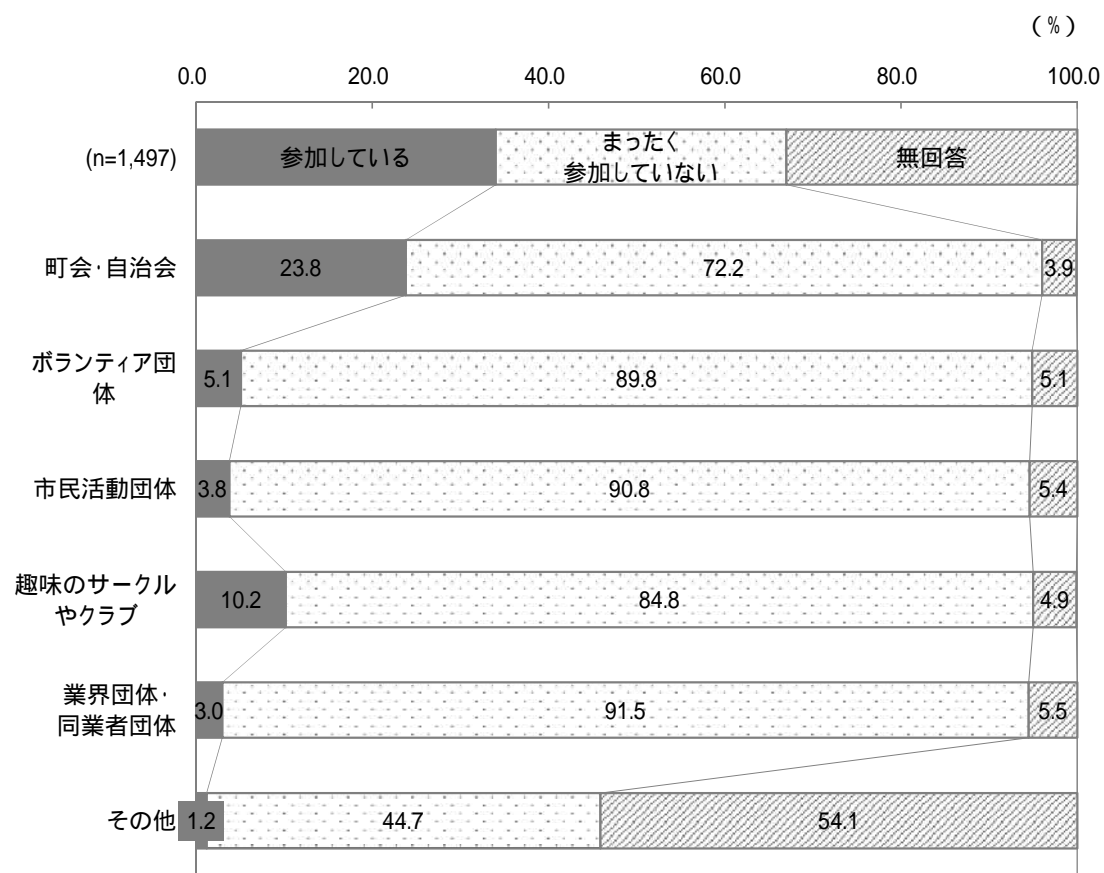
問 24 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。

(活動内容ごとに は1つずつ)

【全体の回答傾向】

・地域の団体等の活動への参加状況について、参加している割合をみると、「町会・自治会」が23.8%と最も高く、次いで「趣味のサークルやクラブ」が10.2%となっています。

図表 51 団体等の活動への参加頻度(全体)



(注) 参加している = 「まったく参加していない」及び「無回答」以外の合計

【属性別の回答傾向】

町会・自治会への参加

- ・性別にみると、男性、女性ともに「まったく参加していない」が、70%を超え、高くなっています。
- ・年齢別にみると、「まったく参加していない」が、年齢が上がるにつれて、低くなる傾向があります。
- ・地区別にみると、「まったく参加していない」は、上戸田1地区が78.0%で最も高く、美女木地区が60.3%で最も低くなっています。

図表 52 団体等の活動への参加頻度[町会・自治会] (全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,497)	0.3	0.9	4.1	10.4	8.1	72.2	3.9
性別	男性(670)	0.3	1.0	5.5	10.0	8.4	71.8	3.0
	女性(814)	0.1	0.9	3.1	10.7	8.1	72.7	4.4
年齢別	18~19歳(23)	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	95.7	0.0
	20~29歳(166)	0.0	0.0	1.2	4.2	1.2	92.8	0.0
	30~39歳(232)	0.4	0.0	1.7	6.0	3.4	87.5	0.9
	40~49歳(304)	0.3	0.0	3.0	12.2	10.2	73.4	1.0
	50~59歳(303)	0.0	0.3	4.3	9.2	10.9	74.3	1.0
	60~69歳(199)	0.5	0.0	6.0	12.6	10.6	67.3	3.0
	70歳以上(263)	0.4	4.9	8.4	16.0	10.3	44.1	16.0
居住地区別	下戸田1地区(177)	1.1	2.3	2.8	6.8	11.3	72.3	3.4
	下戸田2地区(268)	0.0	1.5	2.2	9.3	8.6	73.9	4.5
	上戸田1地区(150)	0.0	0.0	4.7	9.3	4.0	78.0	4.0
	上戸田2地区(228)	0.4	0.0	3.5	7.9	8.3	75.0	4.8
	新曽地区(355)	0.0	0.6	2.5	12.1	8.5	74.4	2.0
	笹目地区(180)	0.6	0.6	7.2	13.3	7.2	64.4	6.7
	美女木地区(126)	0.0	2.4	11.1	15.1	7.9	60.3	3.2

【属性別の回答傾向】

ボランティア団体

- ・年齢別にみると、50歳代以下では「まったく参加していない」が90%を超えています。
- ・居住地区別にみると、新曽地区で「まったく参加していない」(93.0%)が最も高くなっています。

図表 53 団体等の活動への参加頻度【ボランティア団体】(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体(1,497)		0.1	0.7	1.3	2.0	1.0	89.8	5.1
性別	男性(670)	0.0	0.9	1.3	2.7	1.2	89.9	4.0
	女性(814)	0.0	0.5	1.2	1.5	0.9	90.0	5.9
年齢別	18～19歳(23)	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	95.7	0.0
	20～29歳(166)	0.0	0.6	0.0	1.2	1.8	95.8	0.6
	30～39歳(232)	0.0	1.1	0.0	0.4	0.4	97.8	1.3
	40～49歳(304)	0.0	0.3	1.3	1.3	1.3	94.7	1.0
	50～59歳(303)	0.0	1.3	1.0	2.6	0.7	93.1	1.3
	60～69歳(199)	0.0	0.0	2.0	3.0	1.5	89.9	3.5
	70歳以上(263)	0.4	1.1	3.0	3.0	0.8	69.6	22.1
居住地区別	下戸田1地区(177)	0.6	0.0	0.0	1.7	1.7	89.8	6.2
	下戸田2地区(268)	0.0	1.5	1.5	2.2	1.5	87.3	6.0
	上戸田1地区(150)	0.0	0.0	2.0	2.7	0.0	90.7	4.7
	上戸田2地区(228)	0.0	1.3	1.3	0.9	0.9	91.2	4.4
	新曽地区(355)	0.0	0.6	0.8	2.0	0.8	93.0	2.8
	笹目地区(180)	0.0	0.6	1.1	2.2	0.6	87.2	8.3
	美女木地区(126)	0.0	0.0	3.2	3.2	1.6	85.7	6.3

【属性別の回答傾向】

市民活動団体

- ・年齢別にみると、60歳代以下では「まったく参加していない」が90%を超えています。
- ・居住地区別にみると、上戸田2地区で「まったく参加していない」(93.4%)が最も高くなっています。また、美女木地区及び笹目地区は、他の地区に比べ「年に数回」が高くなっています。

図表 54 団体等の活動への参加頻度[市民活動団体] (全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,497)	0.1	0.1	1.0	1.5	1.1	90.8	5.4
性別	男性(670)	0.1	0.1	0.7	1.6	1.3	91.6	4.3
	女性(814)	0.0	0.0	1.2	1.4	1.0	90.4	6.0
年齢別	18~19歳(23)	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	95.7	0.0
	20~29歳(166)	0.0	0.0	0.6	1.2	1.2	96.4	0.6
	30~39歳(232)	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	98.3	1.3
	40~49歳(304)	0.0	0.0	0.7	1.0	1.6	95.4	1.3
	50~59歳(303)	0.3	0.0	2.0	2.0	1.0	93.4	1.3
	60~69歳(199)	0.0	0.0	1.5	2.0	1.0	92.5	3.0
	70歳以上(263)	0.0	0.4	1.1	2.3	1.9	70.7	23.6
居住地区別	下戸田1地区(177)	0.0	0.6	0.6	1.7	1.1	90.4	5.6
	下戸田2地区(268)	0.0	0.0	1.1	0.7	1.9	89.2	7.1
	上戸田1地区(150)	0.0	0.0	2.0	0.7	0.7	92.0	4.7
	上戸田2地区(228)	0.0	0.6	0.9	0.9	0.0	93.4	4.8
	新曽地区(355)	0.3	0.0	0.6	1.7	1.4	93.0	3.1
	笹目地区(180)	0.0	0.0	1.7	2.8	1.1	86.7	7.8
	美女木地区(126)	0.0	0.0	0.8	3.2	1.6	87.3	7.1

【属性別の回答傾向】

趣味のサークルやクラブ

- ・年齢別にみると、「まったく参加していない」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。また、「週に2～3回」は70歳以上（8.7%）で高くなっています。
- ・地区別にみると、新曽地区で「まったく参加していない」が87.6%と最も高くなっています。

図表 55 団体等の活動への参加頻度【趣味のサークルやクラブ】

(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,497)	0.6	3.1	3.4	2.1	1.0	84.8	4.9
性別	男性(670)	0.6	2.8	2.2	2.2	1.5	86.3	4.3
	女性(814)	0.6	3.3	4.4	2.1	0.5	83.9	5.2
年齢別	18～19歳(23)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～29歳(166)	1.2	0.6	1.8	1.8	0.6	93.4	0.6
	30～39歳(232)	0.0	2.6	2.2	2.2	0.4	91.4	1.3
	40～49歳(304)	0.3	2.3	2.6	2.3	0.3	90.8	1.3
	50～59歳(303)	0.7	0.3	2.6	1.7	2.3	90.8	1.7
	60～69歳(199)	0.0	4.5	4.0	2.5	1.5	84.4	3.0
	70歳以上(263)	1.5	8.7	7.2	2.7	0.8	58.6	20.5
居住地区別	下戸田1地区(177)	1.1	2.8	2.3	1.1	1.7	84.7	6.2
	下戸田2地区(268)	1.1	3.0	3.7	2.6	1.1	82.5	6.0
	上戸田1地区(150)	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0	86.0	4.0
	上戸田2地区(228)	0.0	3.1	3.9	1.8	1.3	85.1	4.8
	新曽地区(355)	0.6	2.5	3.1	2.3	1.1	87.6	2.8
	笹目地区(180)	1.1	3.9	3.3	2.2	0.6	81.1	7.8
	美女木地区(126)	0.0	4.8	4.8	1.6	0.8	83.3	4.8

【属性別の回答傾向】

業界団体・同業者団体

- ・年齢別にみると、「まったく参加していない」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。
- ・地区別にみると、新曽地区で「まったく参加していない」が 94.6%と最も高くなっています。

図表 56 団体等の活動への参加頻度【業界団体・同業者団体】

(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,497)	0.0	0.3	0.7	1.1	0.9	91.5	5.5
性別	男性(670)	0.0	0.3	1.5	1.5	1.5	90.7	4.5
	女性(814)	0.0	0.2	0.1	0.7	0.5	92.4	6.0
年齢別	18～19歳(23)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～29歳(166)	0.0	0.6	1.2	0.6	0.0	97.0	0.6
	30～39歳(232)	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	97.4	1.3
	40～49歳(304)	0.0	0.0	0.7	1.0	1.0	96.4	1.0
	50～59歳(303)	0.0	0.3	1.0	1.3	0.0	95.7	1.7
	60～69歳(199)	0.0	0.0	2.0	1.5	3.5	89.4	3.5
	70歳以上(263)	0.0	0.8	0.0	1.5	0.8	73.4	23.6
居住地区別	下戸田1地区(177)	0.0	0.6	0.6	1.1	1.7	89.8	6.2
	下戸田2地区(268)	0.0	0.7	0.4	0.7	0.4	91.0	6.7
	上戸田1地区(150)	0.0	0.0	0.7	1.3	0.7	92.7	4.7
	上戸田2地区(228)	0.0	0.0	0.0	0.9	1.3	92.5	5.3
	新曽地区(355)	0.0	0.3	0.3	1.1	0.6	94.6	3.1
	笹目地区(180)	0.0	0.0	1.1	1.1	1.1	88.3	8.3
	美女木地区(126)	0.0	0.0	4.0	1.6	1.6	86.5	6.3

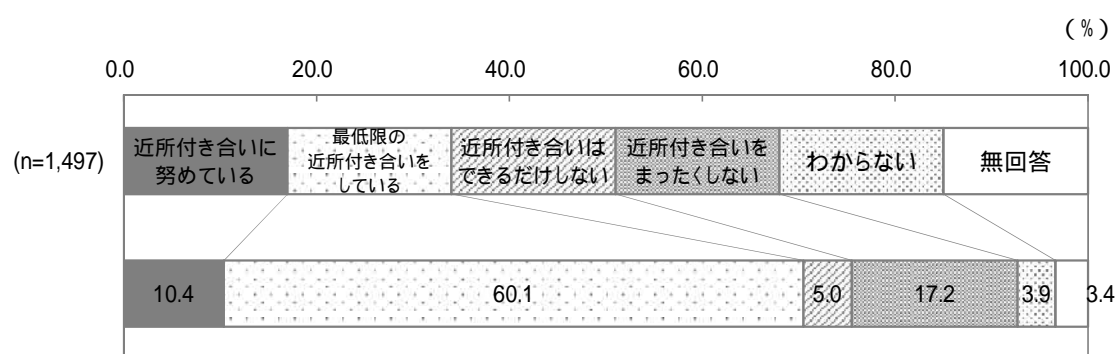
(2) 近所付き合いの程度

問 25 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。(は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの程度については、「最低限の近所付き合いをしている」が60.1%と最も高く、次いで「近所付き合いをまったくしない」(17.2%)となっています。

図表 57 近所付き合いの程度(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、40歳代と50歳代で「最低限の近所付き合いをしている」が他の年代に比べて高くなっています。また、70歳代以上で「近所付き合いに努めている」が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、美女木地区で「近所付き合いに努めている」(15.1%)が最も高くなっています。一方、上戸田1地区で「近所付き合いをまったくしない」(20.0%)が最も高くなっています。

図表 58 近所付き合いの程度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		近所付き合いに努めている	最低限の近所付き合いをしている	近所付き合いはできるだけだけしない	近所付き合いをまったくしない	わからない	無回答
	全体(1,497)	10.4	60.1	5.0	17.2	3.9	3.4
性別	男性(670)	10.9	59.3	4.6	17.8	4.8	2.7
	女性(814)	10.0	60.6	5.4	17.1	3.1	3.9
年齢別	18～19歳(23)	4.3	47.8	4.3	34.8	8.7	0.0
	20～29歳(166)	5.4	54.2	6.0	28.9	4.8	0.6
	30～39歳(232)	6.5	53.9	7.3	28.0	3.9	0.4
	40～49歳(304)	7.9	67.8	5.3	15.8	2.6	0.7
	50～59歳(303)	5.3	67.0	6.3	17.2	2.6	1.7
	60～69歳(199)	12.6	64.3	4.0	9.5	6.5	3.0
	70歳以上(263)	24.7	50.2	1.5	6.5	3.8	13.3
居住地区別	下戸田1地区(177)	13.6	61.6	4.0	13.0	5.1	2.8
	下戸田2地区(268)	9.0	61.9	4.9	17.2	3.0	4.1
	上戸田1地区(150)	9.3	59.3	3.3	20.0	4.7	3.3
	上戸田2地区(228)	8.8	60.1	5.7	17.1	3.1	5.3
	新曽地区(355)	9.0	59.2	6.8	18.0	4.5	2.5
	笹目地区(180)	12.2	62.8	3.3	14.4	3.3	3.9
	美女木地区(126)	15.1	54.8	4.8	19.8	4.0	1.6

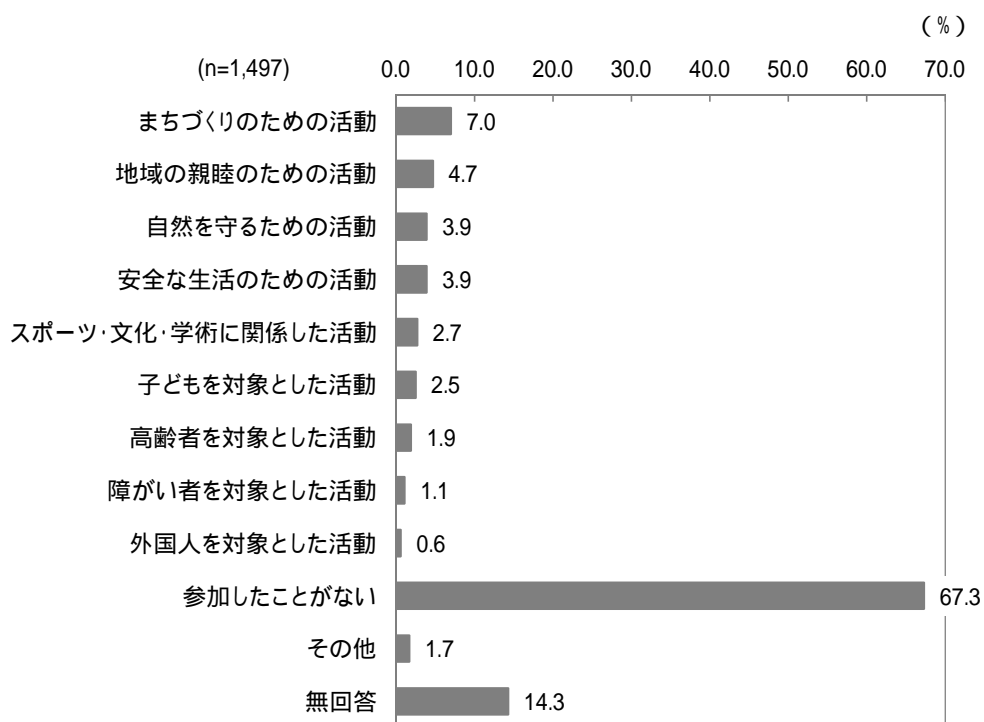
(4) 地域活動やボランティア活動への参加

問 26 あなたは、ここ 1 年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。
参加したものをすべて選んでください。(はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・地域活動やボランティア活動への参加状況について、「参加したことがない」が 67.3%と最も高くなっています。
- ・活動に参加した人では、道路や公園等の清掃、まちに花を植える活動などの「まちづくりのための活動」が 7.0%と最も高く、次いで地域住民による祭りや運動会などの「地域の親睦のための活動」が 4.7%と高くなっています。

図表 59 地域活動やボランティア活動への参加(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性は男性に比べ、「まちづくりのための活動」や「子どもを対象とした活動」が高くなっています。一方、男性は女性に比べ「地域の親睦のための活動」や「安全な生活のための活動」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、70歳以上は他の年齢に比べ「まちづくりのための活動」(18.3%)、「地域の親睦のための活動」(11.4%)など、最も高くなっています。また、40歳代は、他の年代に比べ「子どもを対象とした活動」(5.9%)が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、美女木地区は他の地区に比べ、「まちづくりのための活動」(17.5%)が最も高くなっています。また、「参加したことがない」が最も高いのは上戸田2地区(72.8%)となっています。

図表 60 地域活動やボランティア活動への参加(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		まちづくりのための活動	地域の親睦のための活動	自然を守るための活動	安全な生活のための活動	スポーツ・文化・学術に関係した活動	高齢者を対象とした活動	子どもを対象とした活動	障がい者を対象とした活動	外国人を対象とした活動	参加したことがない	その他
	全体(1,497)	7.0	4.7	3.9	3.9	2.7	1.9	2.5	1.1	0.6	67.3	1.7
性別	男性(670)	6.4	5.5	4.2	5.1	3.6	1.8	1.5	1.0	0.4	67.5	1.2
	女性(814)	7.2	3.7	3.8	2.9	2.0	2.0	3.4	1.2	0.7	67.3	2.1
年齢別	18～19歳(23)	0.0	0.0	4.3	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0	0.0
	20～29歳(166)	2.4	3.6	3.6	1.8	1.2	0.6	3.0	0.0	1.2	78.3	0.6
	30～39歳(232)	2.2	1.7	1.3	1.7	0.4	0.4	2.2	0.4	0.4	79.3	0.9
	40～49歳(304)	5.6	3.3	3.0	3.6	3.0	0.7	5.9	1.3	0.3	68.8	2.6
	50～59歳(303)	4.6	2.3	3.3	3.0	4.0	1.0	2.3	1.7	1.3	71.0	1.3
	60～69歳(199)	8.0	6.0	3.5	3.0	2.5	2.5	0.5	1.0	0.5	66.3	1.5
	70歳以上(263)	18.3	11.4	8.7	9.5	3.4	6.1	0.8	1.9	0.0	43.3	3.0
居住地区別	下戸田1地区(177)	9.0	5.6	5.1	6.2	2.8	2.3	3.4	0.6	0.0	59.3	2.8
	下戸田2地区(268)	6.0	5.6	3.7	3.7	4.1	2.2	3.0	1.1	1.5	66.4	1.1
	上戸田1地区(150)	4.0	4.7	2.7	3.3	3.3	1.3	4.0	1.3	2.0	67.3	3.3
	上戸田2地区(228)	3.5	2.6	1.8	1.8	3.5	0.9	2.2	0.0	0.0	72.8	1.8
	新曽地区(355)	4.5	2.8	3.7	3.7	1.7	0.8	2.3	1.4	0.6	71.0	1.4
	笹目地区(180)	11.7	6.7	6.1	4.4	1.1	2.2	1.7	2.2	0.0	63.9	1.7
	美女木地区(126)	17.5	7.9	6.3	6.3	3.2	5.6	1.6	1.6	0.0	63.5	0.8

7. 市政への参加について

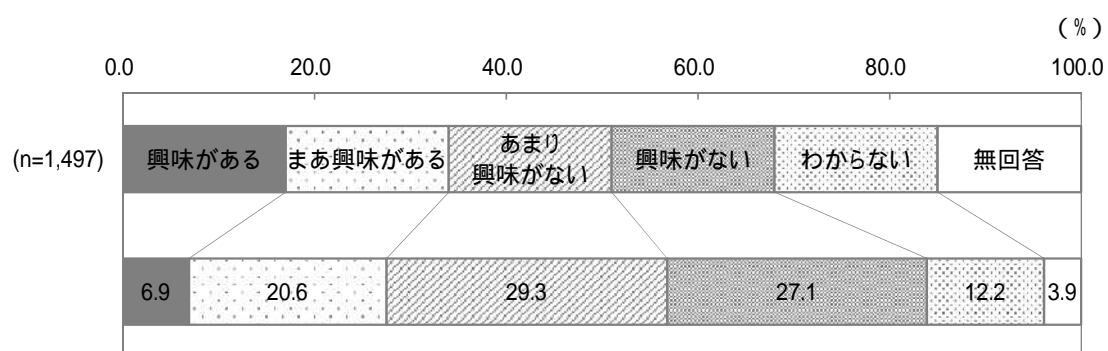
(1) 市政への参加の興味

問 27 あなたは、市政への参加（市の会議への参加やイベントの企画運営など）に興味がありますか。（ は1つ）

【全体の回答傾向】

- ・ 市政参加への興味は、「興味がある」(6.9%)と「まあ興味がある」(20.6%)を合わせて27.5%となっています。一方、「あまり興味がない」(29.3%)と「興味がない」(27.1%)を合わせて56.4%となっています。

図表 61 市政への参加の興味(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、60歳代は「興味がある」と「まあ興味がある」を合わせると33.1%と割合が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、上戸田1地区、上戸田2地区及び美女木地区は「興味がある」と「まあ興味がある」を合わせると30%を超えています。また、下戸田1地区は「あまり興味が無い」と「興味が無い」を合わせると60%を超えています。

図表 62 市政への参加の興味(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		興味がある	まあ興味がある	あまり興味がない	興味がない	わからない	無回答
	全体(1,497)	6.9	20.6	29.3	27.1	12.2	3.9
性別	男性(670)	8.5	20.1	29.6	25.7	12.5	3.6
	女性(814)	5.4	21.0	29.6	28.1	11.8	4.1
年齢別	18～19歳(23)	4.3	17.4	13.0	47.8	17.4	0.0
	20～29歳(166)	7.8	20.5	28.9	34.9	7.2	0.6
	30～39歳(232)	4.7	19.8	31.5	34.1	9.1	0.9
	40～49歳(304)	6.9	22.0	29.6	30.6	8.9	2.0
	50～59歳(303)	5.9	21.8	30.4	27.4	13.2	1.3
	60～69歳(199)	5.5	27.6	28.1	21.1	13.1	4.5
	70歳以上(263)	10.3	13.7	29.3	13.7	19.4	13.7
居住地区別	下戸田1地区(177)	5.1	14.7	30.5	30.5	13.6	5.6
	下戸田2地区(268)	7.5	18.7	29.1	28.0	11.2	5.6
	上戸田1地区(150)	12.7	22.0	27.3	23.3	12.7	2.0
	上戸田2地区(228)	7.9	24.1	30.7	24.6	8.8	3.9
	新曽地区(355)	5.1	23.7	31.0	27.6	10.4	2.3
	笹目地区(180)	5.0	16.7	28.9	27.8	17.2	4.4
	美女木地区(126)	8.7	22.2	23.8	25.4	15.1	4.8

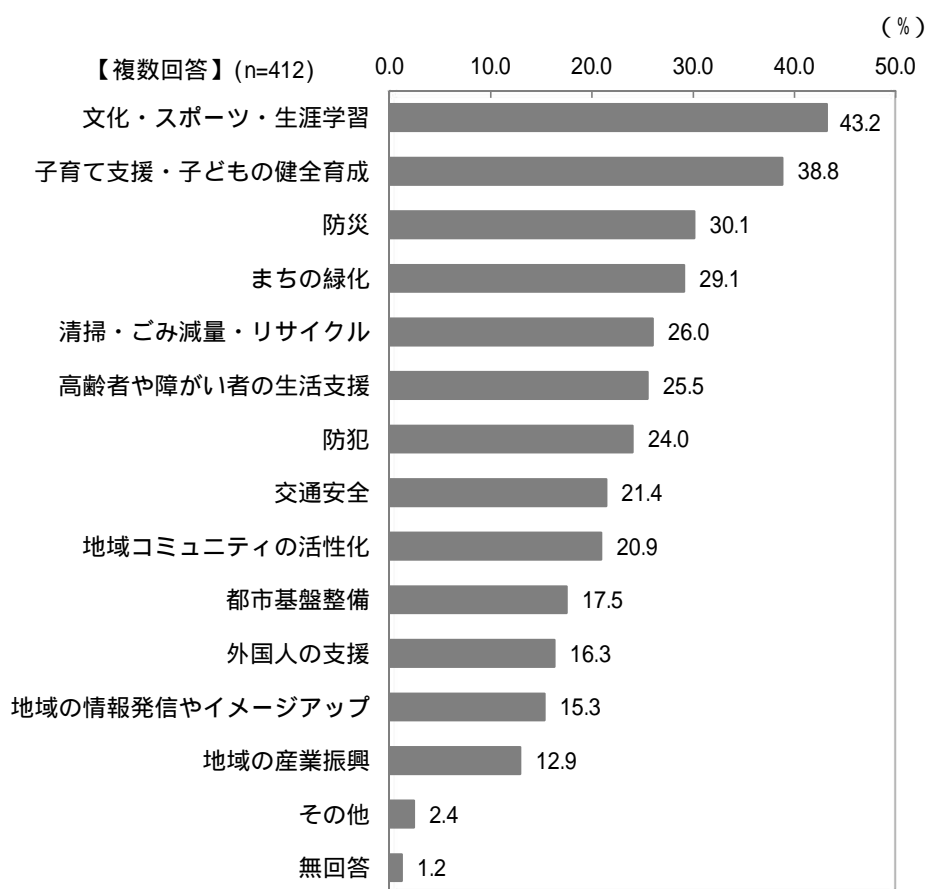
(2) 参加に興味のある市政の分野

問 28 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。 **あてはまるものをすべて選んでください。(はいくつでも)**

【全体の回答傾向】

- ・参加に興味のある市政の分野については、問 27 で市政参加に「興味がある」及び「まあ興味がある」と回答した層 (n=412) に絞り、集計を行いました。
- ・結果は、「文化・スポーツ・生涯学習」(43.2%) が最も高く、次いで「子育て支援・子どもの健全育成」が 38.8%、「防災」が 30.1%と高くなっています。

図表 63 参加に興味のある市政の分野(市政参加への興味がある層)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「地域の産業振興」や「都市基盤整備」で高く、女性は男性に比べ、「子育て支援・子どもの健全育成」や「まちの緑化」で高くなっています。
- ・年齢別にみると、他の年齢に比べ、20歳代は「外国人の支援」や「文化・スポーツ・生涯学習」が、30歳代は「子育て支援・子どもの健全育成」が、70歳以上は「高齢者や障がい者の生活支援」や「清掃・ごみ減量・リサイクル」が高くなっています。

図表 64 参加に興味のある市政の分野(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		健全育成	子育て支援・子どもの生活支援	高齢者や障がい者の外国人の支援	防災	防犯	交通安全	清掃・ごみ減量・リサイクル	まちの緑化	学習	文化・スポーツ・生涯	地域の産業振興	都市基盤整備	地域の情報発信やイメーリアップ	地域コミュニティの活性化	その他
	全体(412)	38.8	25.5	16.3	30.1	24.0	21.4	26.0	29.1	43.2	12.9	17.5	15.3	20.9	2.4	
性別	男性(192)	30.2	24.5	15.1	30.2	26.6	24.5	24.5	23.4	44.8	16.7	26.0	17.7	19.8	2.6	
	女性(215)	47.4	26.0	17.2	29.3	21.4	18.6	26.5	34.4	41.4	9.8	10.2	13.5	22.3	2.3	
年齢別	18～19歳(5)	60.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	
	20～29歳(47)	53.2	21.3	34.0	19.1	8.5	19.1	14.9	36.2	55.3	19.1	27.7	17.0	14.9	2.1	
	30～39歳(57)	63.2	12.3	22.8	31.6	28.1	22.8	22.8	29.8	45.6	15.8	19.3	14.0	29.8	0.0	
	40～49歳(88)	56.8	21.6	18.2	38.6	33.0	29.5	26.1	25.0	48.9	14.8	19.3	17.0	18.2	2.3	
	50～59歳(84)	28.6	28.6	15.5	25.0	15.5	15.5	20.2	21.4	42.9	15.5	14.3	22.6	21.4	2.4	
	60～69歳(66)	18.2	25.8	9.1	27.3	25.8	22.7	31.8	40.9	42.4	4.5	21.2	9.1	18.2	4.5	
	70歳以上(63)	15.9	42.9	3.2	33.3	28.6	17.5	38.1	27.0	27.0	9.5	7.9	11.1	22.2	3.2	
居住地区別	下戸田1地区(35)	45.7	25.7	2.9	25.7	20.0	11.4	28.6	22.9	45.7	8.6	14.3	11.4	14.3	0.0	
	下戸田2地区(70)	34.3	20.0	17.1	22.9	20.0	25.7	24.3	30.0	50.0	15.7	14.3	18.6	22.9	2.9	
	上戸田1地区(52)	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	
	上戸田2地区(73)	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	
	新曽地区(102)	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	
	笹目地区(39)	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	
	美女木地区(39)	25.6	25.6	25.6	25.6	25.6	25.6	25.6	25.6	25.6	25.6	25.6	25.6	25.6	25.6	

8 . SDGs の取り組みについて

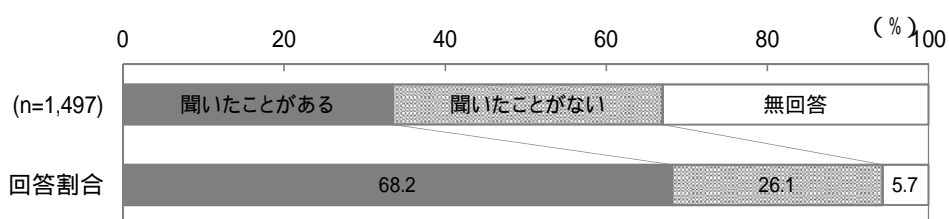
(1) 「 S D G s 」 の認知度

問 29 あなたは、「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか？ (は 1 つ)

【全体及び属性別の回答傾向】

- ・約 3 人に 2 人が「聞いたことがある」(68.2%) となっています。
- ・年齢別では、10 歳代及び 40 歳代は「聞いたことがある」が 80% を超えており、70 歳以上は「聞いたことがない」が半数以上となっています。

図表 65 「 S D G s 」 の認知度(全体)



図表 66 「 S D G s 」 の認知度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ある聞いたことが	ない聞いたことが	無回答
	全体 (1,497)	68.2	26.1	5.7
性別	男性 (670)	70.4	24.0	5.5
	女性 (814)	66.8	27.4	5.8
年齢別	18～19 歳 (23)	87.0	13.0	0.0
	20～29 歳 (166)	74.7	24.7	0.6
	30～39 歳 (232)	78.0	20.7	1.3
	40～49 歳 (304)	81.9	16.1	2.0
	50～59 歳 (303)	73.3	24.1	2.6
	60～69 歳 (199)	72.9	21.1	6.0
	70 歳以上 (263)	28.9	50.2	20.9
居住地区別	下戸田 1 地区 (177)	62.1	29.9	7.9
	下戸田 2 地区 (268)	71.3	23.1	5.6
	上戸田 1 地区 (150)	74.7	22.0	3.3
	上戸田 2 地区 (228)	71.1	21.1	7.9
	新曽地区 (355)	73.8	23.1	3.1
	笹目地区 (180)	56.1	35.6	8.3
	美女木地区 (126)	59.5	34.1	6.3

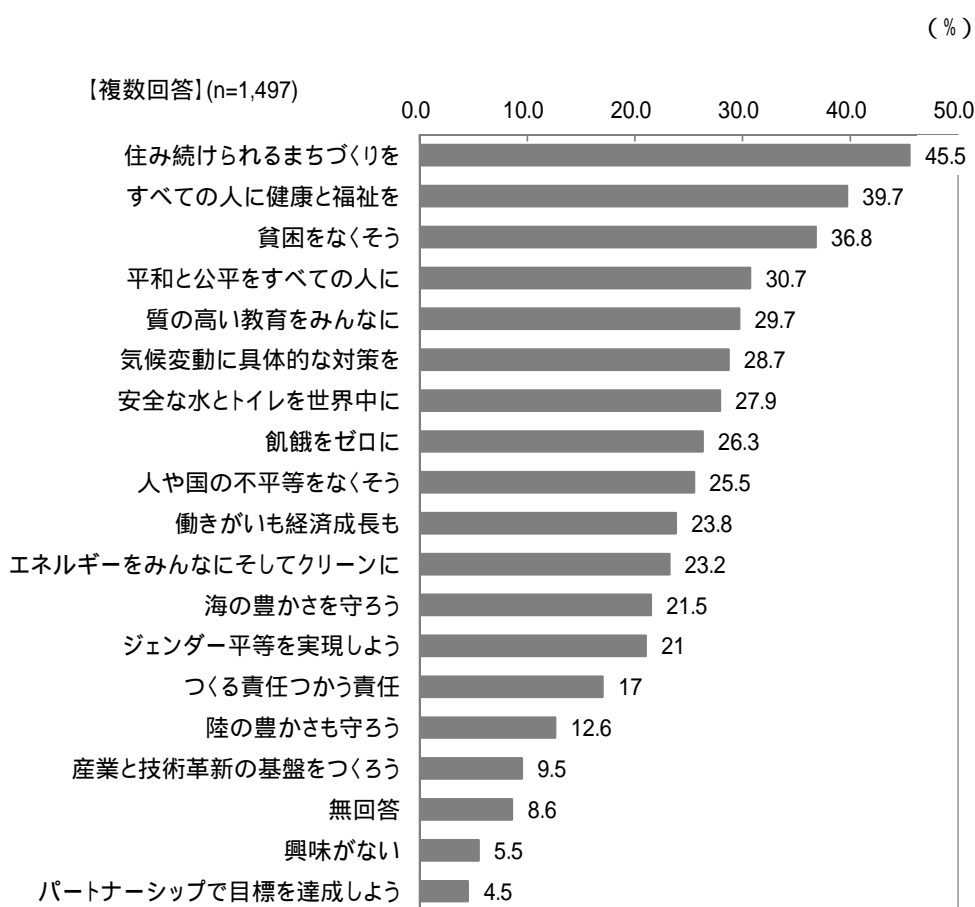
(2) SDGsで興味のある目標

問 30 以下の項目のうち、あなたがSDGsに取り組むとしたら、どの目標に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・SDGsで興味のある目標については、「住み続けられるまちづくりを」(45.5%)が最も高く、次いで「すべての人に健康と福祉を」(39.7%)、「貧困をなくそう」(36.8%)となっています。

図表 67 SDGsで興味のある目標(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性と比べて「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や「産業と技術革新の基盤をつくろう」、「興味がない」が高く、女性は男性と比べて「平和と公平をすべての人に」が 8.8 ポイント高く、次いで「貧困をなくそう」が 6.7 ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、「ジェンダー平等を実現しよう」や「人や国の不平等をなくそう」など、

10歳代が最も高くなっています。一方、「気候変動に具体的な対策を」は10歳代(13.0%)で最も低く、60歳代(35.7%)が最も高くなっています。

・居住地区別にみると「住み続けられるまちづくりを」は、新曽地区(49.9%)で最も高く、次いで上戸田2地区(48.7%)、上戸田1地区(47.3%)となっています。

図表 68-1 SDGsで興味のある目標(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任
	全体(1,497)	36.8	26.3	39.7	29.7	21.0	27.9	23.2	23.8	9.5	25.5	45.5	17.0
性別	男性(670)	33.1	23.3	36.4	29.1	16.1	24.2	26.6	24.6	13.6	22.7	46.3	15.2
	女性(814)	39.8	28.7	42.4	30.3	25.1	30.8	20.8	23.2	5.9	27.9	45.0	18.4
年齢別	18～19歳(23)	34.8	21.7	47.8	39.1	60.9	34.8	26.1	21.7	4.3	43.5	47.8	21.7
	20～29歳(166)	39.8	29.5	39.2	37.3	29.5	33.1	22.3	29.5	7.8	28.9	44.6	10.8
	30～39歳(232)	37.1	30.2	41.8	38.8	25.9	33.6	21.1	25.9	10.3	28.0	48.3	19.0
	40～49歳(304)	41.8	26.3	41.1	38.2	25.3	26.6	24.7	30.6	11.5	27.3	47.7	17.8
	50～59歳(303)	32.3	23.1	39.3	28.7	18.5	25.1	24.1	24.1	9.6	25.4	46.5	19.5
	60～69歳(199)	36.2	29.1	36.7	20.6	18.1	24.6	30.7	23.1	11.1	24.6	47.7	21.6
	70歳以上(263)	34.6	22.8	39.2	14.8	8.4	25.9	17.1	11.0	6.8	18.3	38.0	11.8
居住地区別	下戸田1地区(177)	39.5	30.5	44.6	26.6	18.6	26.6	20.9	22.6	7.9	27.7	41.8	19.2
	下戸田2地区(268)	36.6	25.0	41.4	29.1	18.3	25.7	24.3	24.3	9.3	23.1	45.9	16.0
	上戸田1地区(150)	32.7	23.3	41.3	36.0	21.3	22.7	26.0	28.0	12.0	24.0	47.3	21.3
	上戸田2地区(228)	33.3	25.4	38.2	31.6	25.4	30.3	22.4	25.0	10.1	24.1	48.7	18.4
	新曽地区(355)	37.7	25.6	39.4	36.3	24.5	30.4	23.7	24.8	11.5	27.9	49.9	19.2
	笹目地区(180)	38.9	31.7	35.6	17.8	15.0	32.2	20.6	17.8	6.1	26.7	36.1	9.4
	美女木地区(126)	38.9	22.2	37.3	23.8	19.8	22.2	24.6	23.8	5.6	23.8	42.1	13.5

図表 68-2 SDGsで興味のある目標(全体・性別・年齢別・居住地区別)(つづき)

		気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公平をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう	興味がない	無回答
	全体(1,497)	28.7	21.5	12.6	30.7	4.5	5.5	8.6
性別	男性(670)	27.6	17.5	11.2	26.0	4.9	7.6	8.7
	女性(814)	29.7	24.7	13.8	34.8	4.2	3.8	8.4
年齢別	18～19歳(23)	13.0	26.1	17.4	34.8	8.7	0.0	0.0
	20～29歳(166)	24.7	22.3	15.7	30.1	6.0	4.2	2.4
	30～39歳(232)	22.0	22.4	13.8	25.4	6.9	6.5	3.9
	40～49歳(304)	32.9	21.4	12.2	31.3	6.3	4.6	4.3
	50～59歳(303)	29.7	22.1	11.9	32.7	3.3	5.6	5.3
	60～69歳(199)	35.7	25.1	13.6	33.2	2.0	6.5	7.0
	70歳以上(263)	27.4	16.0	10.3	30.8	2.3	6.1	27.0
居住地区別	下戸田1地区(177)	23.7	24.9	13.6	34.5	2.8	1.7	9.0
	下戸田2地区(268)	27.2	18.7	10.8	32.5	6.7	5.2	10.1
	上戸田1地区(150)	24.7	22.0	11.3	27.3	2.7	8.7	5.3
	上戸田2地区(228)	36.4	21.9	12.7	28.5	3.5	4.4	5.7
	新曽地区(355)	30.4	25.4	16.9	27.6	6.2	5.4	5.6
	笹目地区(180)	25.0	18.3	11.7	37.2	3.9	6.7	16.1
	美女木地区(126)	27.8	16.7	6.3	29.4	2.4	7.9	11.1

9 . 戸田市の取り組みについて

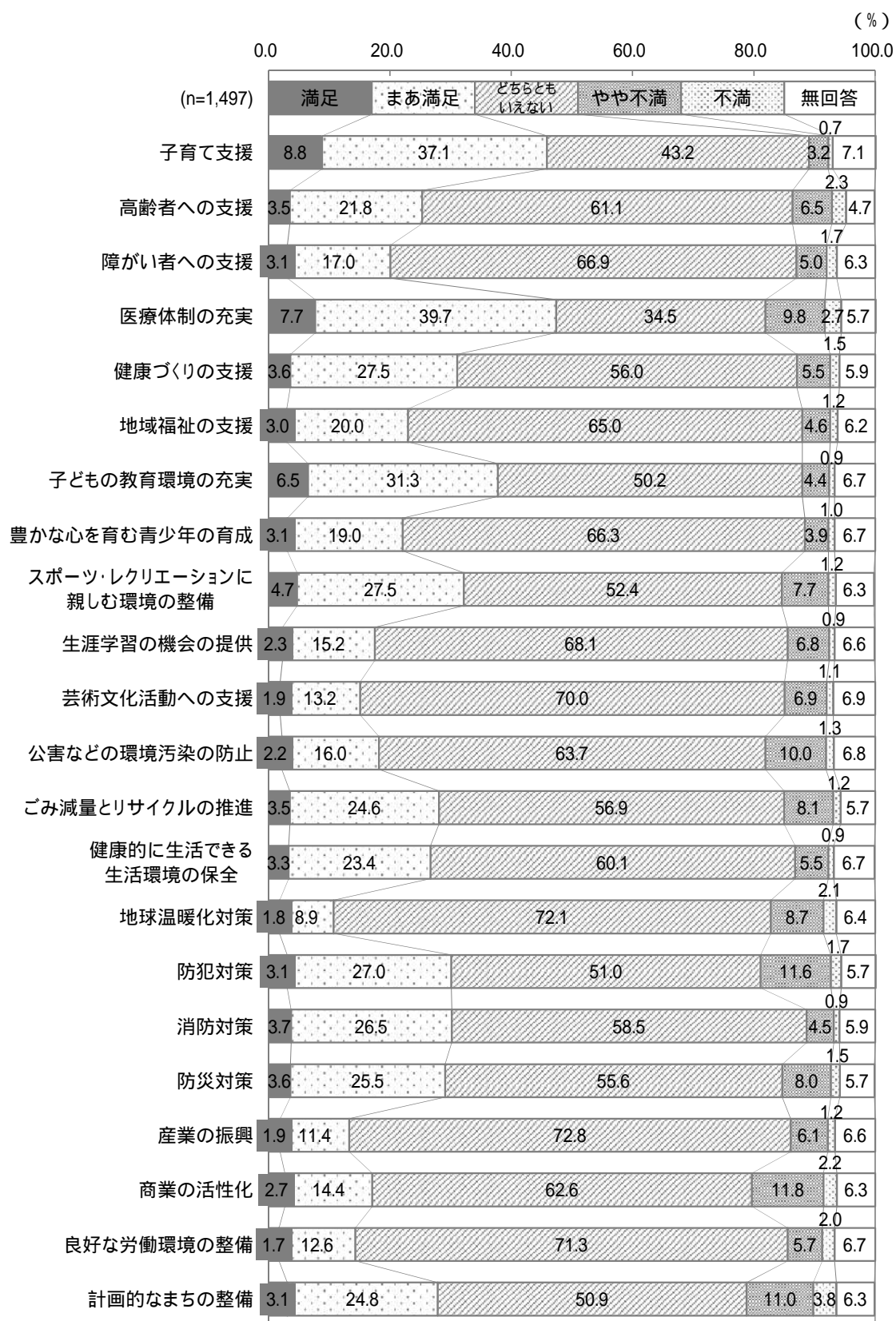
(1) 戸田市の取り組みへの満足度

問 31 次を示す取り組みについて、あなたは、どの程度満足していますか。(項目ごとに
は1つずつ)

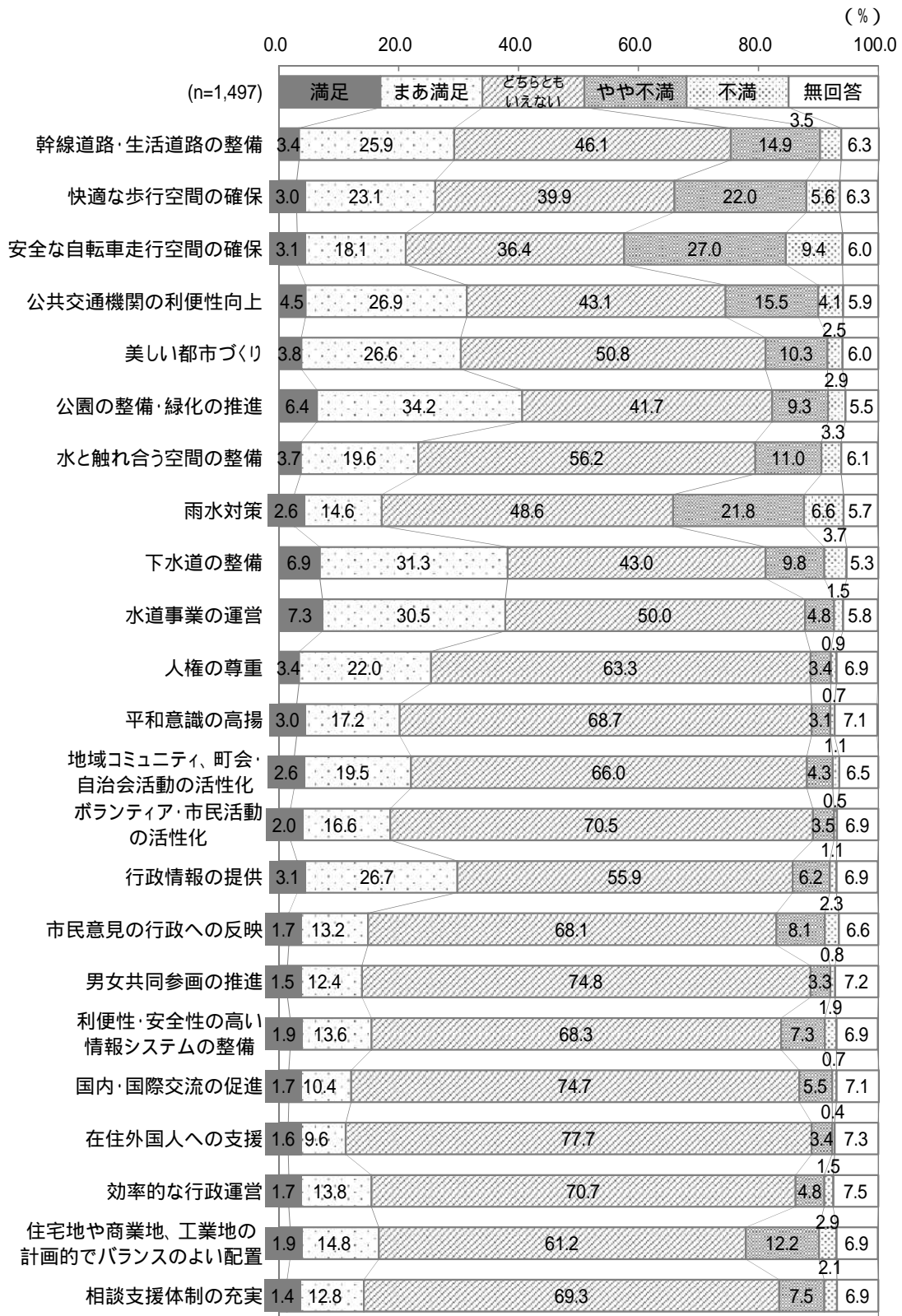
【全体の回答傾向】

- ・「満足」と「まあ満足」を合わせた満足度が最も高いのは、「医療体制の充実」(47.4%)であり、次いで「子育て支援」(45.9%)、「公園の整備・緑化の推進」(40.6%)でした。
- ・一方、「不満」と「やや不満」を合わせたものが最も高いのは、「安全な自転車走行空間の確保」(36.4%)であり、次いで「雨水対策」(28.4%)、「快適な歩行空間の確保」(27.6%)となっています。

図表 69-1 戸田市の取り組みへの満足度(全体)



図表 69-2 戸田市の取り組みへの満足度(全体)(つづき)



(2) 今後重要だと思う取り組み

問 32 あなたは次に示す項目のうち、戸田市のまちづくりにとって、今後何が重要であると思いますか。今後重要であると思うものを5つまで選んでください。(は5つ)

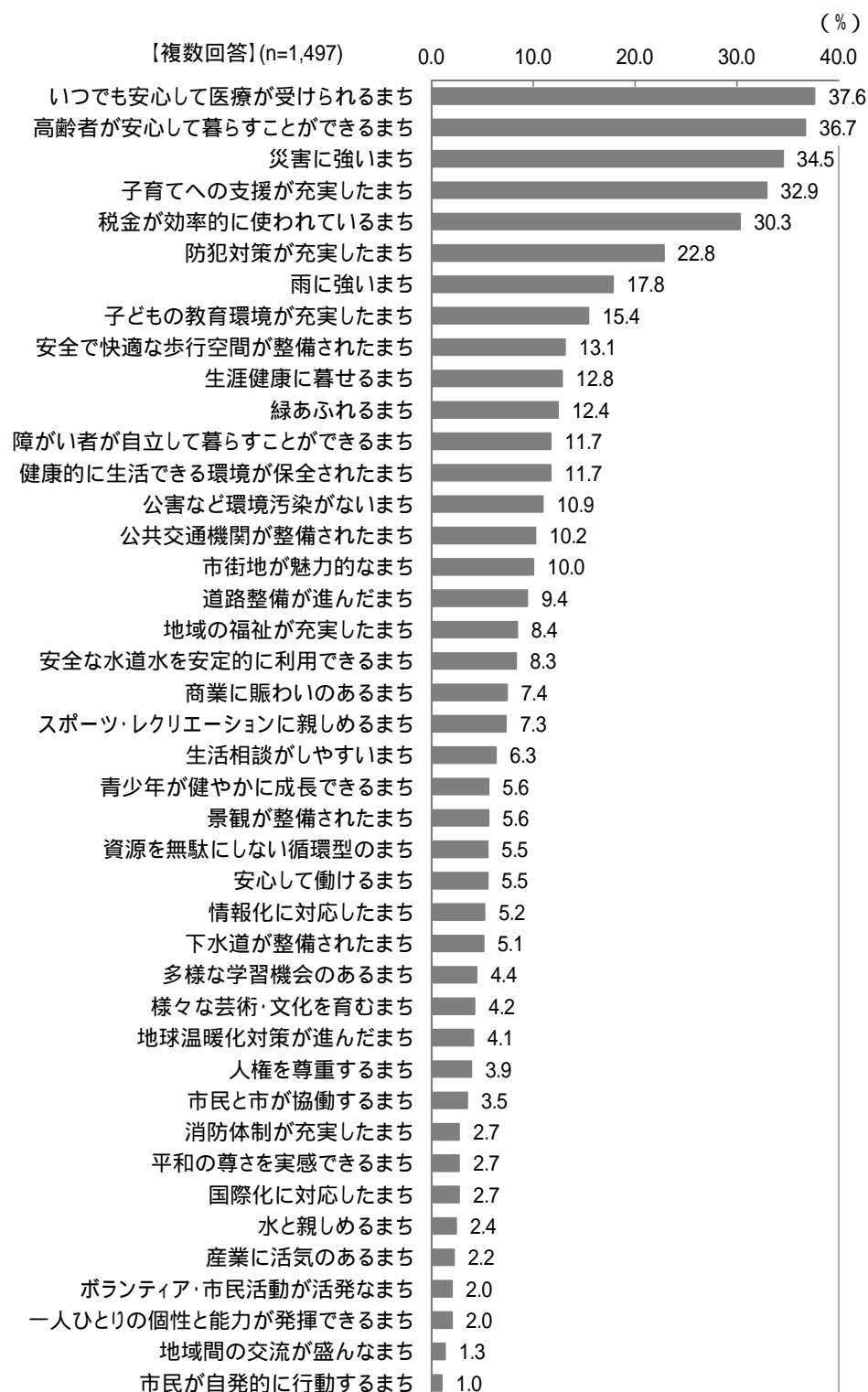
【本設問の留意点】

- ・本設問に回答する際の意識として、「現状に不満があり、今後推進してほしい重要な分野」という意識と、「現状取り組みが進んでいるものの、今後より一層推進してほしい重要な分野」という意識があります。したがって、本設問の結果が一概に各分野の進捗状況を示すものではないことに留意が必要です。

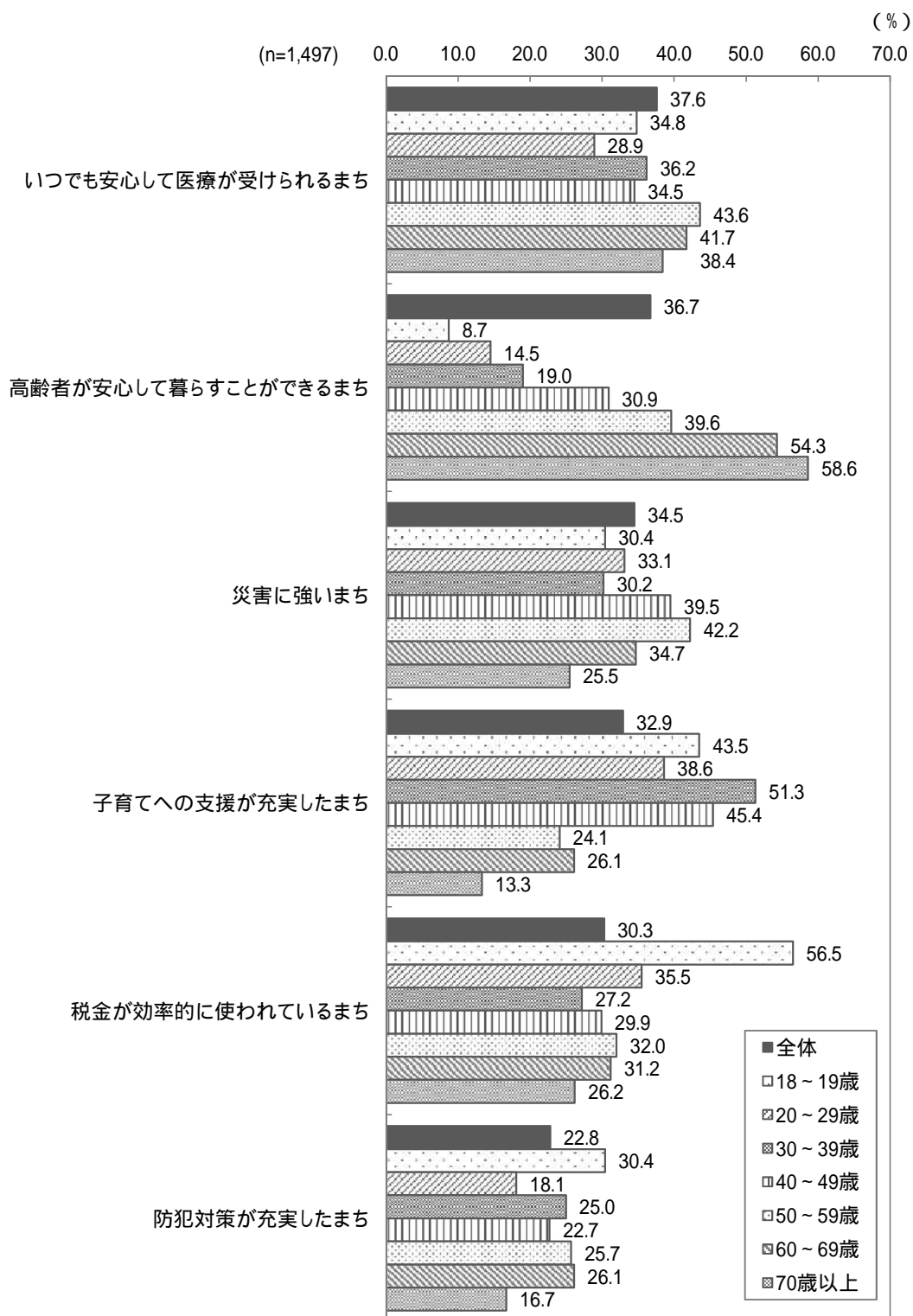
【全体の回答傾向】

- ・今後重要だと思う取り組み(複数回答)としては、「いつでも安心して医療が受けられるまち」(37.6%)が最も多く、次いで「高齢者が安心して暮らすことができるまち」(36.7%)、「災害に強いまち」(34.5%)、「子育てへの支援が充実したまち」(32.9%)、「税金が効率的に使われているまち」(30.3%)、「防犯対策が充実したまち」(22.8%)となっています。

図表 70 今後重要だと思う取り組み(全体)



図表 71 今後重要だと思う取り組み【上位 6 項目】(年齢別)



【今後重要だと思う上位6項目の取組（属性別の回答傾向）】

- ・年齢別（図表 71）に見ると、「いつでも安心して医療が受けられるまち」は、50 歳代で高く（43.6%）、次いで60 歳代（41.7%）となっています。
- ・「高齢者が安心して暮らすことができるまち」では、60 歳代と70 歳代で高くなっており、年齢とともに高くなる傾向が見られます。
- ・「災害に強いまち」は、50 歳代（42.2%）と最も高く、次いで40 歳代（39.5%）と高くなっています。
- ・「子育てへの支援が充実したまち」は、30 歳代（51.3%）が最も高く、次いで40 歳代（45.4%）、10 歳代（43.5%）の順に高くなっています。
- ・「税金が効率的に使われているまち」は、10 歳代（56.5%）が最も高く、次いで、20 歳代（35.5%）となっています。
- ・「防犯対策が充実したまち」は、10 歳代（30.4%）が最も高く、次いで60 歳代（26.1%）、50 歳代（25.7%）となっています。
- ・居住地区別（図表 72）に見ると、「いつでも安心して医療が受けられるまち」は、新曽地区や下戸田1 地区で高くなっています。
- ・「高齢者が安心して暮らすことができるまち」は、笹目地区や美女木地区で高くなっています。
- ・「災害に強いまち」は、新曽地区（39.7%）が最も高く、次いで下戸田2 地区（39.2%）となっています。
- ・「子育てへの支援が充実したまち」は、美女木地区（40.5%）、新曽地区（37.5%）で高くなっています。
- ・「税金が効率的に使われているまち」は、下戸田1 地区（35.0%）で最も高く、次いで上戸田2 地区（32.9%）、上戸田1 地区（32.7%）となっています。
- ・「防犯対策が充実したまち」は、笹目地区（27.8%）が最も高く、次いで下戸田1 地区（23.7%）となっています。

【その他の属性別の回答傾向】

- ・「生涯健康に暮せるまち」は、居住地区別で見ると、下戸田1地区が最も高くなっています。
- ・「地域の福祉が充実したまち」は、年齢別で見ると、70歳以上が最も高く、居住地区別では、上戸田1地区が最も高くなっています。
- ・「子どもの教育環境が充実したまち」では、年齢別では30歳代から40歳代で高くなっており、居住地区別で見ると、上戸田1地区、新曽地区が高くなっています。

図表 72-1 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		子育てへの支援が充実したまち	高齢者が安心して暮らすことができるまち	障がい者が自立して暮らすことができるまち	いつでも安心して医療が受けられるまち	生涯健康に暮せるまち	地域の福祉が充実したまち	子どもの教育環境が充実したまち	青少年が健やかに成長できるまち	スポーツ・レクリエーションに親しめるまち	多様な学習機会のあるまち	様々な芸術・文化を育むまち	公害など環境汚染がないまち	資源を無駄にしない循環型のまち	健康的に生活できる環境が保全されたまち
	全体(1,497)	32.9	36.7	11.7	37.6	12.8	8.4	15.4	5.6	7.3	4.4	4.2	10.9	5.5	11.7
性別	男性(670)	32.4	34.9	10.6	35.2	12.5	7.8	12.8	5.2	10.9	3.6	5.1	11.0	4.2	9.9
	女性(814)	33.5	38.0	12.5	39.6	13.0	8.8	17.7	6.0	4.4	5.2	3.6	10.7	6.5	13.3
年齢別	18～19歳(23)	43.5	8.7	13.0	34.8	17.4	8.7	13.0	4.3	8.7	8.7	4.3	13.0	4.3	0.0
	20～29歳(166)	38.6	14.5	4.8	28.9	10.8	7.8	16.9	6.0	8.4	7.2	8.4	11.4	7.2	10.8
	30～39歳(232)	51.3	19.0	8.6	36.2	9.9	7.3	30.2	9.5	10.3	3.0	5.2	9.5	4.3	10.3
	40～49歳(304)	45.4	30.9	12.2	34.5	11.5	8.2	25.7	7.9	9.9	4.6	3.3	9.5	5.6	11.2
	50～59歳(303)	24.1	39.6	13.9	43.6	15.5	8.3	6.3	2.6	6.9	5.6	3.6	9.9	5.9	11.6
	60～69歳(199)	26.1	54.3	16.6	41.7	13.6	8.0	5.5	3.5	5.0	3.5	3.5	12.6	6.0	18.1
	70歳以上(263)	13.3	58.6	12.2	38.4	13.7	10.3	8.4	4.6	3.0	2.3	3.0	12.9	4.2	10.6
居住地区別	下戸田1地区(177)	31.1	32.8	10.2	39.0	18.1	9.6	13.6	8.5	5.6	1.1	1.7	9.0	4.0	13.0
	下戸田2地区(268)	27.6	37.3	9.3	38.4	10.8	9.0	14.9	6.7	10.4	8.2	7.1	12.3	5.6	16.4
	上戸田1地区(150)	31.3	36.7	12.7	32.7	12.0	12.7	19.3	5.3	6.7	4.7	2.7	12.0	6.7	10.7
	上戸田2地区(228)	34.2	31.1	11.8	36.4	13.6	4.8	15.4	4.4	7.9	4.8	3.5	8.8	3.9	10.5
	新曽地区(355)	37.5	35.5	11.0	40.0	12.1	7.6	19.7	4.8	6.8	5.4	5.4	10.4	5.1	11.0
	笹目地区(180)	30.0	45.6	13.3	35.6	10.0	8.9	8.9	4.4	5.0	1.1	2.8	13.9	8.9	9.4
	美女木地区(126)	40.5	42.9	16.7	38.1	13.5	7.9	12.7	5.6	8.7	2.4	4.0	9.5	5.6	8.7

- ・「安全で快適な歩行空間が整備されたまち」では、年齢別に見ると、30歳代が最も高くなっており、次いで60歳代が高くなっています。
- ・「緑あふれるまち」は、年齢別では10歳代が高くなっており、居住地区別にみると、美女木地区が最も高く、次いで下戸田1地区が高くなっています。
- ・「公共交通機関が整備されたまち」は、年齢別では10歳代及び20歳代で高くなっており、居住地区別では、笹目地区が最も高くなっています。

図表 72-2 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)(つづき)

		地球温暖化対策が進んだまち	防犯対策が充実したまち	消防体制が充実したまち	災害に強いまち	産業に活気のあるまち	商業に賑わいのあるまち	安心して働けるまち	市街地が魅力的なまち	道路整備が進んだまち	安全で快適な歩行空間が整備されたまち	公共交通機関が整備されたまち	景観が整備されたまち	緑あふれるまち	水と親しめるまち
	全体(1,497)	4.1	22.8	2.7	34.5	2.2	7.4	5.5	10.0	9.4	13.1	5.6	10.2	12.4	2.4
性別	男性(670)	3.1	23.3	3.6	34.0	3.1	8.8	4.9	11.8	11.3	14.3	12.1	7.0	13.3	3.1
	女性(814)	4.9	22.2	1.8	35.4	1.4	6.4	6.1	8.7	8.0	12.3	8.8	4.5	11.8	1.8
年齢別	18～19歳(23)	8.7	30.4	0.0	30.4	0.0	0.0	30.4	0.0	8.7	0.0	17.4	17.4	21.7	4.3
	20～29歳(166)	1.8	18.1	1.8	33.1	1.8	9.6	6.0	15.1	15.7	13.3	16.9	7.2	12.0	3.6
	30～39歳(232)	3.0	25.0	1.7	30.2	2.6	14.7	6.0	10.3	8.2	18.1	13.4	5.6	12.1	2.6
	40～49歳(304)	3.9	22.7	3.9	39.5	3.6	6.9	8.6	10.9	8.6	12.5	9.5	5.9	10.5	2.3
	50～59歳(303)	3.3	25.7	3.0	42.2	2.0	7.6	5.3	10.6	10.6	10.6	10.9	7.3	13.2	3.6
	60～69歳(199)	6.5	26.1	2.0	34.7	2.0	5.0	2.0	10.1	7.5	17.1	5.5	5.0	12.6	1.5
	70歳以上(263)	5.3	16.7	3.0	25.5	1.1	2.7	2.3	6.1	7.2	10.6	6.5	1.9	13.7	0.8
居住地区別	下戸田1地区(177)	5.6	23.7	3.4	32.2	1.1	5.1	5.6	7.3	8.5	13.6	8.5	3.4	14.1	1.1
	下戸田2地区(268)	3.4	23.1	3.0	39.2	4.1	9.0	4.5	6.7	9.3	15.3	9.3	5.6	9.3	1.9
	上戸田1地区(150)	2.7	20.0	1.3	29.3	2.0	8.7	6.0	16.7	10.7	13.3	11.3	6.0	14.0	2.7
	上戸田2地区(228)	4.8	21.1	2.2	31.1	2.2	9.2	3.9	11.0	8.3	10.1	9.6	7.9	11.8	3.1
	新曽地区(355)	2.0	22.5	2.0	39.7	1.7	7.6	5.6	12.1	9.3	14.4	9.6	8.2	13.0	2.5
	笹目地区(180)	5.6	27.8	3.9	32.2	2.2	5.0	7.2	6.7	10.6	10.6	12.2	2.2	11.1	2.2
	美女木地区(126)	7.1	20.6	2.4	26.2	1.6	6.3	6.3	10.3	9.5	13.5	9.5	2.4	15.9	4.0

- ・「雨に強いまち」は、年齢別では40歳代が最も高く、次いで30歳代が高くなっています。居住地区別では、新曽地区が最も高くなっています。
- ・「下水道が整備されたまち」は、年齢別では60歳代が最も高くなっており、居住地区別では、上戸田1地区が最も高くなっています。

図表 72-3 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)(つづき)

		雨に強いまち	下水道が整備されたまち	安全な水道水を安定的に利用できるまち	人権を尊重するまち	平和の尊さを実感できるまち	市民が自発的に行動するまち	市民と市が協働するまち	地域間の交流が盛んなまち	ボランティア・市民活動が活発なまち	国際化に対応したまち	一人ひとりの個性と能力が発揮できるまち	情報化に対応したまち	税金が効率的に使われているまち	生活相談がしやすいまち
	全体(1,497)	17.8	5.1	8.3	3.9	2.7	1.0	3.5	1.3	2.0	2.7	2.0	5.2	30.3	6.3
性別	男性(670)	17.9	5.7	7.5	3.4	1.9	0.9	3.9	2.2	1.5	2.5	1.6	6.3	27.6	5.4
	女性(814)	17.7	4.8	8.8	4.2	3.4	1.1	3.3	0.6	2.3	2.8	2.3	4.4	32.9	7.1
年齢別	18～19歳(23)	17.4	0.0	0.0	4.3	13.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	4.3	13.0	56.5	4.3
	20～29歳(166)	13.9	3.6	5.4	3.6	1.8	1.2	1.8	0.6	1.2	5.4	5.4	6.6	35.5	6.0
	30～39歳(232)	19.8	3.0	6.9	1.7	2.6	1.3	2.6	3.0	0.9	4.3	2.6	4.3	27.2	5.2
	40～49歳(304)	22.4	3.6	5.6	3.6	0.3	1.0	3.0	0.7	1.3	3.0	3.0	7.2	29.9	3.3
	50～59歳(303)	18.2	4.6	5.9	5.6	4.0	0.3	4.3	1.0	2.3	2.0	0.3	7.9	32.0	5.9
	60～69歳(199)	17.1	9.5	10.6	7.5	3.5	1.0	3.5	1.5	3.0	1.5	0.0	3.0	31.2	8.0
	70歳以上(263)	12.9	7.2	16.3	1.5	3.4	1.5	5.7	1.1	3.0	1.1	1.5	0.8	26.2	10.3
居住地区別	下戸田1地区(177)	13.6	5.6	13.6	4.5	5.1	0.6	3.4	2.8	2.3	3.4	2.8	4.0	35.0	6.2
	下戸田2地区(268)	16.0	4.1	9.7	4.9	1.9	1.1	3.7	1.1	3.7	1.9	1.9	7.8	25.4	7.1
	上戸田1地区(150)	15.3	9.3	6.0	4.7	4.0	2.0	2.0	1.3	1.3	2.7	1.3	6.0	32.7	6.0
	上戸田2地区(228)	20.2	5.7	7.9	2.2	0.9	0.4	3.9	1.8	2.2	3.9	1.3	3.9	32.9	5.3
	新曽地区(355)	23.1	5.6	4.8	3.1	2.3	1.4	2.3	1.1	1.4	3.4	2.3	5.1	28.7	6.2
	笹目地区(180)	13.3	3.3	9.4	5.6	3.9	0.6	3.9	0.0	1.1	0.6	1.7	3.9	29.4	6.7
	美女木地区(126)	18.3	1.6	9.5	2.4	2.4	0.8	7.1	1.6	1.6	2.4	3.2	4.8	32.5	6.3

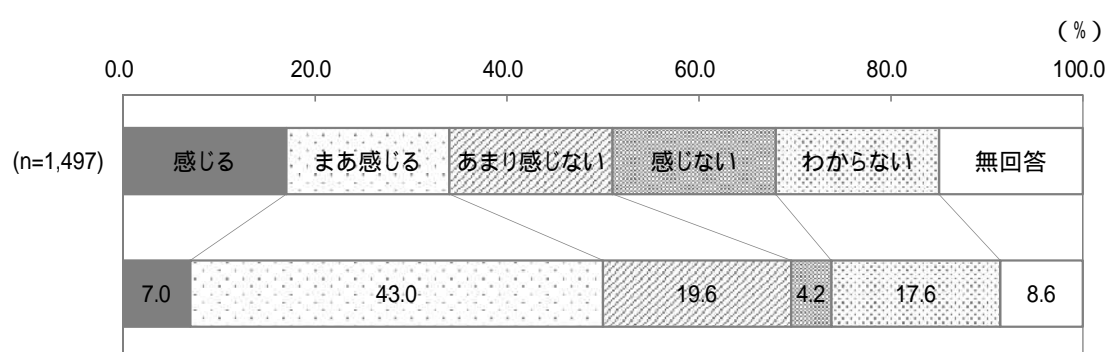
(3) 戸田市らしいまちづくり

問 33 あなたは、戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じますか？ (は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・全体の傾向で見ると、「感じる」(7.0%)、「まあ感じる」(43.0%)を合わせると50.0%となっています。本設問の調査開始以降、初めて50%以上となり、戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じています。

図表 73 戸田市らしいまちづくり(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別で見ると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、男性は49.9%、女性は50.3%となっており、女性の方が0.4ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見は、20～29歳で63.2%と最も高くなっており、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。
- ・居住地区別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、新曽地区の54.9%が最も高くなっており、次いで、上戸田1地区の52.7%となっています。また、笹目地区では、43.4%と低くなっています。

図表 74 戸田市らしいまちづくり(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
	全体(1,497)	7.0	43.0	19.6	4.2	17.6	8.6
性別	男性(670)	8.7	41.2	20.0	4.8	17.0	8.4
	女性(814)	5.7	44.6	19.3	3.8	18.3	8.4
年齢別	18～19歳(23)	0.0	43.5	30.4	8.7	17.4	0.0
	20～29歳(166)	11.4	51.8	11.4	1.8	18.7	4.8
	30～39歳(232)	5.2	50.9	20.7	3.4	17.7	2.2
	40～49歳(304)	7.9	44.7	20.1	6.3	17.8	3.3
	50～59歳(303)	3.3	41.6	23.8	4.3	20.5	6.6
	60～69歳(199)	8.5	36.2	22.1	3.5	17.6	12.1
	70歳以上(263)	8.7	35.0	16.0	4.2	13.7	22.4
居住地区別	下戸田1地区(177)	6.8	42.4	14.7	3.4	22.6	10.2
	下戸田2地区(268)	5.2	43.3	16.4	3.7	19.8	11.6
	上戸田1地区(150)	10.0	42.7	20.0	3.3	15.3	8.7
	上戸田2地区(228)	7.0	43.9	23.2	4.4	13.6	7.9
	新曽地区(355)	7.9	47.0	17.2	4.8	16.9	6.2
	笹目地区(180)	6.7	36.7	22.2	4.4	20.6	9.4
	美女木地区(126)	6.3	42.9	27.0	2.4	14.3	7.1

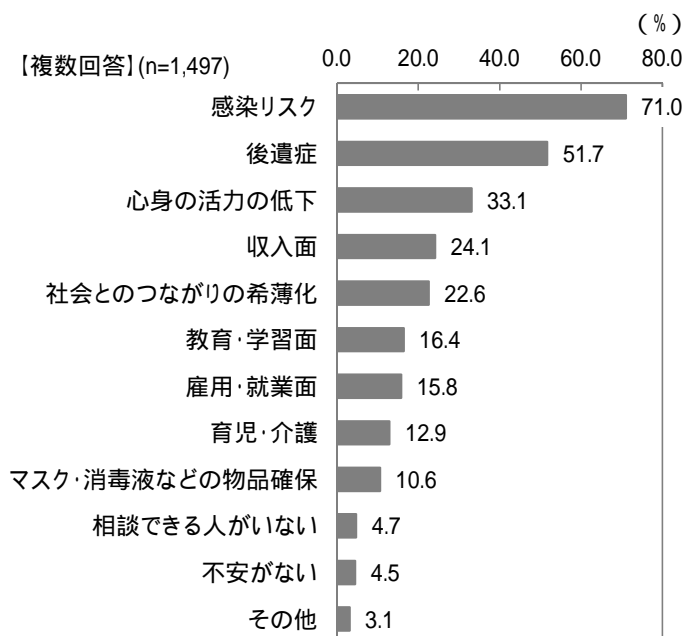
10. 新型コロナウイルス感染症について

問 34 あなたは、新型コロナウイルス感染症で不安に感じていることはありますか。(はいくつでも)

【全体の回答傾向】

・新型コロナウイルス感染症で不安に感じていること(複数回答)としては、「感染リスク」(71.0%)が最も多く、次いで「後遺症」(51.7%)、「心身の活力の低下」(33.1%)、「収入面」(24.1%)、「社会とのつながりの希薄化」(22.6%)となっています。

図表 75 新型コロナウイルス感染症での不安(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性は男性に比べ、「感染リスク」や「後遺症」、「心身の活力の低下」が高くなっています。一方、男性は女性に比べ「収入面」や「雇用・就業面」、「不安がない」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、60歳代及び70歳以上は他の年齢に比べ「社会とのつながりの希薄化」が高くなっています。また、30歳代は、他の年代に比べ「育児・介護」(28.0%)が最も高く、10歳代は、他の年代に比べ「不安がない」(13.0%)が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区、美女木地区及び下戸田1地区は他の地区に比べ、「収入面」が高くなっています。また、上戸田1地区は他の地区に比べ、「教育・学習面」が最も高くなっています。

図表 76 新型コロナウイルス感染症での不安(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		感染リスク	確保 マスク・消毒液などの物品	後遺症	心身の活力の低下	社会とのつながりの希薄化	収入面	雇用・就業面	教育・学習面	育児・介護	相談できる人がいない	不安がない	その他
	全体(1,497)	71.0	10.6	51.7	33.1	22.6	24.1	15.8	16.4	12.9	4.7	4.5	3.1
性別	男性(670)	66.6	10.7	45.4	28.8	22.7	25.2	16.9	14.5	11.6	5.8	6.1	2.4
	女性(814)	74.7	10.3	57.1	36.7	22.6	23.2	15.0	18.1	14.0	3.6	3.1	3.7
年齢別	18～19歳(23)	69.6	0.0	56.5	30.4	21.7	17.4	21.7	21.7	0.0	0.0	13.0	0.0
	20～29歳(166)	60.8	10.8	50.6	30.7	19.3	29.5	23.5	13.3	12.0	4.8	8.4	2.4
	30～39歳(232)	64.2	8.6	51.3	30.2	22.8	29.7	19.0	24.1	28.0	4.3	4.7	3.9
	40～49歳(304)	72.4	8.6	49.3	29.6	19.7	28.3	19.1	33.2	13.5	1.0	3.0	3.9
	50～59歳(303)	76.2	7.9	55.1	32.3	20.5	24.4	14.2	10.2	6.3	5.9	4.3	2.6
	60～69歳(199)	72.9	10.1	55.3	34.7	28.6	19.1	16.1	8.5	12.1	5.0	4.5	3.5
	70歳以上(263)	74.1	18.6	47.9	41.4	26.6	14.8	6.1	4.6	8.7	7.6	3.0	2.3
居住地区別	下戸田1地区(177)	71.2	10.7	48.6	27.7	22.6	28.2	19.2	14.7	12.4	8.5	4.5	2.3
	下戸田2地区(268)	72.8	9.0	49.6	36.2	21.6	19.4	11.9	15.3	13.1	6.0	5.2	4.1
	上戸田1地区(150)	70.7	10.7	50.7	30.0	26.0	20.0	18.7	22.7	13.3	4.0	6.0	3.3
	上戸田2地区(228)	67.1	8.3	49.1	32.9	27.2	18.0	8.8	13.2	10.1	1.3	5.3	3.1
	新曽地区(355)	70.4	10.4	55.8	34.9	22.8	23.7	19.2	18.6	14.1	4.2	3.7	3.4
	笹目地区(180)	71.7	12.2	56.7	33.9	17.8	33.9	15.6	14.4	15.0	5.6	3.9	2.2
	美女木地区(126)	73.8	13.5	47.6	32.5	20.6	31.7	19.8	17.5	12.7	3.2	3.2	2.4

・自由意見

このアンケートには、たくさんのご意見が寄せられました。

1. 保健・医療・福祉
子育て支援
高齢化が進む中、戸田市の活動を維持させて欲しいので、若い世代にたくさん住んでもらえる様に子育てへの支援を充実させて欲しい(今まで通りに)
今、子育て中で行政センターの子育て広場をよく利用していました。子育てが辛い時にはとても救われた場所です。そこの先生方がよく悩みを聞いてくださり、本当に嬉しかったです。日中、子どもと2人でずっと家にいることがきついという同じ気持ちのお母さんたちがたくさんいたので、これからもこのような施設がより気軽に利用できるといいなと思います。
子ども一人一人が安心してすごせるように、一人親家庭への支援、保護者へのサポート、様々な施設や取り組みがあり、充実していると思うが、必要な人にそれが伝わっているのが不安。
昔にくらべたら子育てにすごく手厚くなってきてすごくらやましいぐらいです。小さい子どもたちのことばかりではなく中高生たちのことも手厚くしてほしいです。本当にお金のない人と言ったら言葉がわるいですが、保育園などふえてきているので、手当での金額を増やすことがすごくらやましい。中高生の親として人数が多い分とても金銭的にかかるので、考えてほしいです。
児童センターが喜沢地区・中町地区にほしい。プリムローズ、こどもの国は少し遠くて子どもだけで遊びに行けない。
ひとり親ですが、色々な支援が(病児保育など)もっとわかりやすいと利用しやすいです。
保健・医療
人間ドック・脳ドック受診費用補助金制度は大変有り難いのですが、受診する医療機関を市内の医療機関に限定する要件を外していただくと助かります。継続して受診している医療機関を変更するとデメリットがある場合があります。
医療機関に対して不満を持っています。受診したい時に受診出来ない事が多すぎます。特に皮膚科の少なさでどこも混雑がひどすぎます。行政としてどうにか出来る事ではないかもしれませんが、そちらも含めて住みやすさなので対策して頂けたらと思います。
小児が病気やケガをした時に24時間365日いつでも受診できる医療体制をつくってほしい。休日診療や救急病院(戸田中央)があっても、特にケガは対応できないと断られることが多い。
戸田市立病院ができたらと願っています。
里帰り出産をした時の妊婦健診・子どもの予防接種の不便さ。産後に償還払の手続きや、依頼書の手続きなど、体調が悪い中、かなり大変だった。
ワクチン接種への早々の着手に感謝しています。もったいないBANKの設置等の斬新な取り組みもありがたかったですし、なにより、どこよりも早い若年層の接種が助かりました! 高校生の息子が夏休み中に二回目まで終わることができたことはスケジュールを考える上でもとても嬉しかったです。
インフルエンザワクチンの補助金があれば...と思う。子どもだけでも(2回うつので)

高齢者福祉
子育て中は色々な市の施設を利用させて頂きましたが現在は、行動範囲が限られてきています。近年、子育て支援にはかなり力を入れて頂いている様に感じます。今後は障害者・高齢者も外出がしたくなる施設や環境にも力を入れて頂けるとうれしいです。
戸田市は比較的若い世代、子育て世代の人口が多いように思いますが、高齢者にも、やさしい町になってほしい。主人の母が身体不自由になって特養に申し込みをした時に、回りの市も含め10ヶ所以上申し込みましたが、みんな2～3年待ち状態でした。高額ではなく入れる施設や賃貸で居らさなければならぬ高齢者のための安い家賃の住宅があれば高齢になっても安心して戸田で暮していけるのになぁと思います。
高齢になっても気持ちさえあれば好きなことに取り組んでいけることが出来る街を目指してほしい。
介護保険サービス事業所に家族の利用について相談していたところ、非情な対応をされた。安心して相談できるよう改善してほしい。
高齢者（一人世帯）が、安心して毎日を過ごせる、自宅で（持家）でなく、賃貸の場合等、生活費の補助等。
障がい福祉
戸田かけはし高校ができたのは大変うれしいのでぜひ今後地域に開かれた学校として積極的に地域住民と交流をもってほしい。そして戸田市が障害のある人にとっても住みやすい町として発展して行ってほしい。
障がい者に対しての支援や施設をもっと充実させて欲しい。
2．学校教育・生涯学習
学校教育
小学生の子供がおります。タブレットの貸し出し等、戸田市のサポートはすごいなと思います。
いつも、生活しやすい町づくりの為に尽力ありがとうございます。近年続いている猛暑により、数年前から、在学中の子供達（主に小・中学生）の、戸外での活動や、水泳の授業など、健康を損なうかもしれない様々な活動が中止となっており、運動会などの行事までも、縮小されているのが気になります。時代が違うと言えばそれまでですが、家族や地域でも楽しんでいたものが徐々になくなってってしまうのは淋しい気持ちもあり、今後、東小・中学校のような開閉式のプールだったり、熱中症を気にせず、子供達が思いきり体を動かせるような施設がもっとあればいいなと思います。
私の子は未だに学校でいじられたことを引きずっています。今年で19ですが突然泣きだします。障害があるから、バカにされる学校環境を少しずつでも改善して欲しい。学校の先生の理解がないと八方ふさがりです。
戸田市は住みやすい街だと思います。ただ最近、小・中学校のPTAの事がニュースで上がっていますが、うちも子供が学生だった頃、ほぼ強制的におどしに近い位、役員にさせられた事があります。校内の事だから行政が介入できないのかもしれませんが、苦しんでいるママさんは多いと思います。街として考えるなら校内の事ももっと関与できる方法があればいいなぁと思います。
公立の学校であるにもかかわらず、教育格差及び緊急時の対応力に差がある。

学校教育（つづき）
教職員の負担軽減 市費職員募集等、学校と地域が連携した子ども見守り隊、不登校対策 家庭への支援、家庭訪問、安否確認 不登校生徒のための校内特別学級の設置
子どももいるので、教育・子どもの人権についても守られる市になって欲しいと思います
生涯学習・文化・スポーツ
図書館の本について。子供（高学年女子）が読みたい文庫本など人気本の在庫がなく、もう少し読みたい本がある図書館作りをして頂きたい。
中央図書館にある本は古いものが多すぎです。もっと新しい本を追加しても良いではないかと思いません。
さくらパルに配本所を設置してほしい。
スポーツ面の活性化は見受けられるのですが、文化・芸術面に対する姿勢が良くないと感じます。文化会館などをもっと活用し、多くのコンサートや市民が参加できる芸術イベントなどを拡充してほしい。
文化活動を推進する街。都内からの接続も良く、文化的催し物呼びやすい立地条件だと思います。ギャラリー、ホールを駅の近くに作ったら良いかと思えます。市民の発表の場にも使えたらよいと思えます。今の文化会館はやや遠いです。
緑のある大きい公園の中に図書館やカフェがあり、スポーツもできる空間があると子供たちがたくさん走り回れると思います。遊ぶ所が少なく狭いので、商業施設などで嬉しくて走り回ってしまいます。働く人々なども含め危険ですが、子供にもおもいきりはしゃいで頂きたいです。またお年寄りには生きがいを提供もできるように、子供とお年寄りが同じ空間で遊べるようにすれば、若いエネルギーをもらえて元気になり笑顔が増えるのではないのでしょうか。
スポーツセンターに新しくプールが出来上がりよるこんで泳ぎに行ったのですが、プールが深くて老人には少し恐怖に感じて入れませんでした。1レーンだけでも台（嵩上げ）を入れてもらえないのでしょうか。泳ぐ事が出来る低学年のお子さん怖がっている様子でした。利用者が少なくて、もったいないと思いました。
子供達が安心安全にスポーツを出来る場所を作ってほしいです。たくさんの公園がありますがボールを使ってはいけない所ばかりで運動がまったくできないところを改善してほしい。将来のオリンピック選手、プロ選手が輩出するような地域になればもっともっと活性化すると思います。
戸田スポーツセンターの合気道教室が廃止されたのがとても残念でした。日本の文化という面では、武道はとても大切に思います。
戸田公園駅前行政センターにスポーツ施設利用の際の自動支払機の設置をお願いしたいです。
下戸田地区にはスポーツセンターの様な施設がなく近所の人が卓球の練習や試合をスポーツセンター迄出向いている。下戸田地区にも整備して下さい。下戸田地区には使用出来る施設が少ない。
文化会館などに映画館を作ってほしい（戸田市にないので）。
書店・大学生が少なく文化の香りがしないので、文教設備（大学とか）の誘致。
戸田市の教育はICTの活用など、充実していると聞きます。将来の戸田市を見据えた際には、教育に力を入れて頂きたいです。

3. 環境と安心・安全
環境・ごみ・公害
日々の生活におわれる毎日ですが、たまに見かける公園の草花、駅近くの素敵なバラや、季節の花を見るとホッとします。そんな緑が、もっと多くなるといいなと思います。
戸田公園付近の歩道の整備のおかげで駅前道路の安全性が高まったと感じます。一方で川の汚染やにおいはここ20年ずっと変わらず悪い状態です。 また、倉庫付近の排気ガスや音も気になります。今後も未来を見据え、課題の解決に取りくんでいただけると嬉しいです。
緑化が進んだ町を目指すとともに、今の生活水準は落とさないようになるのが望ましい。たとえば、再生可能エネルギーを活用して欲しい(ソーラーパネルの利用、ないしはソーラーパネル使用者への支援など)。
水と緑の街というイメージだったが、住んでみると、公園にはゴミ、川にもゴミ、道路には歩きタバコの人、トラックの排気ガス、せめて、ゴミは拾えるため、ゴミ拾いボランティアなど親子でできるものもあっていいと思う。ゴミ拾いたくさん参加したら街で使えるクーポンとか。
埼京線沿いのネコのエサやりがすごく嫌です。すみついています。ネコのエサやりをしている人を4~5人程みたことがあります。道路の真ん中であげてる人もいるし、ゴミはそのままです。正直きたないと思います。
鳩や野良猫に餌やりをしないよう条例を制定していただきたいです。 笹目川の除草の頻度を上げていただきたいです。コロナ対応等でお忙しいとは思いますが頑張ってください。
家の回りに、野良猫や放し飼いの猫が多く、糞等で迷惑しています。環境の改善をして下さい。(ネコが多すぎる)
無料で回収可能なゴミのサイズ拡大。県内他市で一辺が1メートル未満まで無料で回収する市もあります。
ゴミの捨て方が守られておらずカラスの被害に合いゴミが散乱していることがある。カラス対策をしてほしい。
路上喫煙、歩きタバコ、吸殻のポイ捨て禁止の条例について、罰則の強化ととりしまりの強化
歩きタバコ、路上喫煙の全くないまちになるといい。喫煙者はマナーが悪く治癒の向上のさまたげになっている。(条例は、有名無実) 駅で呼かけるくらいでは意味ない。集合住宅での喫煙も規制してほしい。決った時間(1日1回で良いので)市内放送してほしい。
駅前に喫煙所があり毎朝嫌でもその前を通らざるを得ずに困っています。私だけなら良いですが子供と一緒に通る時は非常に困ります。健康なまちづくりの面からもそういった所も考えて欲しいなと思います。
防犯
駅周囲はとても整備されていますが、他で路地が歩行しづらい。外灯が暗い、など防犯に不安を感じる所もあります。

防犯（つづき）
戸田駅から市役所までの道が今だ細く、夜は暗く、危なさを感じる。早く改善してほしい。
子ども（小学生）に持たせている、ミマモルメのチェックポイントを増やして欲しい。
夜になると真っ暗です。1人歩きも不安です。駅から自転車や徒歩ですが後ろ振り向きながら帰ります。もっと明るくしてほしいです。大きな通り（17号）は明るいですが、それ以外暗いイメージ強いです。街灯も少ないと思います。夜歩いてみてほしいです。女性は特に怖いです。
防災
戸田市は医療機関やスーパー等が多くて便利なところが住みやすいです。公園の多さも満足です。街並の美しさはあまりこだわらないです（個人の好みですが）大雨の時、ちょいちょい水びたしになる部分の改善だけ望みます。
荒川の氾濫が一番の心配です。補強のような事は、されているようですが、台風19号の時に彩湖に雨水を流入させ、災害をまぬがれたので、そのような場所を、さらに作ってほしいと思います。もう少し上流で考えられているようですが、小さな（戸田市）川から、荒川に流さないよう、地下にためられる場所を作って下さい。そのような予定がある事は、聞いていますが、市内に数カ所作って下さい。お願いします。
有時の際に自立できる様な教育・準備を市も市民もしなければならないと思う。
台風や荒川の氾濫への不安を感じています。
荒川の洪水...避難場所の小学校が低層階2 - 3階なので不安があり、使えない。また、動物と避難してもよい場所を皆に知らせてもらいたい。
大雨になると回りの道路は冠水、床下浸水になりかけた時も何度かあります。集中豪雨や台風に対応した町づくりをお願いします。
行政の更なる市民との関わりを増やす為、防災の講演会や防災ラジオの無償配布等推進して欲しい。
2019年の台風時、近くの避難所へ避難をしましたが、避難所ごとに供給して下さる物資に差があったように感じます。台風など、水に関わる災害に対してもう少し充実したサポートを受けたいです。
交通安全
最近歩きスマホの方、自転車スマホの方、多く見受けます。自分は、自転車通勤の時に、危険なめにあった事があります。夜の自転車の無灯も、こまったものです。
スマホ自転車・スマホ歩行・ヘッドホン自転車・傘自転車（自宅前の道）が多い
駅周囲はとても整備されていますが、他で路地が歩行しづらい。外灯が暗い、など防犯に不安を感じる所もあります。スポーツセンター周辺も夕方になると子供の安全に不安があります。車道が広くスピードをかなり上げている自動車もあり、交通ルールも強化してほしいです。
通学路（スクールゾーン）に時間内にも関わらず、何台もの車が侵入している。（ゾーン内に施設・家・駐車場等ある人以外）危険な思いをしている子どもたちが多数いて、テレビのニュースで子どもが事故で亡くなるものが報道されているため、とても厳しくしてほしい。

交通安全（つづき）
細い道で一方通行が多く、車と子供の接触などがこわい。
グランシンフォニア周辺の交差点の信号機が実情と合っていないと感じます。（例：時間差式でないために、1台も右折できない、など）急に人口が増えたためと思われるが、確認と改善をお願い致します。
人口が多く、交通ルールを守らない人が多い為、子供の事故が心配です。
ボート部の練習場近くに住んでおりますが、夜間の対岸の大きな道路側からの騒音が気になります。真っ直ぐな長い道なのでスピードを出す人が多いのかと思います。幼い子供を育てているので気になります。対策していただくと嬉しいです。
4．産業と労働
商業
戸田駅や北戸田駅周辺は街づくりが盛んになってきたが、戸田公園駅周辺や私の住む喜沢南はスーパーとかあるが個人店が少ない。今、東京は様々な所で色々なお店が出来ていて、街が賑わっていると思う。戸田市もおしゃれな店が出来ていくと、街自体も明るくなり、若い世代も引っ越してくるのでないかと思う。戸田市が補助金を出して「明るい街づくり」をつくってほしいです。
北戸田駅付近にスーパーを誘地してほしいです。コンビニしかなくてとても不便なため。
戸田公園駅前に活気のある商業施設を増やして欲しい。
子どもが無料で触れ合える、ミニ動物園や水族館などちょっとした施設があって欲しいです。
笹目はスーパーも全くなく、買い物も車を使ってしかできません。こちらの方にもスーパーができるとお年よりの方たちも住みやすくなるのではないかなあとと思います。（以前、車がないお年よりが、歩いて遠くのスーパーまで行っていると聞いて）
商業全般・就労
地域の小売店を応援し、商店街を活性化させるために参加しやすいイベントをさらに工夫していただくと嬉しいです。朝市などの取り組みは楽しみにしています。
戸田市は埼玉県においては玄関口といっても良い位置にあり、県北と東京の間と考えればリモートワークなどのサテライトオフィスを作る・置くにふさわしい場所にあると思う。
とても住みやすい街で感謝しています。中小企業や自営業者へのコロナ禍での支援金などを引き続きお願いできますと助かります。
戸田公園近辺は地主が広い土地を持っている様ですが、計画的に話し合いながら、整備していただいたい。工業（倉庫等）・商業地・住宅地のバランスがとれた市にしていただいたい。（特に商業が弱いと感じる。埼玉の二子玉川が理想）
優良な企業が沢山戸田市には存在するのに、優秀な食べ物（特産）がないのが残念です。（例）戸田で作ったバナナです！！みたいな何かを作って欲しいです。
川口市のように毎年地域振興商品券を売りだして欲しい。以前にやってテイクアウト額はすぐに売り切れ、この夏にやった PayPay 2% オフは PayPay 利用者しか使えず店舗も少なかった。地元の小さなお店を応援したいが、初めて入る時には勇気がある。商品券をきっかけに常連になることもあると思う。

商業全般・就労（つづき）
スポーツや文化的なレクリエーションを通して文化的で健やかな身体を育めるような商業施設を増やしていただきたいです。
5．都市基盤
土地区画整理・市街地整備
北戸田駅前や周辺の土地活用をもっと積極的に行って欲しい。遊休地や空き地等、まだまだ整備・活用できるスペースが余っている。
北戸田駅周辺に商業の活性化を望みます。北戸田駅は学生や社会人の利用も多くカフェやファミリーレストランなど気軽に入れるお店がとても少なく居酒屋等同じようなお店が、集中しています。ファミリー層に寄り添ったお店が欲しいです。
戸田公園東口の整備。北戸田駅・戸田駅同様、戸田公園駅近辺も同様に整備してほしい。
戸田駅前開発が完成されてきましたが、非常に無駄なつくりに見える。景観を重視しているのか、今後もこのような街づくり、進み方がしていくのかを考えると不安を感じる。優先順位の疑問はつきまといま
全体的に住みやすいまちだと思います。しかし埼京線の3駅の周りは、もっと再開発がすすみ、生活しやすくなったらいいと思います。（食糧品（スーパー）は充実しているので、その他の衣料、飲食店など）
住宅地と工業地、商業地との区分がしっかりしてほしい。計画的な土地利用と、交通便の改善を望みます。
道路整備
道路の整備、歩行者と自転車を分けて欲しい。歩道の段差などもなくしてほしい。
安心できる通学路の整備をお願いします。ガードレールのない場所、信号のない横断歩道、沢山あります。宜しくお願い致します。
道路の安全性について、通学路に、横断歩道が少なかったり、道が狭かったり、危ないと感じることが多い。自転車専用レーンがあっても、車とのきよりが近すぎて、逆に危ないところがある。
道路のバリアフリー化。（段差やガタガタでベビーカーが進みづらいことが多い。歩道が狭く危険）
歩行空間を全体的にしっかりとっていただきたいです。高い段差があるところは整えて欲しいと思います。
通学路（小学校）に歩道が細い場所があり児童の通行が危険である。広い歩道への改善をしてほしい。
連続した自転通行空間の確保を（好例は、市役所南通の新曽区間。幅も充分確保され、実際の利用も多い。良くない例は、同通の上戸田区間。幅が交差点部分で狭くなり、あまり利用されてない。北大通も、本来なら自転車レーンを整備できる筈の幅なのに、ナビラインで整備したのは疑問です）
戸田駅東口側の道路整備を進めて欲しい。時間により車両通行止めにもかかわらず、車両の進入が多いので、取り締まりや柵を設置する等対策して欲しい。人通りが多いのに危険です。市役所北西の歩車分離信号の存在意義がわかりません。南西の交差点や小学校により近い方に設置すべきではないか。

道路整備（つづき）
道路の標識が、日焼けしてうすいところがけっこうあります。また、二枚橋から戸田駅への道路整備に期待。
道が整備されて、歩行者が安心して歩けるようになるとよい。子供が多い街なので。
止まれの白線が消えているもしくは消えかけているのに修繕されていない道路が多く感じます。大きな未来を見据えるのは大いに結構ですが、小さな足元もしっかり見ていただきたい。
公園・緑・景観
喜沢には、小さい公園ばかりで、道満みたいな自分自身が体力を鍛えられる散歩コースや、緑あふれるベンチで腰かけ、ながめられる様な広場がほしいです。若い時は遠くても行けましたが、年をとってからは遠くに行けず、引きこもりの毎日にもどります
住民の多い戸田市で住宅、マンション等が多く仕方がないことではありますが、地域の公園、子供のびのびと安全に遊べるようにして欲しいです。今の時代はボール遊び禁止が多く遊べる箇所が限られているので少々不便です。
公園、戸田公園駅前の花壇に花は植えますが、その後、水やりをする事がない様です。美しく咲いて私達を和ませてくれている花達は、報われません。カラカラに乾いた土、ポウポウに生えた草の中で無残な姿をさらけ出しているのを見ると、人間の身勝手さを感じます。とても助かっている事もあります。それは、公園にトイレがある事です。他市から比べると、充実しているのかなーと感じます。
戸田市は公園が充実していて嬉しいです。公園のトイレがもう少しきれいだったらもっと嬉しいけど、外にある物なのでしょうがないとも思います。
児童が遊べる公園はたくさんあって子供が小さい時は毎日のように遊んでいました。そこでお友達もいっぱい出来て子育てメインの時は、楽しい思い出が戸田市でできたと思います。今、子供が青年になり、ほぼ行くことがなくなりました。公園は広いところもたくさんあったのもっと緑を増やして、ベンチをたくさん置いて、40代以上の方のおしゃべりの場、くつろげる空間作りもしてくれたら嬉しいです！！あと犬に優しい街作りもお願いします。犬マナーを守ろうと強く思える公園作りを...
ボール公園でよくバスケットをするが、人が多く、なかなかやりたいように体を動かすことができない。一般の市民でもバスケコート（小学校の体育館など）使えるようになると嬉しい。ボール公園のような施設が増えることを望みます。
戸田公園の整備（ウォーキングコース、足つぼ石など）高齢者がゆったり、体を動かせる場所。
“戸田公園”なのに公園のある河川敷まで駅から遠いため、気軽におすすめできない。開放的なのもったいたくない。せめて駅からバスがあったらいい。隣の浮間公園のほうが駅前ですぐ行けて便利で魅力的公園が数多くある事は、非常に良い事だと思う。これからも子供達が遊べるキレイな場所を作ってほしい。
戸田市の市名の由来ともなっている「田畑」の景色がもう少し身近になればいいなと思っています。
戸田市役所周辺は比較的景観がきれいだが、地域によっては、あまり良くない所もあると感じる。
荒川近辺を中心に景観が良くなって欲しいと思う。ごみ、においなどがひどく、改善することでクリーンな街のイメージをつくって欲しいと思う。

上下水道・河川
大雨が降った時、川が氾濫しないか心配です。桜の木をもっと増やしてほしいです。菖蒲川が臭いのでどうかしてほしいです。
菖蒲川の近くに住んでいます。川のゴミがなくなってキレイになって魚がすめるようになったらいいなと思います。
さいたま市～戸田市にまたがる笹目川のゴミや泥が気になり、悪臭もします。春は桜がきれいで散歩にはとても良いスポットなので、きれいになると嬉しいです！
下水道の整備をしてほしい。(新首地区は突発的に異臭が漂うことがあります。)
大雨の際トイレから下水が逆流してきたので、下水の整備をして欲しい。
戸田市には、戸田公園や河川、河川敷等、豊富な自然の資源があるが、アクセスが不便だったり、汚染が目立ったりと、有効な整備が行き届いていないと感じる。また魅力的な市街地もない。市民が出歩きたくなるような、他から来たくなるような、戸田の特性を生かした魅力的な街作りを望みます。戸田公園、荒川河川敷では、ポートコースの真中あたりにもう一本橋をかけて行きやすくするとか、駐車場を整備するとか、河川を徹底的に浄化し、川沿いを散策できるようにするとか。
笹目川、舟着場のベンチに屋根をつけて下さい。そうすれば夏の日差しや雨が降ったとき助かります。笹目川遊歩道、いつも楽しんでます。
公共交通
toco バスが1時間に1本しかないのを、もう少し増やしてほしいです。
toco バスをよく利用しますが、あいバルに行く時は中央病院前で降りて歩きますし、東部福祉センターの場合は利用出来ます。国際バスを利用しています。公共施設近くに、停留場を作って下さい。
コミュニティバスについて。戸田市内だけで運営するのではなく、わらび市と連携し、お互い行き来できるようにすれば住民は満足すると思う。
toco バス18時よりも遅くまで運行していればいいと思う。笹目などは、バスも少なく車がないと不便で高齢になっても車が手ばなせないし、あぶない。toco バスも、もう少し遅くまであれば通勤・通学なども便利なのは。
バスの増便、電車の増便とホームドアの設置
笹目地区・美女木地区、駅から遠い地区の高齢者の移動手段が少ない。toco バスなど無料化してほしい。
埼京線の本数が、京浜東北線や、中央線に比べて極めて少ないので、市からJR東日本への働きかけをお願いしたいです。
6. 参加と交流
コミュニティ活動・市民参加
賃貸マンションに夫婦2人で住んでいます。戸田市はくらしやすい町だと感じていますが、マンション暮らしの住人で子供もいない場合は、市政や自治会、団体等の情報に接する機会がほとんどありません。その結果近所付き合いなどもなく、地域とのつながりがうすくなる傾向があります。
高齢者が参加出来る講演会等交流の場を数多く計画していただければ、ありがたいです。

<p>コミュニティ活動・市民参加（つづき）</p>
<p>新型コロナウイルス感染症が収束した後は、市民がより一層安心出来る、交流の場（各町内）が出来ることを希望します。</p>
<p>私は、歩いて公民館のいきいき体操に参加出来ますが公民館まで歩けない方のお話に合いの場所も作ってほしいと思います。</p>
<p>戸田市は人の出入りが多く（転出入）若い家族も多いです。子どもが安心して暮らせるまちになると大人も満足した暮らしになるのではないかと思います。子育て世代と高齢世代との交流や協働によって地域の活性化や安心につながると思います。働く世代は日中戸田市にいる時間が少なく地域への思いがあまり持てないかもしれませんが、学校を拠点に自分の地域でのつながりが持てるようになれば子どもも大人も安心できるまちになるのではないかと考えています。 いつもいろいろな政策をありがとうございます！！きれいなまち戸田市を期待しています。</p>
<p>花火大会や市役所通りのふるさと祭り等イベントが多く活気がある様子は気分も上がるので今後も継続して頂きたい。</p>
<p>広報・情報発信</p>
<p>戸田市にはたくさんの福祉センターや公園があり、また大きな花火大会もあって、住んでいて自慢できる街です。このすてきな街、戸田をもっと他に発信できたらいいのになと思います。例えば、戸田に道の駅をつくる、市内の小中学生が戸田市のHPの一部をつくるなど、戸田市の良さをもっと他に伝えられるといいなと思います。</p>
<p>素敵な飲食店等、多数ある為、戸田市の情報誌の様なものがあれば良いと思う。（SNSを含めて。）</p>
<p>働いている人間には全く情報もわからない。独身だったり、平日いない人にも情報がわかりやすく発信して下さい。</p>
<p>現在の市のホームページでは、観光の情報を得たくても「トピック」のことしか分からず、具体的な「戸田市の魅力」が分かりません。まずは「彩湖・道満グリーンパーク」やポートコースなどの紹介・利用方法などを発信すると良いと思います。</p>
<p>正しい情報を市民全員が共有できる事が平事緊急時においてよりいい行動が出来ると思います。コロナの件で市長の言葉は良くわかり嬉しく思いました。これからも正しい場所から正しい情報をお願い致します。</p>
<p>私は戸田市のインターンシップに参加した経験があるので戸田市についてかなり知った気になっていましたが、こうやってアンケートに答えてみるとまだまだ戸田市について知らないことが多いと感じました。戸田市での取組みについて市民がパッと思い浮かべられるように周知を強化すると良いと思います。広報の10月号紙面での花火大会という特集、とても良かったです。</p>
<p>7. 行財政</p>
<p>行政手続のIT化をもっと進めてほしい</p>
<p>戸田市は、とても住みやすい市だと思います。住みつづけて感じている事は、市役所の職員の方がどの係の方もとても親切な事。市役所に用事があるたびに『戸田市に住んでいて良かったな』と思います。これは、とても大切な、素晴らしい事。これからもよろしくお願いします。</p>

7. 行財政（つづき）
行政手続の際、待ち時間が長いので、円滑になれば更にいいなと思いました。対面で手続き必要なものをネットで完結できるなど。
時代はデジタル化、デジタルになじめない人に、親切に対応できる職員を置いて欲しい。役所、福祉センター、図書館、文化会館等。その場に、利用出来る、パソコンなどを教えて欲しい。
主に商業においてとても活気があり、戸田市に来てもうすぐ6年になりますがとても明るく住みやすい町だと感じています。1つ提案するとすれば、自治体施設（コミュニティセンタ等）の利用申請および支払いについて、全て電子で完了できるようになるともっと利用しやすくなると思います。
戸田市は地方交付税不交付団体としてバランスのとれた行政を営んでほしい。行政サービスは極力減らし、インフラ整備など行政ならではの部分を充実させていただきたい。東京に近く暮らしやすい市だと思えます。安全で安心して暮らせる市を目指して、がんばって下さい。
年金生活者には、介護保険料、国民健康保険料金が高く、負担になっています。必要な事だと充分思っております。若い子供を育てている人達に感謝もしておりますが、もう少し負担に感じている分を下げてくださいように考慮していただきたいと思っています。
8. その他
戸田市は医療機関やスーパー等が多くて便利なところが住みやすいです。公園の多さも満足です。街並の美しさはあまりこだわらないです（個人の好みですが）大雨の時、ちょいちょい水びたしになる部分の改善だけ望みます。市民サービスは、利用したことがある範囲では満足です。
ネット環境の充実化を計ってほしい。特に所得や、子育て世代、高齢者などの端末購入費、Wi-Fi通信費の補助を、ぜひ検討してほしい。
ほどよい大きさである戸田市ならではのきめ細かいまちづくりを期待しています。白田の湯閉館はとても残念です。子ども達が小さい頃から何度も利用させていただきました。今は他市に住む子ども達も残念がっています。白田の湯にかわる厚生福祉を期待しています。年金生活者にとっての年に2～3回の温泉は何よりの楽しみです。
外国人や障がい者やLGBTなど人々が差別のない町で平等の生活が出来る町になるとよいと思います。
競艇場以外にもう1つ基幹産業、たとえばIT産業への特別施策による誘致（税金低減等）市の特徴となるもの例えば市政のフルIT化や、国際化対策としての英語教育強化
東京都に接する市として多様な企業が工場を建設し都内へのアクセスが良いところは、戸田市らしいと感じておりますが、工場エリアと住宅エリアはもう少し明確な区分があるまちづくりを期待します。戸田市民としても生活エリアで大型トラックの走行が多い道など把握はしていますが、昨今住んでいる地区の近隣に大型物流施設の建設予定が知らされ、「物流」とのことでさらなる大型トラック等の増加が想定され住民としては不安を感じています。その場所が本当に工場・物流建設に際して差つかえない場所であるのか、子供のびのび安全に暮らす未来を見据えご検討頂ければと願っております。
戸田第二小学校に子供を通わせています。小学校の近くに、大規模倉庫の建設が予定されていると知り、通学路等の安全が脅かされるのではないかと不安を感じています。

8. その他(つづき)
他県から移り住んで、戸田市は都会に近く田舎っぽい所もあり、交通の便は良いと思いました。市役所の方も対応がスムーズで、若い人が多く住む戸田市(高齢者も多いそうですネ)という感じで、18年間快適に住ませてもらっています。水道代など他市より安いそうでありがとうございます。ほとんど平坦で市内は車があれば半日もあれば回れます。そういう特性を武器にしてみても良いかもしれません。
年寄や、体の不自由な方を良く見かけます。歩行者と自転車、自転車と自動車の道路分けや、信号の歩車分離をもっと進めて、より住みやすい街にしてほしい。戸田漕艇場は県営であるが、戸田市民のボランティアをつのるなどして、ポートコース内の水草そうじや、コース横の道路の雑草をして市民のいいの場としてほしい。ポートの街「戸田」をもっと全国へアピールして下さい。
全体的に街がきれいで防犯面でも対策がされており、住みやすいです。生活用品もスーパー、薬局が徒歩圏内のため、便利です。駅が近くなので通勤も楽です。一方で、戸田市の特色、例えば特産品やグルメなどがもっと充実すると、これまで以上にぎわうのでは、と感じることがあります。B級グルメや商店街ができると、違った楽しみがあり、特色も増えると思います
トランス差別が話題にのぼることがあるが、トランスジェンダーとトランスセクシャルの区別をしっかりつけて、公共の場では、性の自認ではなく身体の区別による利用にしてほしい。(女性の体をもったトランス女性は女性のスペースの利用、男性の体をもったトランス女性は男性のスペースの利用、男性の体をもったトランス男性は男性スペースの利用、女性の体をもったトランス男性は女性スペースの利用というふうに。)
夜間の車・バイクの騒音が気になることがある。在住者の平均年齢が若くなっているのは良いことだと思う。自然も多くこれらを守っていくことは人の定着にもつながると思います。今後も良い市づくりを頑張ってください!期待しております。
若い層の流入が多いまちだと思いますが、数十年後にはその人たちも高齢になっていきます。今戸田市で育つ子どもたちが、将来も長く住み続けられる(住み続けたいと思う)まちづくりを行っていくことが必要だと感じます。
障害児を育てています。医療的ケア児支援法も施行され、障害あるなし関わらず安心して子供を産み育てる事ができるまちであって欲しいと思います。働く世代が多い戸田市は離職防止につながる取り組みを積極的に行っていただきたいです。障害児が(先天性でも後天性でも)いるから離職せざるをえなかった先輩方や、これからの未来のご家族の為にも、より一層子育てがしやすいまちになることを願っています。
出産届を提出すると植木を頂けますが、正直新生児のお世話と植木のお世話を両立させるのは面倒です。ミルクやおむつ等のプレゼント(サンプル等)や日用品が買える割引券等を頂けた方がとても助かりますし、市も子育てを応援してくれていると感じます。
アンケート結果を公表してほしいです。豪雨のときが心配なのでできるだけ早く雨水対策を進めてほしいです。
スポーツセンターやポート場なども施設が古く、ここに行きたいと思えるような魅力的な複合型の施設などの建設も検討してもらいたい。

參考資料 (調查票)

令和3年度戸田市民意識調査 ご協力のお願い

日ごろから市政へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、戸田市では、市民の皆様のご意見やご要望をおうかがいし、一層充実した市政とするために市民意識調査を実施しています。今後、市民の皆様の声をこれまで以上にまちづくりを生かすため、4年に1回から2年に1回に調査期間を短縮して実施していきます。

今回の調査は令和3年9月1日現在において、戸田市の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民の皆様の中から、3,000人を無作為に選んでお願いしています。ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

なお、このアンケートに関して個人の意見が公表されることは一切ありませんので、ぜひ率直なご意見をいただきますよう、重ねてお願いいたします。

令和3年10月

戸田市長 菅原 文仁

◆ご記入の前に◆

1. 回答方法
 - ・封筒宛名のご本人がご回答ください。
 - ・質問は全部で34問です。回答時間の目安は1.5分程度です。
 - ・各質問の説明に従って、回答欄にご記入ください。筆記用具の種類は問いません。
 - ・回答にあたり質問内容の説明などが必要な方は、下記担当までご連絡ください。
2. 返送方法
 - ・回答が済みましたら、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに令和3年10月31日(日)までに投函してください。
 - ・封筒や調査票にご住所・お名前を記入する必要はありません。

3. お問い合わせ

〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1
戸田市役所 共創企画課 行政改革・計画推進担当
電話 048-441-1800 (内線413)
FAX 048-432-8521 E-mail kikakokcity.toda.saitama.jp

※ この調査結果は戸田市ホームページ等で概要を公表する予定です。

1. ご自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。 (Oは1つ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

※あなたが認識しているご自分の性別を選んでください。

問2 あなたの年齢を教えてください。

満 歳

問3 あなたが住んでいる地区はどこですか。 (Oは1つ)

1. 喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目
2. 喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目
3. 上戸田1～5丁目、大字上戸田
4. 川岸3丁目、本町1～5丁目、南町、戸田公園
5. 大字新館、新館南1～4丁目、米川町1～3丁目、大字下僅目
6. 笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目
7. 美木水1～8丁目、美木水東1・2丁目、大字美木水

問4 あなたは戸田市に何年ぐらい住んでいますか。 (Oは1つ)

約 年

※1年未満は「0年」とお書きください。

問5 あなたの住宅の種類を教えてください。 (Oは1つ)

1. 持ち家 (戸建て)
2. 持ち家 (マンションなど)
3. 借家 (戸建て)
4. 借家 (民間アパート・マンション)
5. 社宅・寮
6. UR・県営・市営住宅
7. その他 ()

問6 一緒に住んでいる家族は、あなたを含めて何人ですか。 (Oは1つ)

人

問7 あなたのお仕事 (雇用形態) を教えてください。 (Oは1つ)

1. フルタイム (常勤) の正社員被雇用者 2. 派遣・契約・嘱託社員
3. パートまたはアルバイト
4. 自営業主・個人事業主
5. 家族従業者
6. 会社経営・役員
7. 家事従事者
8. 学生
9. 年金生活
10. 無就業
11. その他 ()

問 8 あなたの通勤地もしくは通学地はどこですか。(Oは1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------|
| 1. 戸田市内 | 2. 川口市 | 3. さいたま市 |
| 4. 蕨市 | 5. 県内その他の市町村 | 6. 東京都 |
| 7. 県外(東京都を除く) | 8. 通勤・通学していない | |

問 9 あなたが通勤や通学に利用している交通手段を教えてください。利用しているものをすべて選んでください。(Oはいくつでも)

- | | | |
|---------------|------------|----------|
| 1. 徒歩のみ | 2. 電車 | 3. 自家用車 |
| 4. バス | 5. 自転車 | 6. オートバイ |
| 7. 通勤・通学していない | 8. その他 () | |

問 10 あなたは、全般的に、今の生活に満足していますか。(Oは1つ)

- | | | | | |
|-------|---------|---------|-------|----------|
| 1. 満足 | 2. まあ満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 | 5. わからない |
|-------|---------|---------|-------|----------|

2. 定住意向についておたずねします

問 11 あなたが目前に住んでいる市区町村から移転したきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(Oはいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 生まれてからずっと戸田市 | 2. 進学 |
| 3. 就職・転勤 | 4. 結婚 |
| 5. 出産 | 6. 子どもの独立 |
| 7. 退職・廃業 | 8. 親や子と同居・近隣に住むため |
| 9. 住宅の購入 | 10. 弊になし |
| 11. その他 () | |

問 12 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。(Oは1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. ここで育ったから | 2. 比較的安価な住宅があったから |
| 3. 親戚や友人がいたから | 4. 住みやすかったから |
| 5. たまたま住宅が見つかったから | 6. 弊になし |
| 7. その他 () | |

問 13 あなたは、戸田市にこれからも住みたいと思いますか。(Oは1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 住み続ける | 2. たぶん住み続ける |
| 3. たぶん移転する | 4. 移転する |
| 5. わからない | |

3. 子育てについておたずねします

問 14 あなたは、戸田市は子育てしやすいと思いますか。(Oは1つ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかというと思う |
| 3. どちらかというと思うと思わない | 4. そうは思わない |
| 5. わからない | |

問 15 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとにOは1つ)

※お子さんがいない方は、問 16へお進みください。

※お子さんが欠乏している方は、過去の経験からお答えください。

項目	評価		満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
	1	2					
(1) 保育園や幼稚園、学童など通常の預け先	1	2	1	2	3	4	5
(2) 一時保育や病児保育など臨時的な預け先	1	2	1	2	3	4	5
(3) 児童手当や子ども医療費助成など金銭的支援	1	2	1	2	3	4	5
(4) 不安や悩みを聞いてもらえる相談の場	1	2	1	2	3	4	5
(5) サークルや子ども会など地域交流の機会	1	2	1	2	3	4	5
(6) 24時間診療など、いつでも受診できる医療体制	1	2	1	2	3	4	5
(7) 道徳の授業や歌のエレベーターなどのバリアフリー	1	2	1	2	3	4	5
(8) 地域の人の声掛けや協力	1	2	1	2	3	4	5

4. 健康づくりについておたずねします

問 16 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(Oはいくつでも)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 定期的ながん検診や健康診断の受診 | 2. 定期的な歯科健診の受診 |
| 3. バランスの良い食事 | 4. 朝食を抜かない |
| 5. 定期的な運動やスポーツ | 6. 日頃から歩くこと |
| 7. 体重や体脂肪率などの把握 | 8. 睡眠による十分な休養 |
| 9. 自分に合ったストレス解消 | 10. 規則正しい生活 |
| 11. 道量敬語や、林幹日の設置 | 12. たばこは吸わない、またはやめた |
| 13. 弊に何もしていない | 14. その他 () |

6. 生活環境についておたずねします

問 20 あなたは、住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。
(項目ごとに○は1つ)

区分	項目	評価	非常に良い	やや良い	普通	やや悪い	非常に悪い	わからない
健康・衛生	(1) ごみの回収		1	2	3	4	5	6
	(2) 雨水など水のはげくあい		1	2	3	4	5	6
	(3) ハチ、蚊等の害虫対策		1	2	3	4	5	6
	(4) 医療機関への通院のしやすさ		1	2	3	4	5	6
	(5) 休日や夜間の急病のときの安心さ		1	2	3	4	5	6
	(6) ばい煙・排気ガス		1	2	3	4	5	6
	(7) 騒音・振動（工場・車等）		1	2	3	4	5	6
安全	(8) 子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性		1	2	3	4	5	6
	(9) 高齢者の外出や散歩の安全性		1	2	3	4	5	6
	(10) 個人生活の秘密が守られること		1	2	3	4	5	6
	(11) 災害（火災・地震・台風等）からの安全性		1	2	3	4	5	6
	(12) 標識汚染からの安全性		1	2	3	4	5	6
	(13) 夜道の明るさ		1	2	3	4	5	6
	(14) 周りの道路の安全性		1	2	3	4	5	6
	(15) 日用品・食料品等の買い物の利便さ		1	2	3	4	5	6
	(16) 通勤・通学の利便さ		1	2	3	4	5	6
	(17) 公園・広場等の利用のしやすさ		1	2	3	4	5	6
利便	(18) 公民館・集会所等の利用のしやすさ		1	2	3	4	5	6
	(19) 郵便局・金融機関の利便さ		1	2	3	4	5	6
快適	(20) 周囲に悪臭がないこと		1	2	3	4	5	6
	(21) 日当たりや風通しの良さ		1	2	3	4	5	6
	(22) 緑などの自然環境		1	2	3	4	5	6
	(23) 川の水のきれいさ		1	2	3	4	5	6
	(24) 上記を総合して、どの程度満足していますか		1	2	3	4	5	6

問 17 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。
あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 定期的ながん検診や健康診断の受診	2. 定期的な歯科健診の受診
3. バランスの良い食事	4. 朝食を抜かない
5. 定期的な運動やスポーツ	6. 日頃から歩くこと
7. 体重や体脂肪率などの把握	8. 睡眠による十分な休養
9. 自分に合ったストレッチ解消	10. 規則正しい生活
11. 休肝日の設置	12. 禁煙
13. 特になし	14. その他（ ）

5. 高齢化についておたずねします

問 18 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う	2. どちらかというそう思う
3. どちらかというそうは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問 19 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)

※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

項目	評価	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(1) 困りごとや悩みごとなど相談の場		1	2	3	4	5
(2) 健康や体力維持のための場		1	2	3	4	5
(3) サークルなどの友人や仲間との交流の場		1	2	3	4	5
(4) 地域の人の声掛けや協力		1	2	3	4	5
(5) 趣味や生涯学習の場		1	2	3	4	5
(6) ボランティアや町会活動などの社会活動の場		1	2	3	4	5
(7) 安心できるかかりつけ医や病院の存在		1	2	3	4	5
(8) 在宅介護の支援		1	2	3	4	5
(9) 介護施設の充実		1	2	3	4	5
(10) お金や必要なものなどの支援・補助		1	2	3	4	5
(11) 働く機会		1	2	3	4	5
(12) 住宅に対する支援		1	2	3	4	5
(13) 道路や駅、公共施設のバリアフリー		1	2	3	4	5

問 21 あなたは、以下の施設を利用していますか。利用していない場合は、理由を教えてください。(施設ごとに○は1つ)

理由 施設名	利用している								利用していない											
	利用している	利用したいが近くにない	利用したい時に困っていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法がわからない	サービスに不満がある	他の類似した民間施設を利用している	自治体の公共施設を利用している	利用する機会・必要がない	利用している	利用したいが近くにない	利用したい時に困っていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法がわからない	サービスに不満がある	他の類似した民間施設を利用している	自治体の公共施設を利用している	利用する機会・必要がない
(1) 文化会館	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(2) スポーツセンター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(3) 郷土博物館	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(4) 図書館(分館・分室・配本所含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(5) 戸田公園駅前行政センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(6) 美世支所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(7) 東部連絡所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(8) 上戸田地域交流センター(あいバル)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(9) 新曽福祉センター(新曽公民館)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(10) 東部福祉センター(下戸田公民館)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(11) 西部福祉センター(美都公民館)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(12) 箕目コミュニティセンター(コンパル)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(13) 新曽南多世代交流館(まくらバル)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(14) ボランティア・市民活動支援センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(15) 心身障害者福祉センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(16) 市民医療センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(17) 福祉保健センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(18) 児童センター プリムローズ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(19) 児童センター こどもの国	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(20) 教育センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

理由 施設名	利用している								利用していない											
	利用している	利用したいが近くにない	利用したい時に困っていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法がわからない	サービスに不満がある	他の類似した民間施設を利用している	自治体の公共施設を利用している	利用する機会・必要がない	利用している	利用したいが近くにない	利用したい時に困っていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法がわからない	サービスに不満がある	他の類似した民間施設を利用している	自治体の公共施設を利用している	利用する機会・必要がない
(21) 戸原小学校生涯学習施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(22) 学校施設の開放(教室、運動場)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(23) サッカー場	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(24) テニスコート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(25) 野球場(ソフトボール場含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(26) 県営戸田公園・戸田ポートコース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(27) 荒川水循環センター上節公園	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(28) 彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(29) 彩湖自然学習センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(30) 地域の児童公園	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

8. 市政への参加についておたずねします

問 27 あなたは、市政への参加（市の会議への参加やイベントの参加やイベントの企画運営など）に興味がありますか。（○は1つ）

1. 興味がある	2. まあ興味がある
3. あまり興味がない	4. 興味がない
5. わからない	

問 28 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 子育て支援・子どもの健全育成	2. 高齢者や障がい者の生活支援
3. 外国人の支援	4. 防災
5. 防災	6. 交通安全
7. 清掃・ごみ減量・リサイクル	8. まちの緑化
9. 文化・スポーツ・生涯学習	10. 地域の産業振興
11. 都市基盤整備	12. 地域の情報発信やイメージアップ
13. 地域コミュニティの活性化	14. その他（ ）

9. SWGsの取り組みについておたずねします

問 29 あなたは、「SDGs」という言葉を知ったことがありますか？（○は1つ）

1. 聞いたことがある	2. 聞いたことがない
-------------	-------------

問 30 以下の項目のうち、あなたがSDGsに取り組みといたら、どの目標に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 貧困をなくそう	2. 気候をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう	6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を	14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう	16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリシップで目標を達成しよう	18. 興味がない

10. 戸田市の取り組みについておたずねします

問 31 次に示す取り組みについて、あなたは、どの程度満足していますか。

（項目ごとに○は1つずつ）

項目	評価	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(1) 子育て支援		1	2	3	4	5
(2) 高齢者への支援		1	2	3	4	5
(3) 障がい者への支援		1	2	3	4	5
(4) 医療体制の充実		1	2	3	4	5
(5) 健康づくりの支援		1	2	3	4	5
(6) 地域福祉の支援		1	2	3	4	5
(7) 子どもの教育環境の充実		1	2	3	4	5
(8) 豊かな心を育む青少年の育成		1	2	3	4	5
(9) スポーツ・レクリエーションに親しむ環境の整備		1	2	3	4	5
(10) 生涯学習の機会の提供		1	2	3	4	5
(11) 芸術文化活動への支援		1	2	3	4	5
(12) 公害などの環境汚染の防止		1	2	3	4	5
(13) ごみ減量とリサイクルの推進		1	2	3	4	5
(14) 健康的に生活できる生活環境の保全		1	2	3	4	5
(15) 地球温暖化対策		1	2	3	4	5
(16) 防災対策		1	2	3	4	5
(17) 消防対策		1	2	3	4	5
(18) 防災対策		1	2	3	4	5
(19) 産業の振興		1	2	3	4	5
(20) 商業の活性化		1	2	3	4	5
(21) 良好な労働環境の整備		1	2	3	4	5
(22) 計画的なまちの整備		1	2	3	4	5
(23) 幹線道路・生活道路の整備		1	2	3	4	5
(24) 快適な歩行空間の確保		1	2	3	4	5
(25) 安全な自転車走行空間の確保		1	2	3	4	5
(26) 公共交通機関の利便性向上		1	2	3	4	5
(27) 美しい都市づくり		1	2	3	4	5
(28) 公園の整備・緑化の推進		1	2	3	4	5
(29) 水と触れ合う空間の整備		1	2	3	4	5
(30) 雨水対策		1	2	3	4	5

項目		評価		満足	清足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(31)	下水道の整備	1	2	3	4	5			
(32)	水道事業の運営	1	2	3	4	5			
(33)	人権の尊重	1	2	3	4	5			
(34)	平和意識の高揚	1	2	3	4	5			
(35)	地域コミュニティ、町会・自治会活動の活性化	1	2	3	4	5			
(36)	ボランティア・市民活動の活性化	1	2	3	4	5			
(37)	行政情報の提供	1	2	3	4	5			
(38)	市民意見の行政への反映	1	2	3	4	5			
(39)	男女共同参画の推進	1	2	3	4	5			
(40)	利便性・安全性の高い情報システムの整備	1	2	3	4	5			
(41)	国内・国際交流の促進	1	2	3	4	5			
(42)	在住外国人への支援	1	2	3	4	5			
(43)	効率的な行政運営	1	2	3	4	5			
(44)	住宅地や商業地、工業地の計画的でパランスのよい配置	1	2	3	4	5			
(45)	相談支援体制の充実	1	2	3	4	5			

問 32 あなたは次に示す項目のうち、戸田市のまちづくりにとって、今後何が重要であると思いますか、今後重要であると思うものを5つまで選んでください。(○は5つ)

1. 子育てへの支援が充実したまち	22. 市街地が魅力的なまち
2. 高齢者が安心して暮らすことができるまち	23. 道路整備が進んだまち
3. 障がい者が自立して暮らすことができるまち	24. 安全で快適な歩行空間が整備されたまち
4. いつでも安心して医療が受けられるまち	25. 公共交通機関が整備されたまち
5. 生涯健康に暮せるまち	26. 景観が整備されたまち
6. 地域の福祉が充実したまち	27. 緑あふれるまち
7. 子どもの教育環境が充実したまち	28. 水と親しめるまち
8. 青少年が健やかに成長できるまち	29. 雨に強いまち
9. スポーツ・レクリエーションに親しめるまち	30. 下水道が整備されたまち
10. 多様な学習機会のあるまち	31. 安全な水道水を安定的に利用できるまち
11. 様々な芸術・文化を育むまち	32. 人権を尊重するまち
12. 公害など環境汚染がないまち	33. 平和の尊さを実感できるまち
13. 資源を無駄にしない循環型のまち	34. 市民が自発的に行動するまち
14. 健康的に生活できる環境が保全されたまち	35. 市民と市が協働するまち
15. 地球温暖化対策が進んだまち	36. 地域間の交流が盛んなまち
16. 防災対策が充実したまち	37. ボランティア・市民活動が活発なまち
17. 消防体制が充実したまち	38. 国際化に対応したまち
18. 災害に強いまち	39. 一人ひとりの個性と能力が発揮できるまち
19. 産業に活力のあるまち	40. 情報化に対応したまち
20. 商業に賑わいのあるまち	41. 税金が効率的に使われているまち
21. 安心して働けるまち	42. 生活相談がしやすいまち

問 33 あなたは、戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じますか？(○は1つ)

1. 感じる	2. まあ感じる
3. あまり感じない	4. 感じない
5. わからない	

11. 新型コロナウイルス感染症についておたずねします

問 34 あなたは、新型コロナウイルス感染症で不安に感じていることはありますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 感染リスク | 2. マスク・消毒液などの物品確保 |
| 3. 後遺症 | 4. 心身の活力の低下 |
| 5. 社会とのつながりの希薄化 | 6. 収入面 |
| 7. 雇用・就業面 | 8. 教育・学習面 |
| 9. 育児・介護 | 10. 相談できる人がいない |
| 11. 不安がない | 12. その他 () |

最後に、未来を見据えた戸田市のまちづくりについてご意見・ご提案がありましたらご自由にお書きください。



**調査は以上です。
最後までご回答いただき、
ありがとうございました。**

戸田市市民意識調査報告書 令和3年度実施(第13回)

令和4年3月

発行：戸田市

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号

電話 048(441)1800

ホームページ <https://www.city.toda.saitama.jp/>

編集：戸田市企画財政部共創企画課
